

平成22年度

市民まちづくりアンケート

【集計結果】

まちづくりにあなたのご意見を

平成22年8月
帯広市
(政策推進部企画課)

目 次

① アンケートの概要	1
② アンケート回答者の属性	2
○あなたの性別は？ ○あなたの年齢は？	2
○あなたの職業は？ ○あなたの居住年数は？	3
○お住まいの地区	4
③ 住みごころ	5
○帯広市の住みごころは？	5
④ 定住意識	7
○これからも帯広市に住み続けたい？	7
○住み続けたい理由は？	9
○移りたい地域は？	10
○移りたい理由は？	11
⑤ まちづくりに対する市民実感	12
○市民実感度順位	14
○市民実感度	16
⑥ 協働のまちづくり	66
参考資料 市民まちづくりアンケート票	74
○市民まちづくりアンケート A票	75
○市民まちづくりアンケート B票	89

1

アンケートの概要

◇目的

このアンケートは、帯広市の住みごちやまちづくりについて、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」などについて調査しました。

アンケート結果は、第六期総合計画を効果的・効率的にすすめるための政策・施策評価や市の仕事を効率的に行うための重要な情報として活用します。

◇アンケートの内容

アンケートは、大きく次の3区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～9)
- (2) 市民実感について・・・・・・・・・・・・・・(問10～34)
- (3) 協働のまちづくりについて・・・・・・・・・・・・(問35～39)

※市民実感の設問(問10～34)と協働のまちづくりの設問の一部(問37～39)については、アンケートを2組(AとB)に分けて実施しました。

◇対象地域 帯広市内

◇対象者 満20歳以上の帯広市民

◇標本数 3,000人

◇標本抽出方法 無作為抽出

◇調査方法 郵便による発送・返送

◇調査時期 平成22年5月1日(土)～5月28日(金)
(7月8日(木)受付分まで集計)

◇回収結果 【平成22年度 市民まちづくりアンケート】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H22年度	3,000	3,000	1,349	45.0

【経年比較 市民意向調査】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H21年度	3,000	3,000	1,194	39.8
H20年度	3,000	2,996	1,126	37.6
H19年度	3,000	2,957	1,144	38.7
H18年度	3,000	2,988	1,226	41.0
H17年度	3,000	2,982	957	32.1
H15年度	3,000	2,954	927	31.4

◇アンケートの精度

本調査の回収数は1,349件で、信頼度95%、標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要サンプル数383人を上回っており、本調査から得られた分析結果は帯広市全体としての意見を推定するために十分な精度を得ているといえます。

必要サンプル数の算出式]

$$n \geq N \div \left[\left(\frac{1}{e^2} \right) \times (N-1) \times 4 \right] + 1$$

N=母集団の数 調査対象者数(=137,489人:平成22年3月31日現在の20歳以上人口)

e=標本誤差(=0.05)

n=必要サンプル数

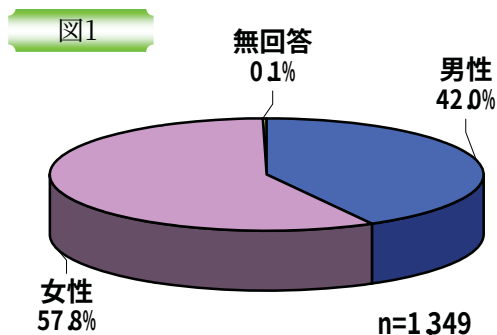
※1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

計算の結果、n=383.092...となり、必要サンプル数は383となります。

2 アンケート回答者の属性

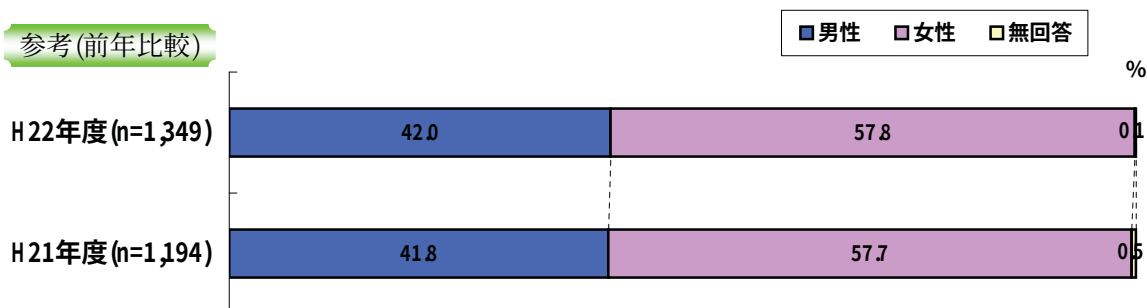
- ◆小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
 ◆回答数を「n=」で表示しています。

問1 あなたの性別は？

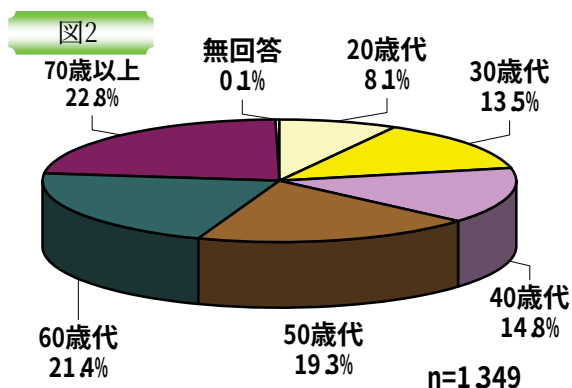


性別では、
 [男性]42.0% (567人)、
 [女性]57.8% (780人)、
 [無回答]0.1% (2人) となっており、
 回答者の約6割が[女性]となっています。
 (図1)

参考(前年比較)

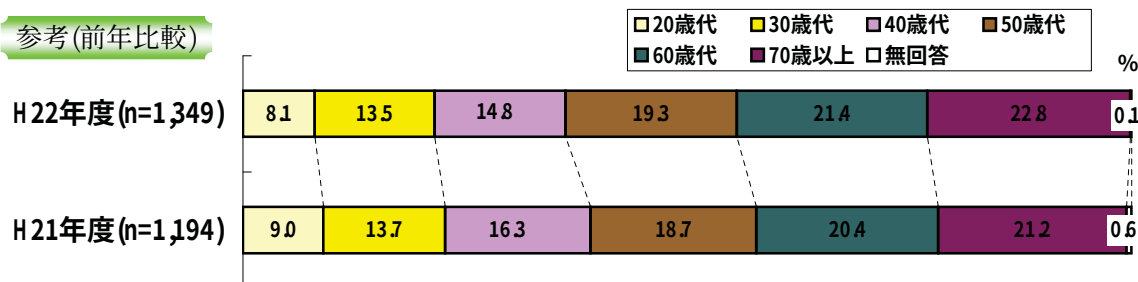


問2 あなたの年齢は？



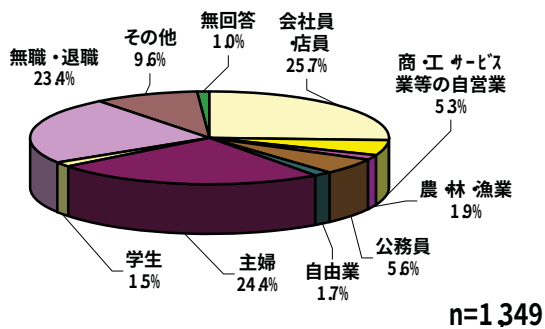
年齢別では、
 [20歳代]8.1% (109人)、
 [30歳代]13.5% (182人)、
 [40歳代]14.8% (199)、
 [50歳代]19.3% (260人)、
 [60歳代]21.4% (289人)、
 [70歳以上]22.8% (308人)、
 [無回答]0.1% (2人) となっており、
 総じて年代が上がるにつれて割合が
 高くなっています。(図2)

参考(前年比較)



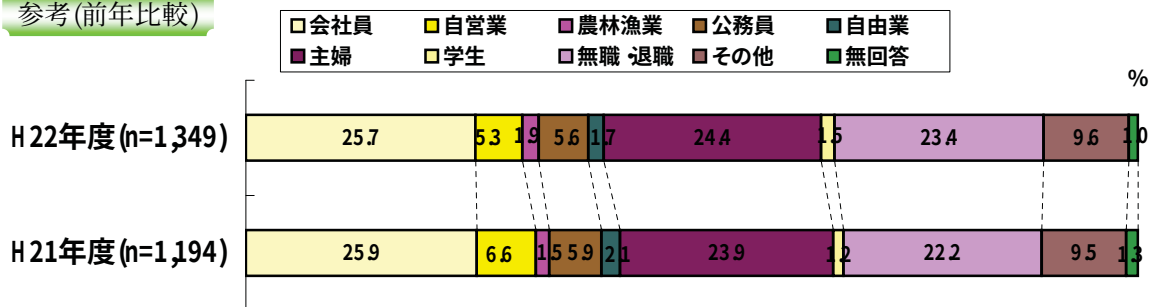
問3 あなたの職業は？

図3



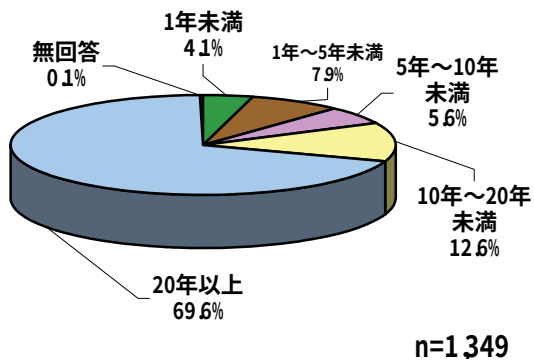
職業別では、
 [会社員・店員]25.7% (347人)、
 [商・工・サービス業自営業]5.3% (71人)、
 [農・林・漁業]1.9% (25人)、
 [公務員]5.6% (75人)、
 [自由業]1.7% (23人)、
 [主婦]24.4% (329人)、
 [学生]1.5% (20人)、
 [無職・退職]23.4% (316人)、
 [その他]9.6% (129人)、
 [無回答]1.0% (14人)となっており、
 [会社員・店員]、[主婦]、[無職・退職]の
 順で多くなっています。(図3)

参考(前年比較)



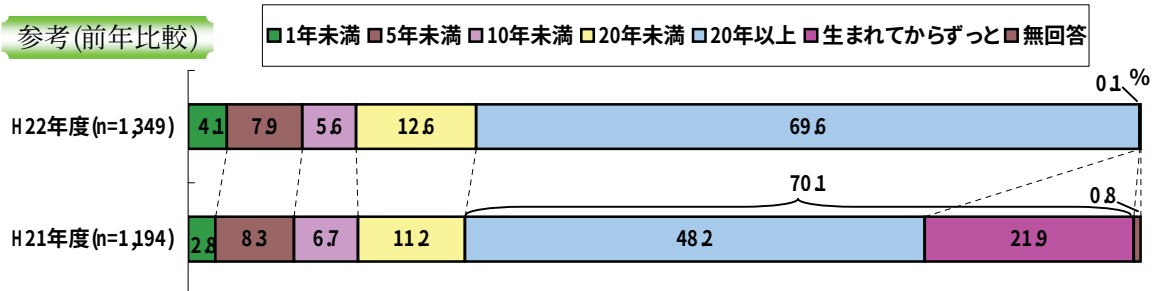
問4 あなたの居住年数は？

図4



居住年数別では、
 [1年未満]4.1% (55人)、
 [1年～5年未満]7.9% (107人)、
 [5年～10年未満]5.6% (76人)、
 [10年～20年未満]12.6% (170人)、
 [20年以上]69.6% (939人)、
 [無回答]0.1% (2人)となっており、
 [20年以上]は、全体の約7割を
 占めています。(図4)

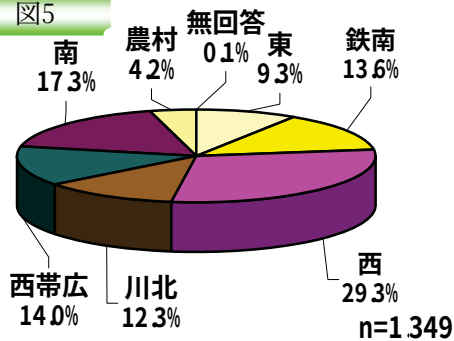
参考(前年比較)



※ H22年度より、生まれてからずっと」の区分を廃止し、「20年以上」に含めました。

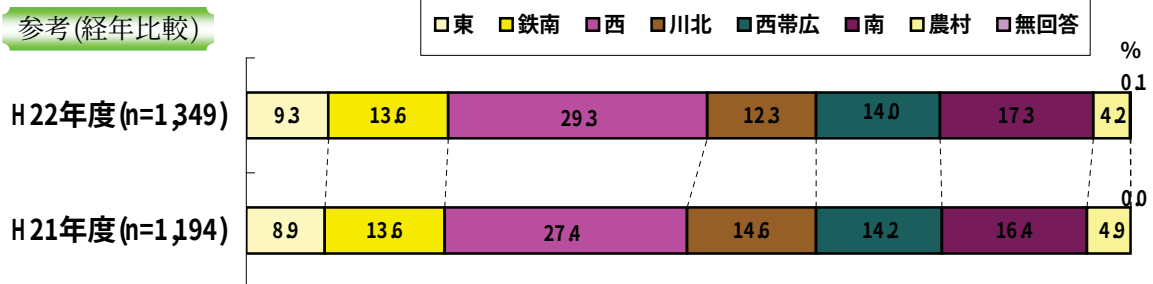
お住まいの地区

図5

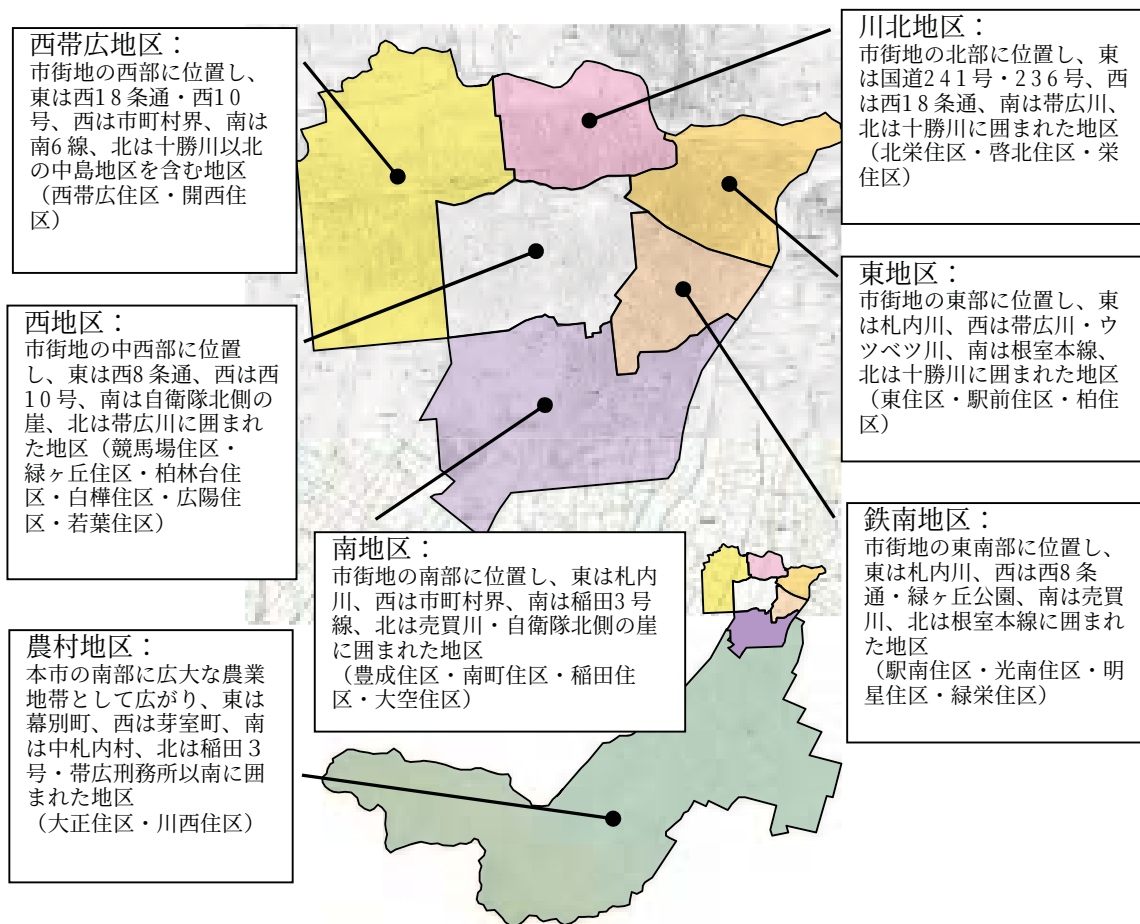


地区別では、
 [東]9.3% (125人)、
 [鉄南]13.6% (183人)、
 [西]29.3% (395人)、
 [川北]12.3% (166人)、
 [西帯広]14.0% (189人)、
 [南]17.3% (234人)、
 [農村]4.2% (56人)、
 [無回答]0.1% (1人)、となっている。
 (図5)

参考(経年比較)



◆帯広市では下図のとおり7つの地区を設定しています。



問5 帯広市の住みごころは？

- 「住みやすい」とした割合は、昨年度と比較すると6.3ポイント増加し、「どちらかといえば住みやすい」が2.4ポイント減少し、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた、「住みごころが良い」とした割合は、81.4%（1,092人）となっており、昨年度と比較すると3.9%増加しています。

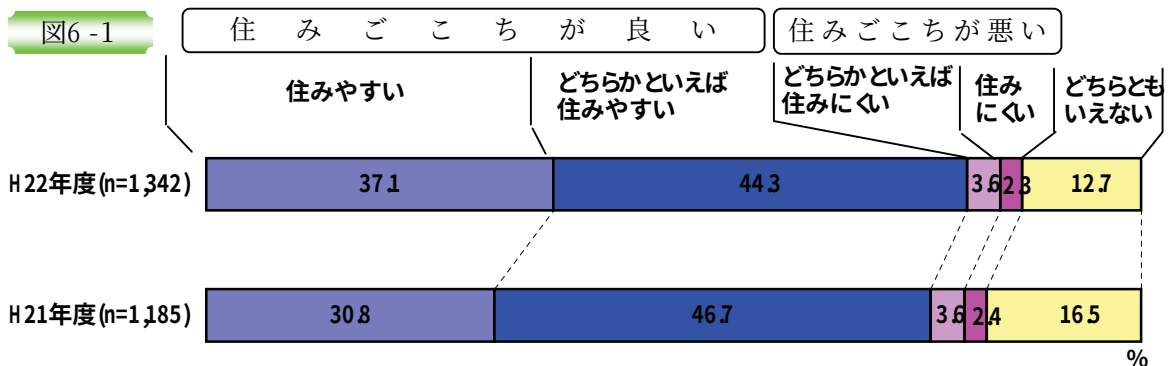
また、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた、「住みごころが悪い」とした割合は、ほぼ変わらず5.9%（79人）となっています。（図6-1）

- 男女別で「住みごころが良い」とした割合は、[男性]79.6%、[女性]82.7%であり、女性の方が「住みごころが良い」とした割合が高くなっています。（図6-2）

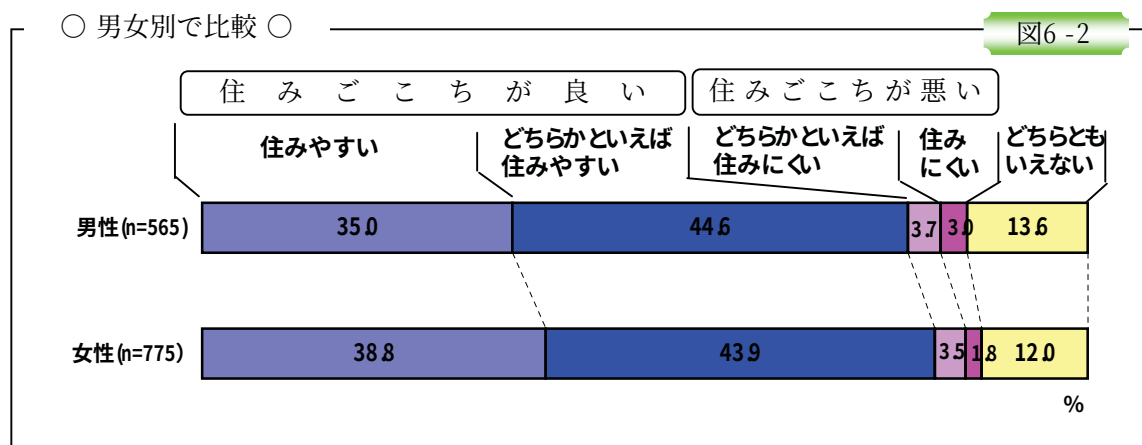
- 地区別で「住みごころが良い」とした割合は、[南地区]で最も高く（87.1%）、[東区]で最も低く（70.1%）となっています。（図6-3）

- 年代別で「住みごころが良い」とした割合は、[50歳代]で最も高く（84.6%）、[40歳代]で最も低く（78.7%）となっています。（図6-4）

- 居住年数別で「住みごころが良い」とした割合は、[10年未満]で最も高く（84.2%）、[1年未満]で最も低く（65.5%）となっています。（図6-5）

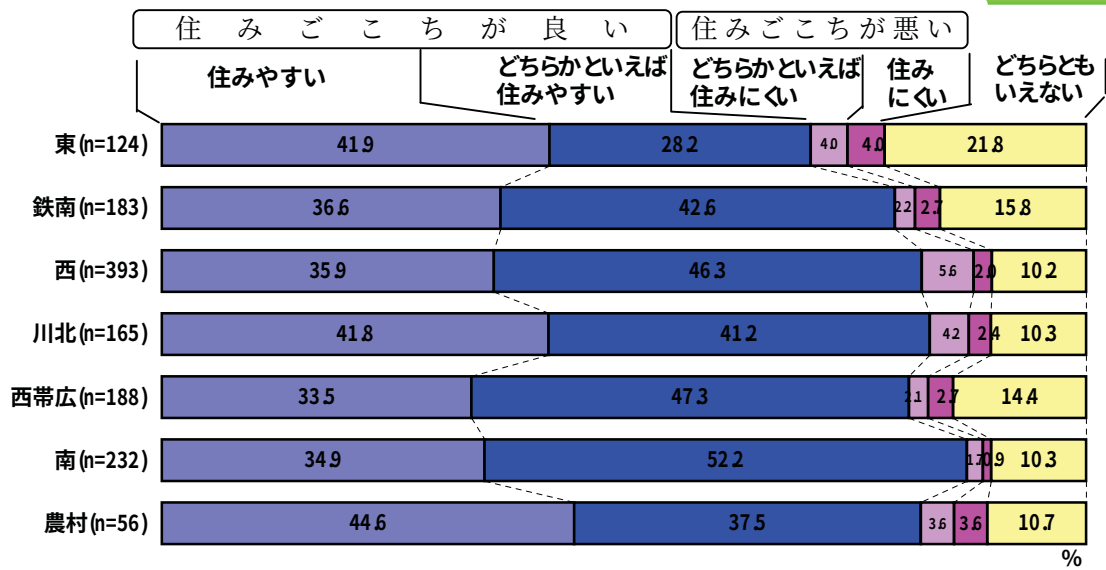


○ 男女別で比較 ○



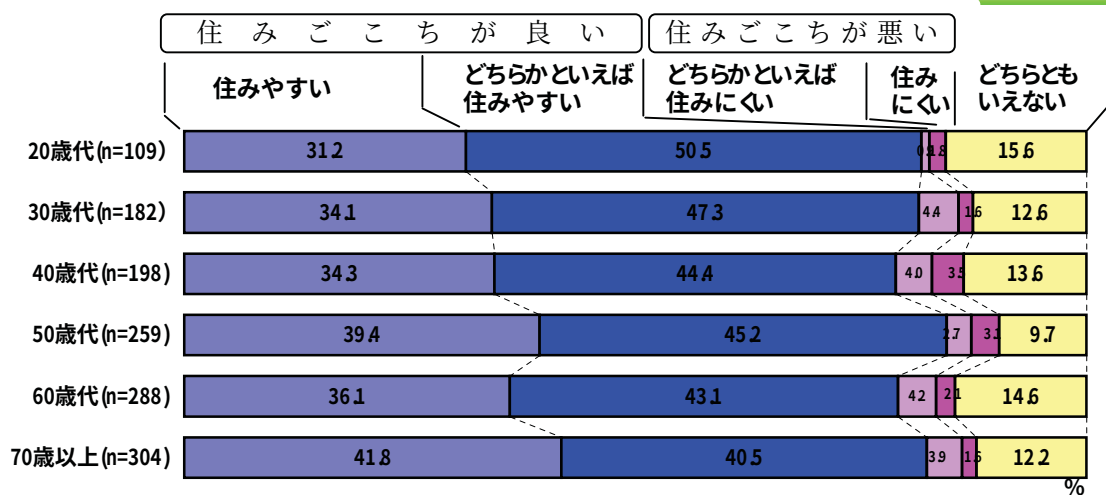
○ 地区別で比較 ○

図6-3



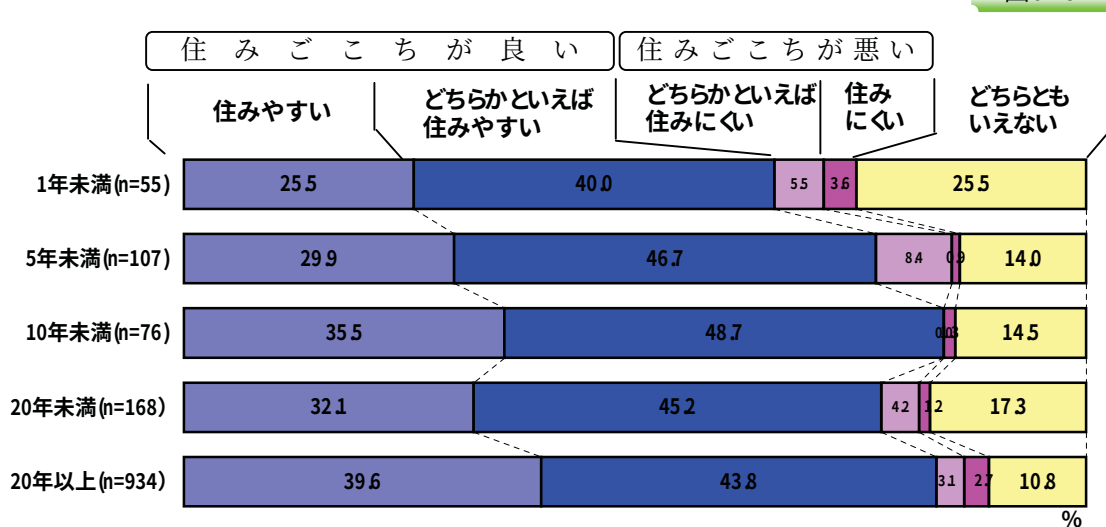
○ 年代別で比較 ○

図6-4



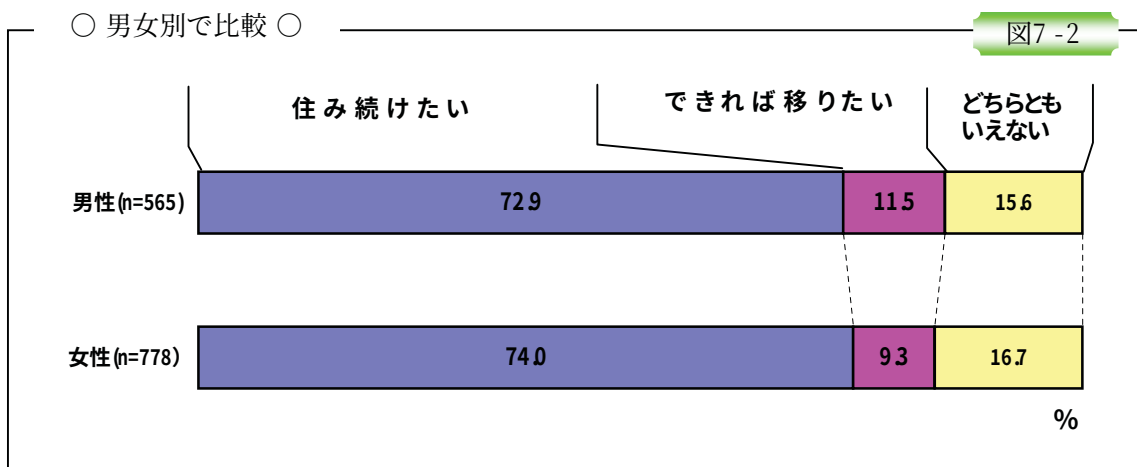
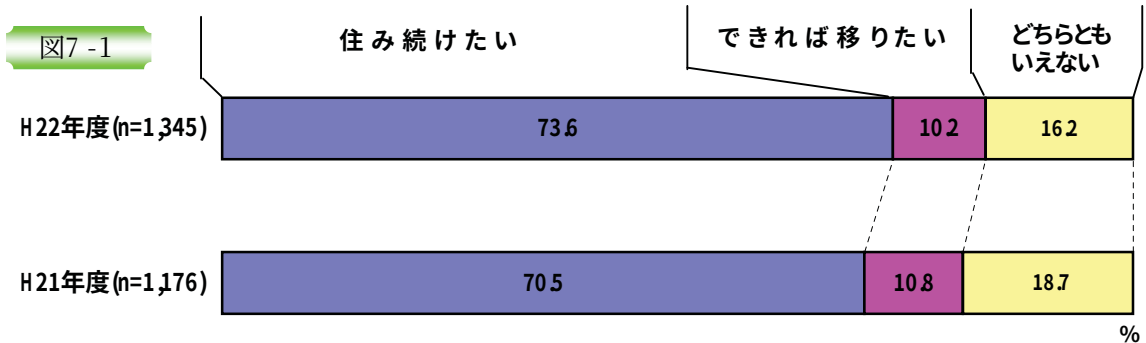
○ 居住年数別で比較 ○

図6-5



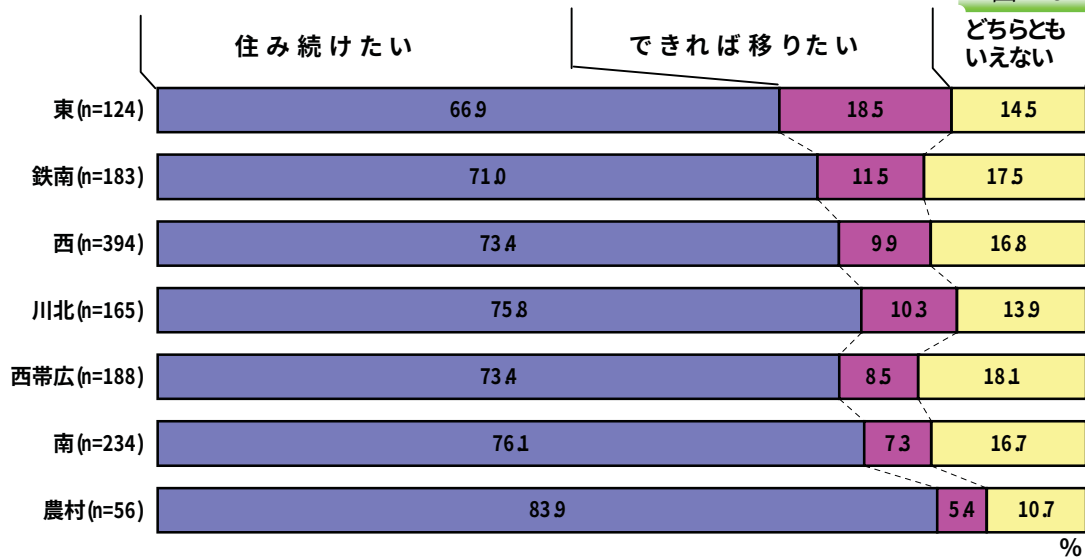
問6 これからも帯広市に住み続けたい？

- 「住み続けたい」とした割合は、昨年度と比較すると3.1%増加し、73.6%（990人）、
「できれば移りたい」とした割合は10.2%（137人）となっています。（図7-1）
- 男女別で「住み続けたい」とした割合は、[男性]72.9%、[女性]74.0%であり、女性の方が「住み続けたい」とした割合が高くなっています。（図7-2）
- 地区別で「住み続けたい」とした割合は、[農村地区]で最も高い83.9%であり、[東地区]で最も低い66.9%となっています。（図7-3）
- 年代別で「住み続けたい」とした割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。
一方「できれば移りたい」とした割合は、概ね年代が下がるにつれて高くなっています。（図7-4）
- 居住年数別で「住み続けたい」とした割合は、[1年未満]において最も低く、逆に「できれば移りたい」とした割合は最も高くなっています。また、[20年以上]において、「住み続けたい」とした割合は約8割となっています。（図7-5）



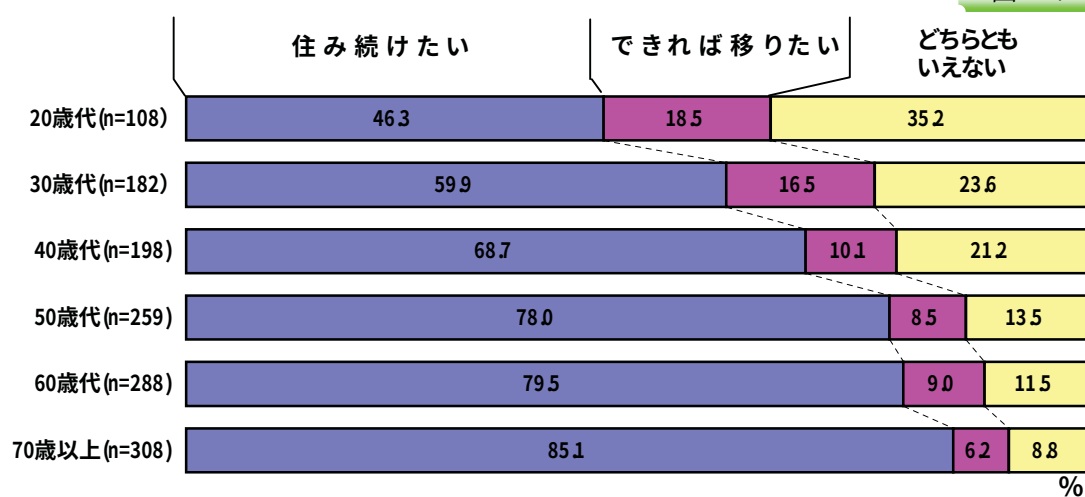
○ 地区別で比較 ○

図7-3



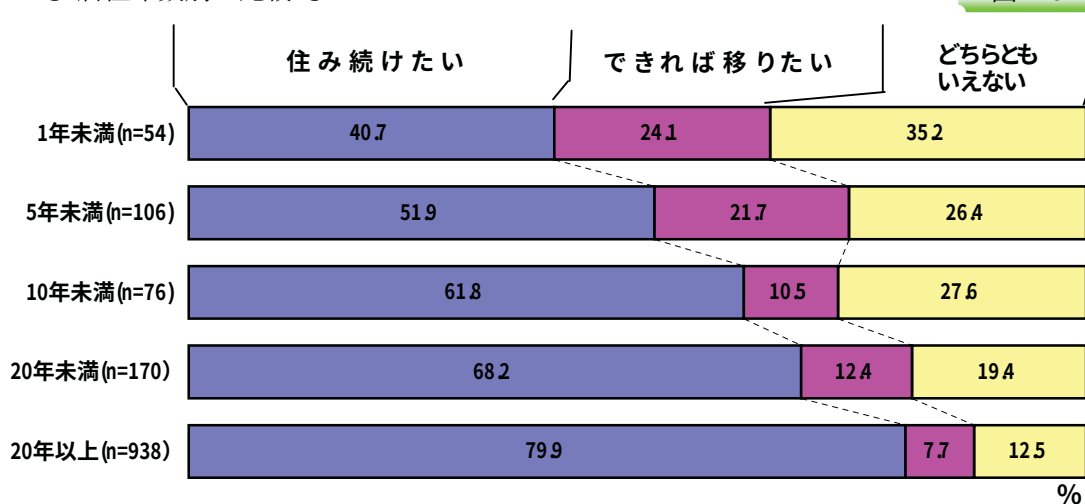
○ 年代別で比較 ○

図7-4



○ 居住年数別で比較 ○

図7-5

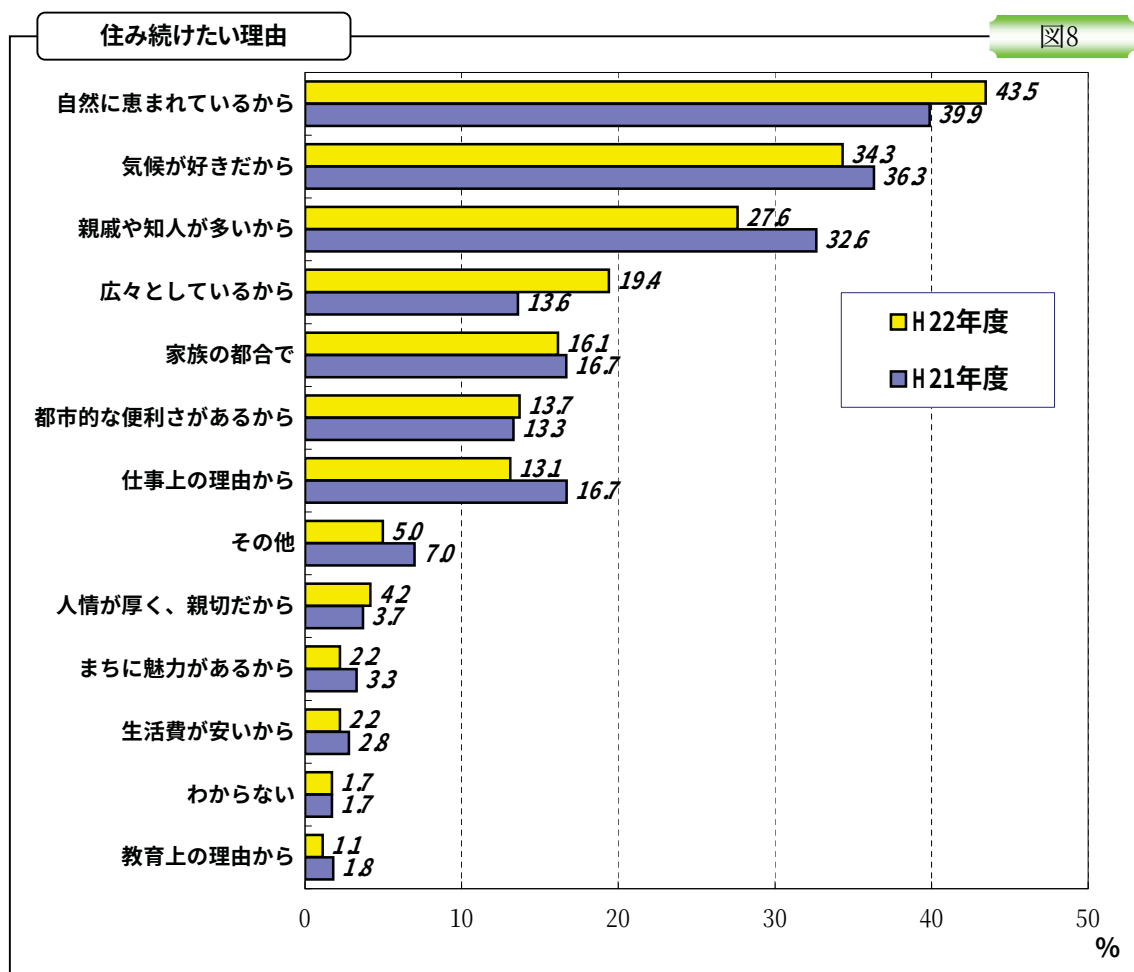
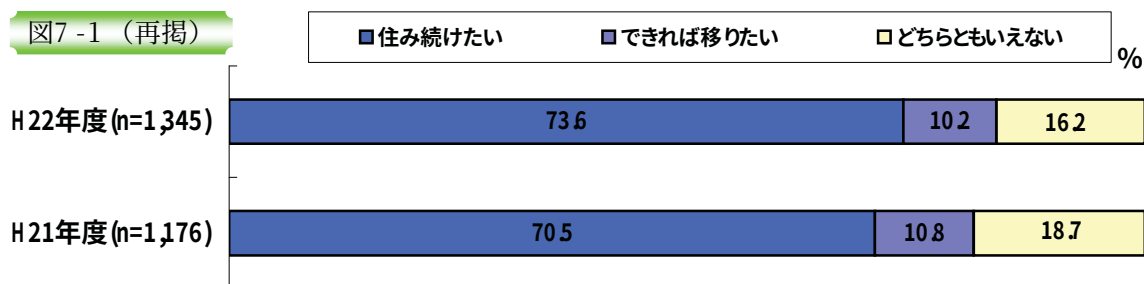


問7 住み続けたい理由は？

◇「住み続けたい」と回答した人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

「住み続けたい理由」としては、[自然に恵まれているから<428人回答>]が最も多く43.5%、2番目は[気候が好きだから<338人回答>]で34.3%、3番目は「親戚や知人が多いから<272人回答>」で27.6%となっています。（図8）

図7-1（再掲）

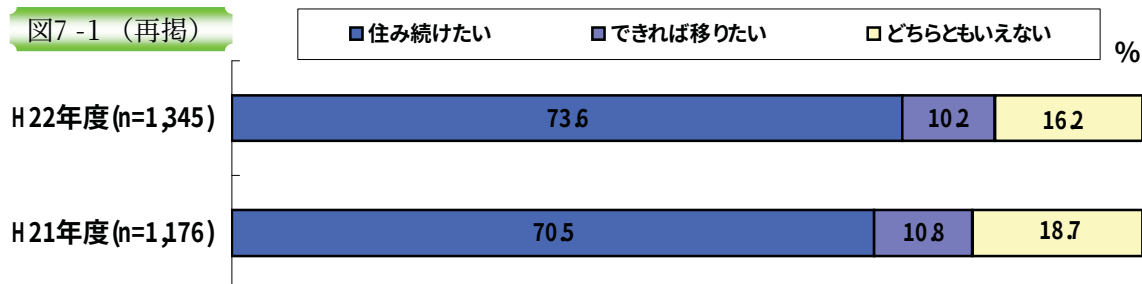


問8 移りたい地域は？

◇「できれば移りたい」と回答した人に、移りたい地域を9つの選択肢から1つ、回答してもらいました。

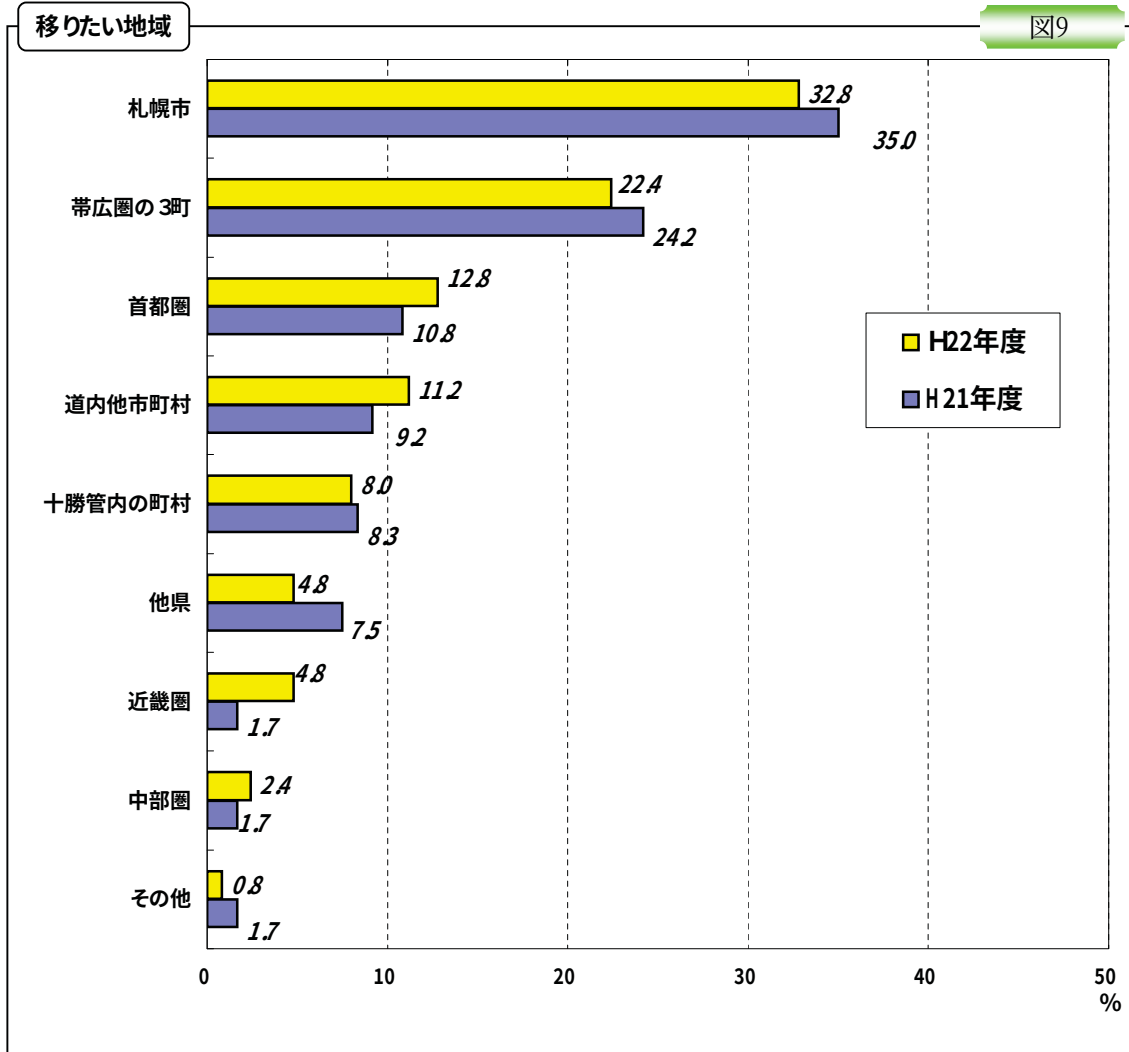
「移りたい地域」としては、[札幌市]が最も多く32.8%（41人）となっている。また、2番目に多い地域は、[帯広圏の3町]で22.4%（28人）、3番目は「首都圏」で12.8%（16人）となっています。（図9）

図7-1（再掲）



移りたい地域

図9

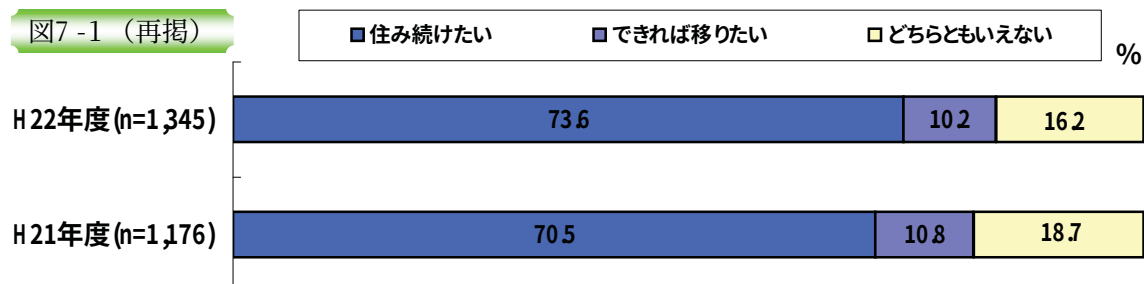


問9 移りたい理由は？

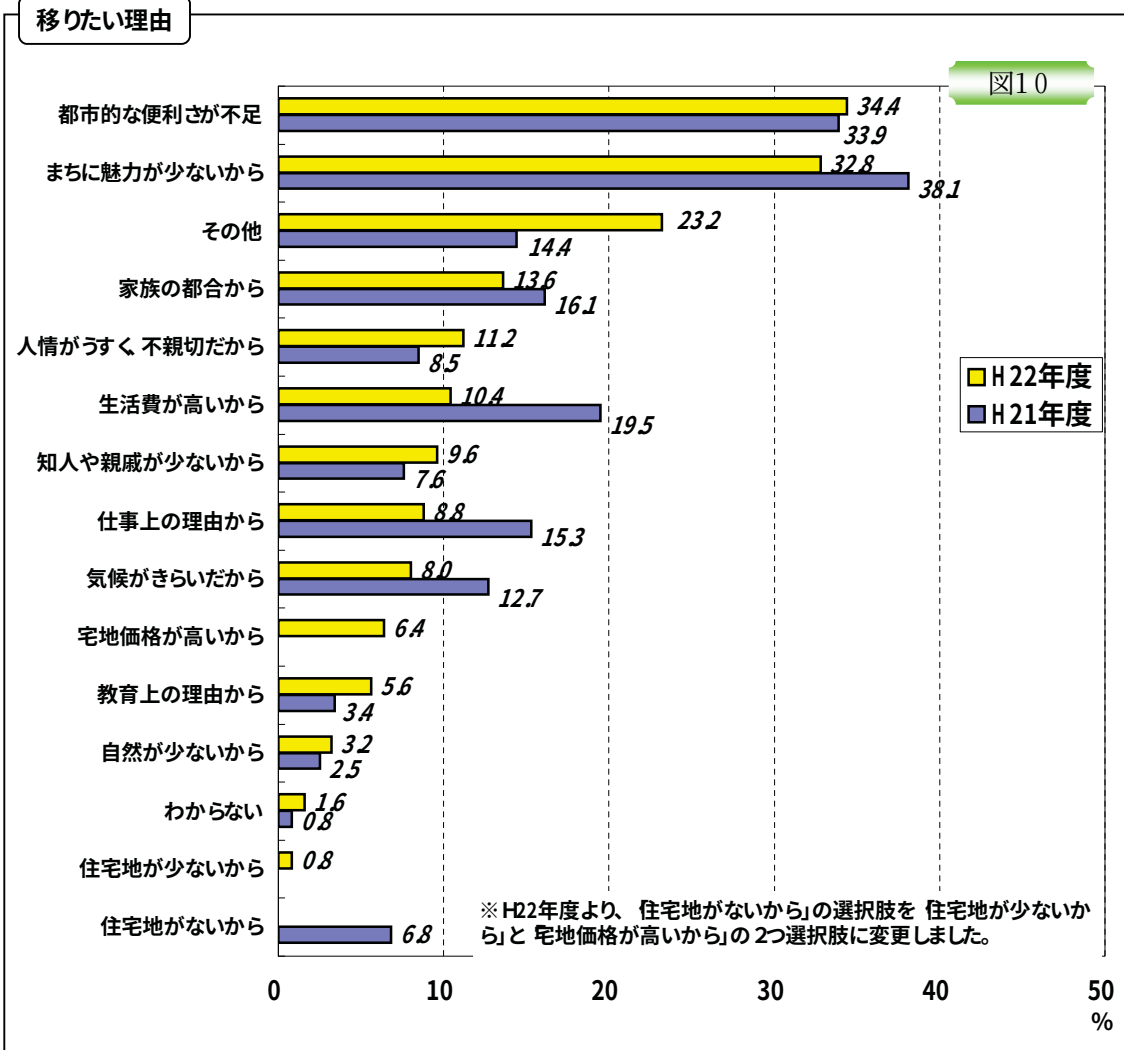
◇「できれば移りたい」と回答した人に、移りたい理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

☞ 「移りたい理由」としては、[都市的な便利さが不足しているから]が34.4%（43人）が最も多く、次に[まちに魅力が少ないから]が、32.8%（41人）となっている。（図10）

図7-1（再掲）

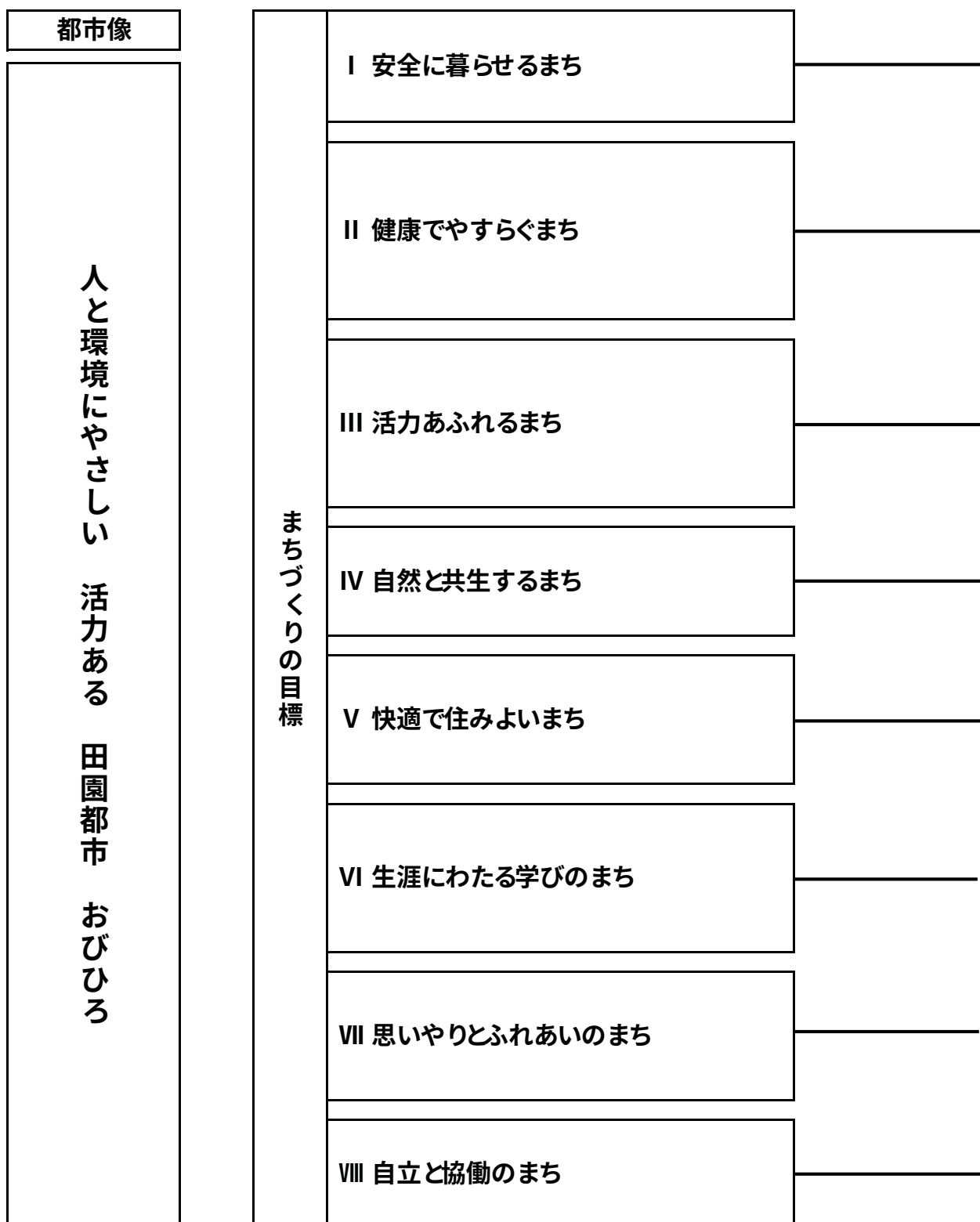


移りたい理由





第六期帯広市総合計画の政策 施策の体系



- ・総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（市民実感度調査項目）を設定しています。
- ・質問の数が多いことから、AとBの2つに分けてアンケートを実施しました。

政策1-1 災害に強い安全なまちづくり	施策1-1-1 地域防災の推進	問10-A
	施策1-1-2 消防・救急の充実	問10-B
政策1-2 安心して生活できるまちづくり	施策1-2-1 防犯の推進	問11-A
	施策1-2-2 交通安全の推進	問11-B
	施策1-2-3 消費生活の向上	問12-A
政策2-1 健康に暮らせるまちづくり	施策2-1-1 保健予防の推進	問12-B
	施策2-1-2 医療体制の充実	問13-A
政策2-2 やすらぎのあるまちづくり	施策2-2-1 地域福祉の推進	問13-B
	施策2-2-2 高齢者福祉の推進	問14-A
	施策2-2-3 障害者福祉の推進	問14-B
	施策2-2-4 社会保障の推進	問15-A
政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり	施策2-3-1 子育て支援の充実	問15-B
	施策2-3-2 青少年の健全育成	問16-A
政策3-1 力強い産業が育つまちづくり	施策3-1-1 農林業の振興	問16-B
	施策3-1-2 工業の振興	問17-A
	施策3-1-3 商業の振興	問17-B
	施策3-1-4 中小企業の基盤強化	問18-A
	施策3-1-5 産業間連携の促進	問18-B
	施策3-1-6 雇用環境の充実	問19-A
政策3-2 にぎわいのあるまちづくり	施策3-2-1 中心市街地の活性化	問19-B
	施策3-2-2 観光の振興	問20-A
政策4-1 地球環境を守るまちづくり	施策4-1-1 地球環境の保全	問20-B
	施策4-1-2 廃棄物の資源化	問21-A
政策4-2 うるおいのあるまちづくり	施策4-2-1 公園・緑地の整備	問21-B
	施策4-2-2 水道水の安定供給	問22-A
	施策4-2-3 下水道の整備	問22-B
政策5-1 快適で住みごちのよいまちづくり	施策5-1-1 住環境の充実	問23-A
	施策5-1-2 魅力ある景観の形成	問23-B
	施策5-1-3 墓地・火葬場の整備	問24-A
政策5-2 交流を支えるまちづくり	施策5-2-1 道路網の整備	問24-B
	施策5-2-2 総合的な交通体系	問25-A
	施策5-2-3 地域情報化の推進	問25-B
政策6-1 次代を担う人を育つまちづくり	施策6-1-1 学校教育の推進	問26-A
	施策6-1-2 教育環境の充実	問26-B
	施策6-1-3 高等学校教育の推進	問27-A
	施策6-1-4 高等教育の充実	問27-B
政策6-2 とともに学び地域のきずなを育つまちづくり	施策6-2-1 学習活動の推進	問28-A
	施策6-2-2 芸術・文化の振興	問28-B
	施策6-2-3 スポーツの振興	問29-A
政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり	施策7-1-1 人権尊重と平和な社会	問29-B
	施策7-1-2 男女共同参画社会	問30-A
	施策7-1-3 ユニバーサルデザイン	問30-B
	施策7-1-4 アイヌの人たちの誇り	問31-A
政策7-2 ふれあいのあるまちづくり	施策7-2-1 地域コミュニティ	問31-B
	施策7-2-2 国内・国際交流の推進	問32-A
政策8-1 市民とともにすすめる自治体経営	施策8-1-1 市民協働のまちづくり	問32-B
	施策8-1-2 自治体経営の推進	問33-A
	施策8-1-3 広域行政の推進	問33-B
政策8-2 質の高い行政の推進	施策8-2-1 行政サービスの充実	問34-A
	施策8-2-2 行政事務の適正な執行	問34-B

市民実感度」とは・・・

市民まちづくりアンケートでは、総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（これを市民実感度調査項目といいます）を設定しています。

この質問に対する回答を加重平均した値を「市民実感度」といいます。

順位	問番号	市 民 実 感 度 調 査 項 目
1	22 A	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	24 A	墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
3	16 B	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
4	10 B	消火活動や救急活動が迅速に行われている
5	23 B	都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている
6	21 A	ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている
7	13 A	ケガや病気のときに安心して医療を受けられる
8	12 B	各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる
9	21 B	公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる
10	22 B	生活廃水や雨水が適切に処理されている
11	23 A	快適で住みやすい居住空間が確保されている
12	12 A	悪質な訪問販売や契約トラブルなどに遭うことなく、安全に消費生活を送れる
13	29 A	スポーツを楽しむことができる環境が整っている
14	26 B	子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている
15	25 A	空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている
16	34 B	市民に信頼される行政事務が行われている
17	28 A	生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている
18	27 A	高等学校において充実した教育が行われている
19	11 A	日常生活において、犯罪に遭うことなく安心して暮らせる
20	13 B	地域の支え合いにより、安心して暮らせる
21	20 B	自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている
22	25 B	高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている
23	15 B	安心して子どもを生み育てることができる
24	34 A	市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている
25	28 B	芸術や文化に親しむことができる環境が整っている
26	32 A	国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている
27	29 B	平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している
28	30 A	男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる
29	24 B	幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
30	31 A	アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている
31	26 A	小学校・中学校において充実した教育が行われている
32	14 A	高齢者が地域で生き生きと暮らせる
33	10 A	地震や水害など、災害への備えが整っている
34	31 B	町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている
35	14 B	障害のある人が地域で生き生きと暮らせる
36	16 A	青少年が健全に育つ環境が整っている
37	17 A	ものづくり産業に活気がある
38	11 B	日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
39	32 B	市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている
40	33 B	十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている
41	20 A	自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている」と思う市民の割合
42	18 B	企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている
43	15 A	社会保障制度の周知や適切な運用が行われている
44	30 B	誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによるまちづくりが行われている
45	27 B	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
46	19 A	意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる
47	33 A	健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている
48	17 B	商店や商店街に活気がある
49	18 A	地元の企業に活気がある
50	19 B	中心市街地に、魅力とにぎわいがある

市民実感度の算出方法)

「思う」は4、「やや思う」は3、「あまりそう思わない」は2、「そう思わない」は1と重み付けを行い、各回答数を乗じて合計したものを、有効回答数で除したものです。

このため、数値は1,000から4,000の間で表わされます。

例) 問22-A:「おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる」の場合

・ $(4 \times 407 \text{ 人}) + 3 \times 200 \text{ 人}) + 2 \times 58 \text{ 人}) + 1 \times 22 \text{ 人}) \div 687 \text{ 人}) = 3.444$

思う	やや思う	あまり そう思わない	そう思わない	有効回答数	市民実感度 (加重平均値)
407	200	58	22	687	3.444
205	393	45	13	656	3.204
232	306	83	15	636	3.187
206	330	83	11	630	3.160
171	356	94	19	640	3.061
184	366	96	35	681	3.026
218	298	125	44	685	3.007
168	327	112	30	637	2.994
178	306	113	49	646	2.949
160	334	142	39	675	2.911
154	313	134	39	640	2.909
126	372	153	30	681	2.872
143	311	181	39	674	2.828
95	355	126	47	623	2.799
150	292	167	71	680	2.766
59	396	116	56	627	2.730
79	374	162	49	664	2.727
75	359	159	49	642	2.717
105	325	202	52	684	2.706
86	306	198	45	635	2.682
68	323	193	46	630	2.656
89	286	190	58	623	2.652
79	283	183	54	599	2.646
64	372	177	67	680	2.637
81	290	214	51	636	2.631
89	290	221	60	660	2.618
62	332	182	63	639	2.615
64	327	216	53	660	2.609
121	211	212	104	648	2.539
78	256	266	58	658	2.538
75	286	219	84	664	2.530
88	265	247	81	681	2.529
56	284	285	45	670	2.524
67	263	247	63	640	2.522
62	264	236	63	625	2.520
68	280	239	78	665	2.508
70	272	240	91	673	2.477
87	194	295	70	646	2.461
52	273	214	98	637	2.438
48	247	260	70	625	2.437
78	231	271	99	679	2.424
51	228	240	99	618	2.374
72	218	278	112	680	2.368
33	249	259	86	627	2.365
37	180	266	148	631	2.168
25	166	342	145	678	2.105
29	160	309	173	671	2.067
23	161	284	176	644	2.048
20	138	340	170	668	2.012
12	83	289	257	641	1.766

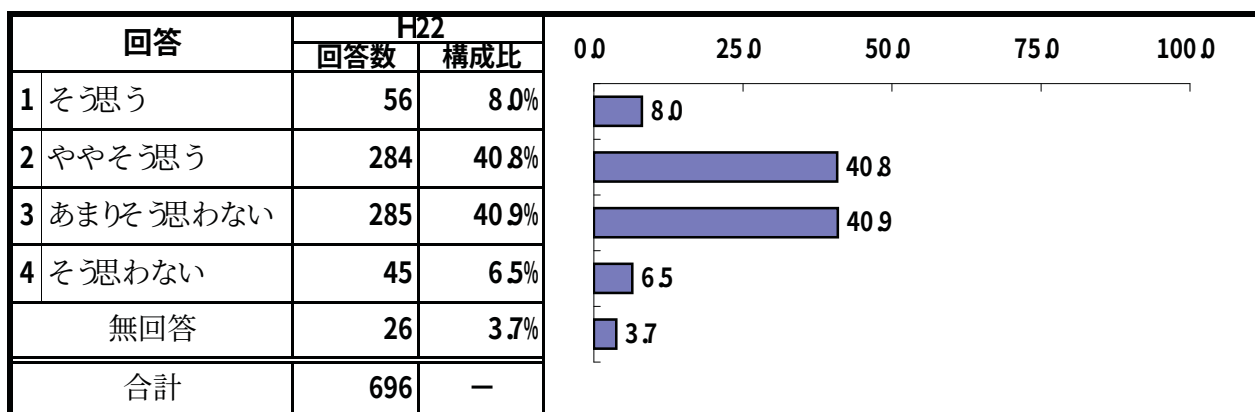


問10 - A 地震や水害など、災害への備えが整っている

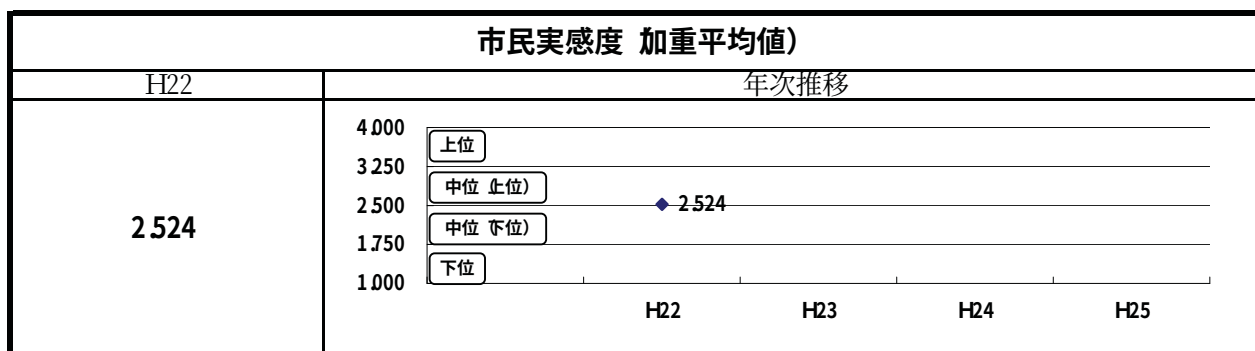
☞ 「あまりそう思わない」が40.9%（285人）、つづいて「ややそう思う」が40.8%（284人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.524となっており、ほぼ平均値（2.500）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人330人のうち、323人がその理由を回答しており、理由として「食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから」が最も多く、36.2%（117人）となっています。



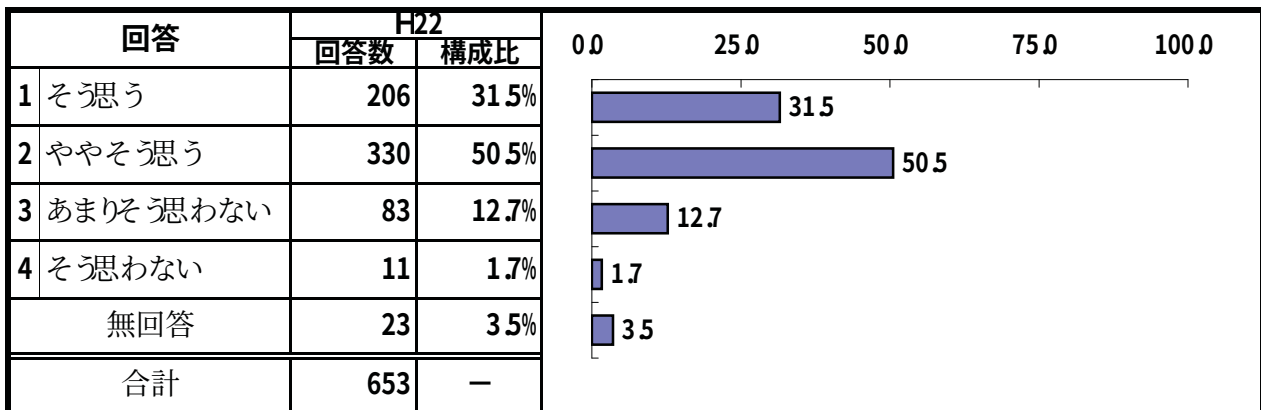
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 防災に関する意識が低いから	76	23.5%
b 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから	117	36.2%
c 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから	72	22.3%
d 自宅や避難場所の耐震性が不安だから	38	11.8%
e その他	20	6.2%
有効回答数	323	—



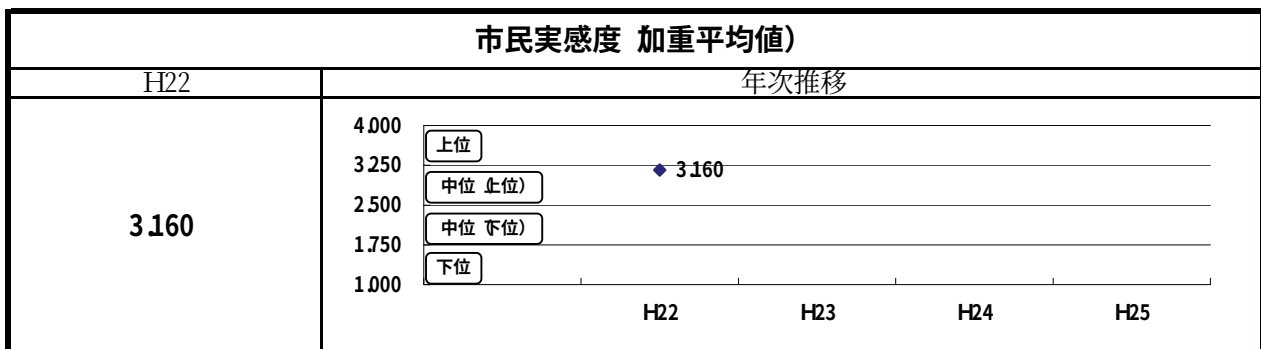


問10 - B 消火活動や救急活動が迅速に行われている

- ☞ 「ややそう思う」が50.5%（330人）、つづいて「そう思う」が31.5%（206人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.160となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人94人のうち、88人がその理由を回答しており、理由として「救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから」が最も多く29.5%（26人）となっています。



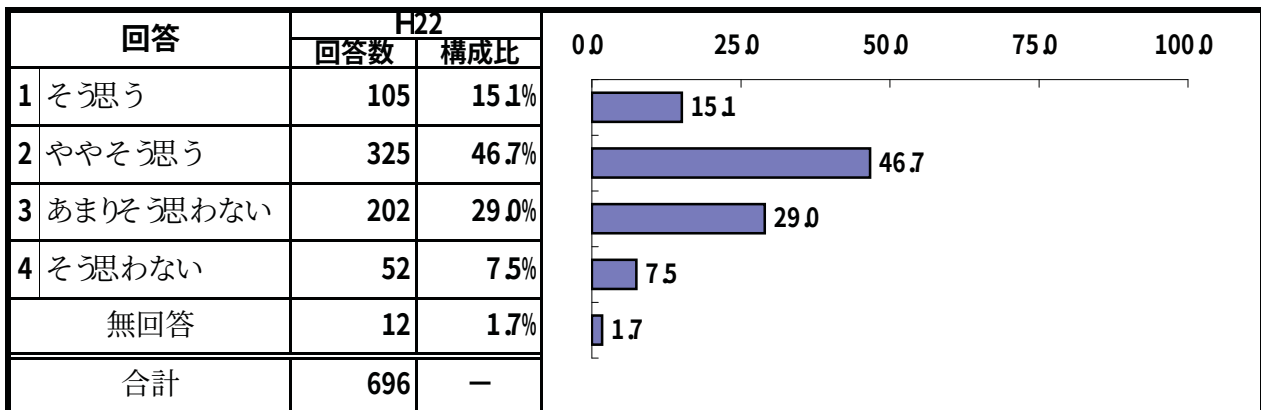
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 消火や防火の取り組みが十分でないから	9	10.2%
b 救急車や消防車の到着時間が遅いから	16	18.2%
c 救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから	26	29.5%
d 応急手当ができる市民が少ないから	20	22.7%
e その他	17	19.3%
有効回答数	88	—



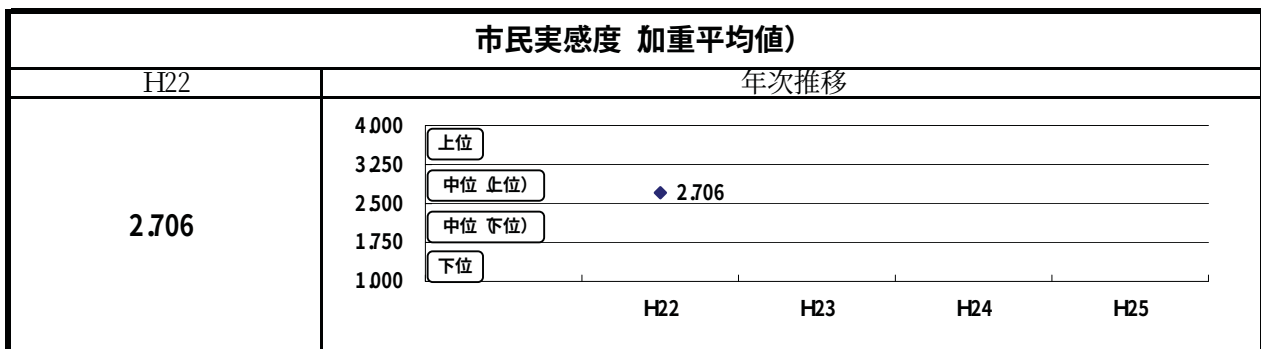


問11-A 日常生活において、 犯罪にあうことなく安心して暮らせる

- 「ややそう思う」が46.7%（325人）、つづいて「あまりそう思わない」が29.0%（202人）となっています。
- 市民実感度は、2.706となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人254人のうち、250人がその理由を回答しており、理由として「不審者や空き巣などが発生しているから」が最も多く、41.6%（104人）となっています。



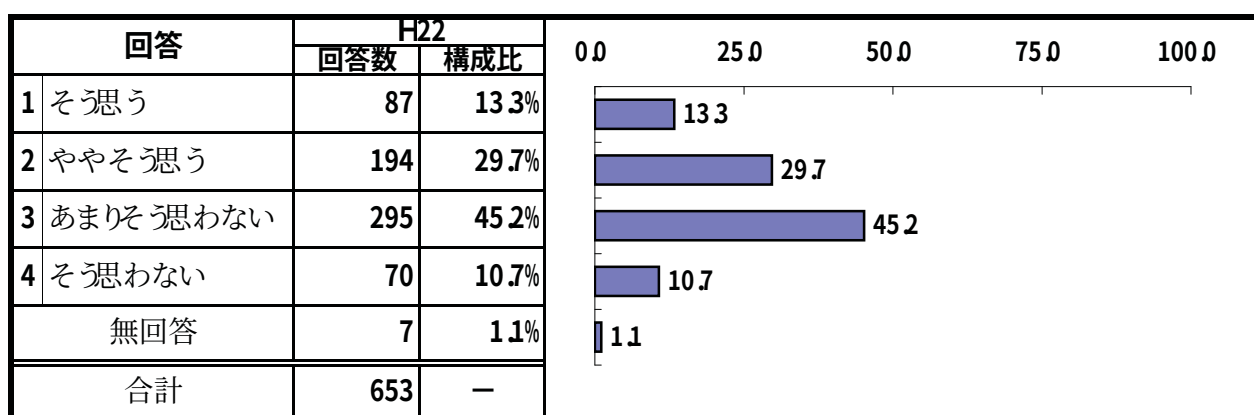
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 防犯に関する意識が低いから	37	14.8%
b 暗がりや人目につきにくい場所があるから	96	38.4%
c 不審者や空き巣などが発生しているから	104	41.6%
d その他	13	5.2%
有効回答数		250
		—



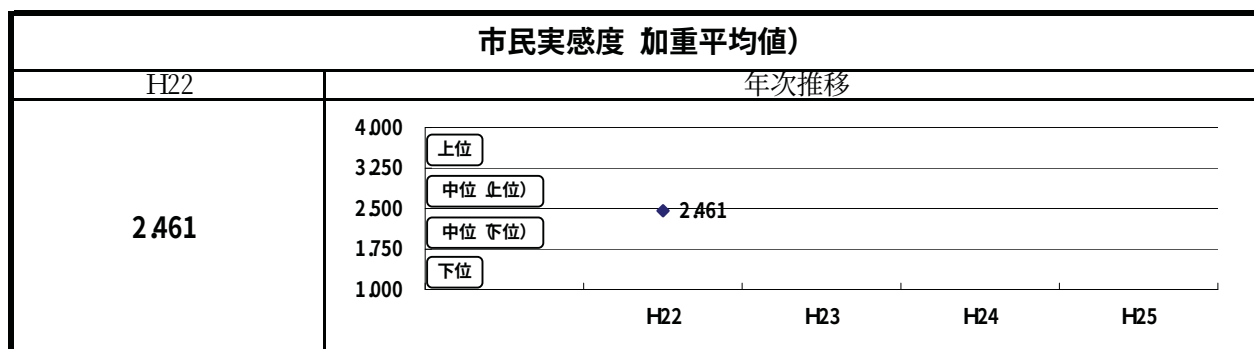


問11-B 日常生活において、 交通事故にあうことなく安心して暮らせる

- ☞ 「あまりそう思わない」が45.2%（295人）、つづいて「ややそう思う」が29.7%（194人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.461となっており、中位（下位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人365人のうち、362人がその理由を回答しており、理由として「ドライバーの運転マナーが悪いから」が最も多く、55.0%（199人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 交通ルールを守らない歩行者がいるから	55	15.2%
b ドライバーの運転マナーが悪いから	199	55.0%
c 危ない道路や交差点があるから	74	20.4%
d その他	34	9.4%
有効回答数		362
		—

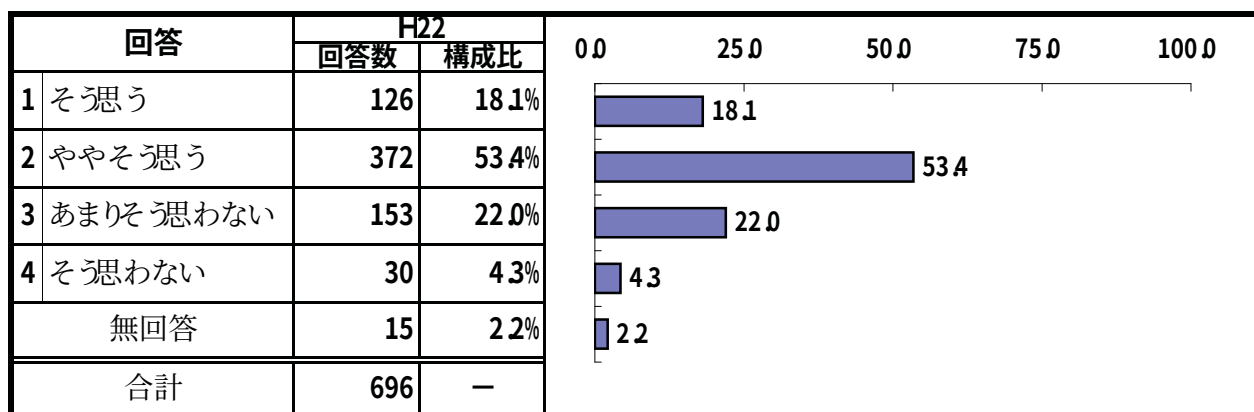


問12-A 悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

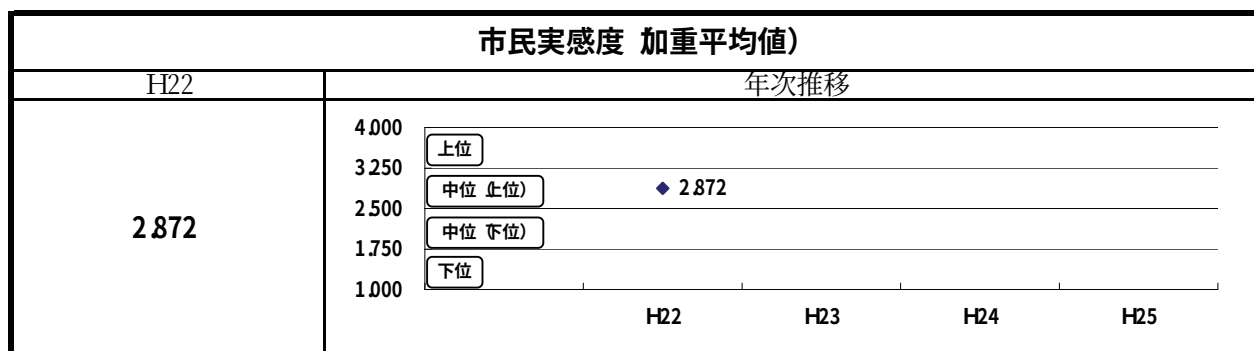
☞ 「ややそう思う」が53.4%（372人）、つづいて「あまりそう思わない」が22.0%（153人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.872となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人183人のうち、180人がその理由を回答しており、理由として「悪質な訪問販売などがあるから」が最も多く、50.6%（91人）となっています。



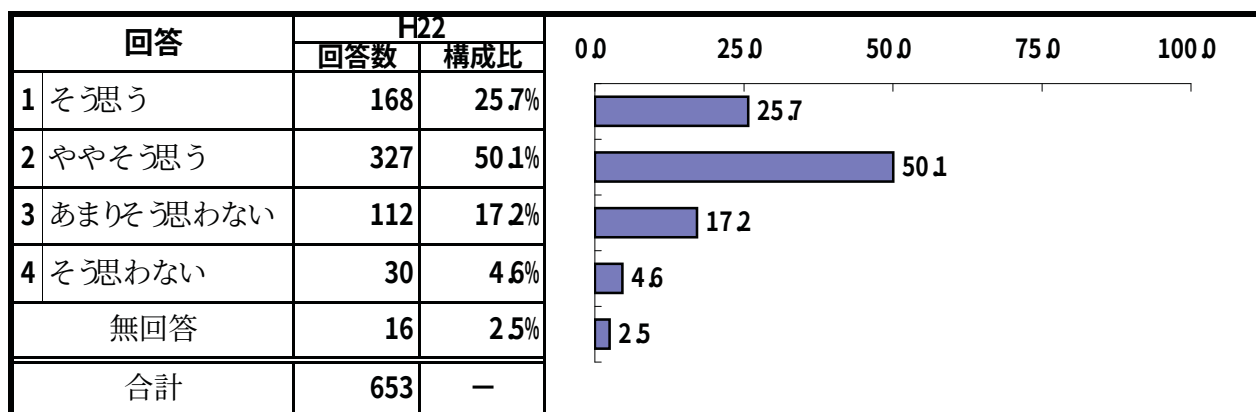
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a消費生活に関する情報提供が十分でないから	66	36.7%
b消費トラブルなどを相談できるところがないから	18	10.0%
c悪質な訪問販売などがあるから	91	50.6%
dその他	5	2.8%
有効回答数	180	—



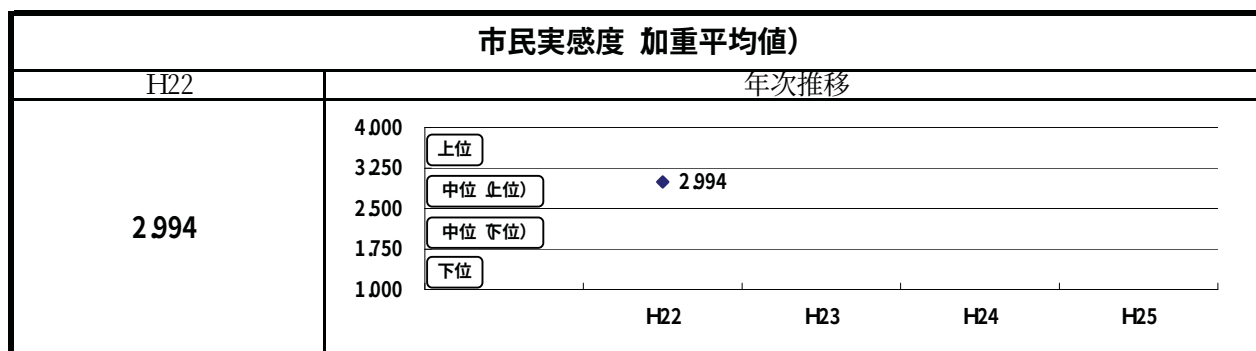


問12-B 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

- ☞ 「ややそう思う」が50.1%（327人）、つづいて「そう思う」が25.7%（168人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.994となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人142人のうち、141人がその理由を回答しており、理由として「各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから」が最も多く、32.6%（46人）となっています。



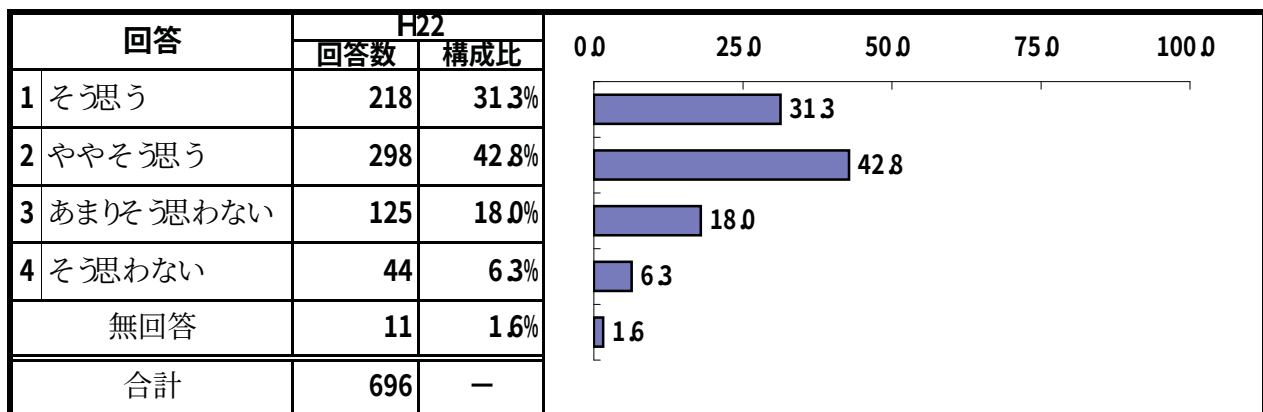
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 健康づくりに関する意識が低いから	18	12.8%
b 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから	46	32.6%
c 予防接種が受けやすい環境が整っていないから	14	9.9%
d 気軽に健康相談できるところがないから	36	25.5%
e その他	27	19.1%
有効回答数	141	—



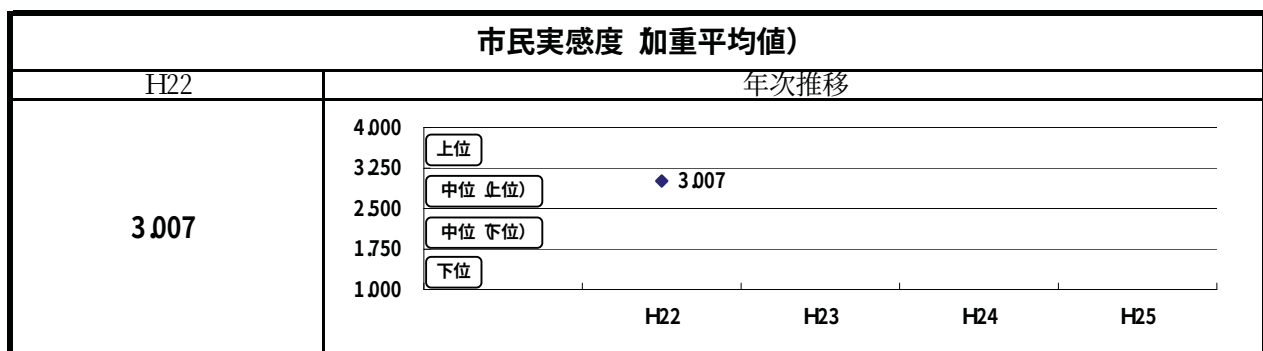


問13-A ケガや病気の際に安心して医療を受けられる

- ☞ 「ややそう思う」が42.8%（298人）、つづいて「そう思う」が31.3%（218人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.007となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人169人のうち、166人がその理由を回答しており、理由として「緊急時の医療機関の情報が十分でないから」が最も多く、41.0%（68人）となっています。



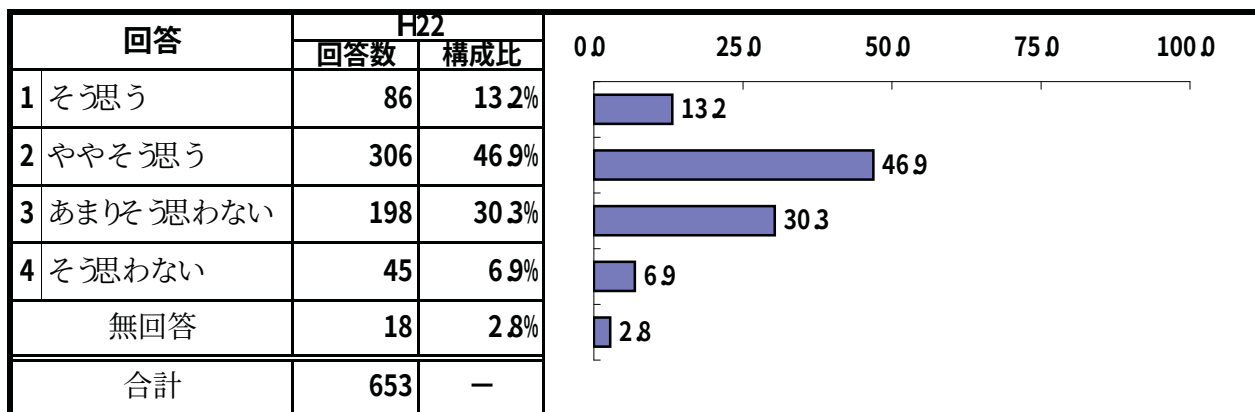
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 近くに病院や診療所がないから	5	3.0%
b 診療科目が不足しているから	15	9.0%
c 高度な医療を受けることができないから	53	31.9%
d 緊急時の医療機関の情報が十分でないから	68	41.0%
e その他	25	15.1%
有効回答数	166	—



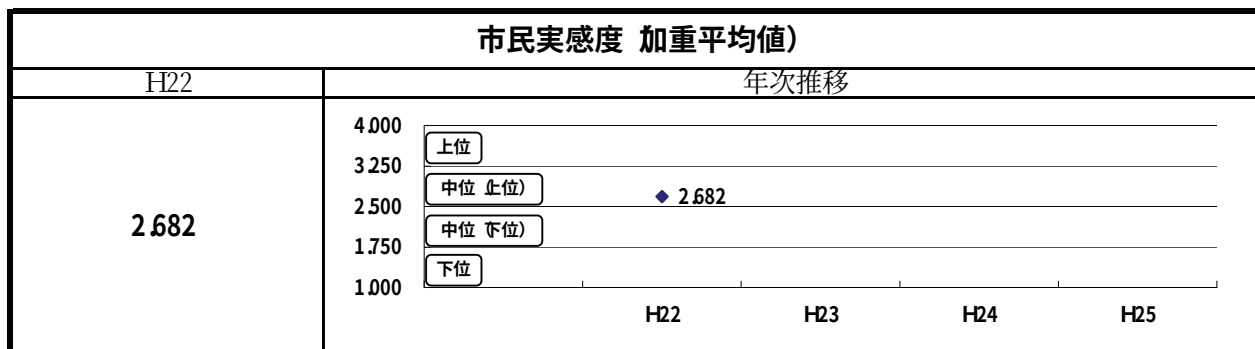


問13-B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

- ☞ 「ややそう思う」が46.9%（306人）、つづいて「あまりそう思わない」が30.3%（198人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.682となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人243人のうち、239人がその理由を回答しており、理由として「地域住民の互いに支え合う意識が低いから」が最も多く、55.6%（133人）となっています。



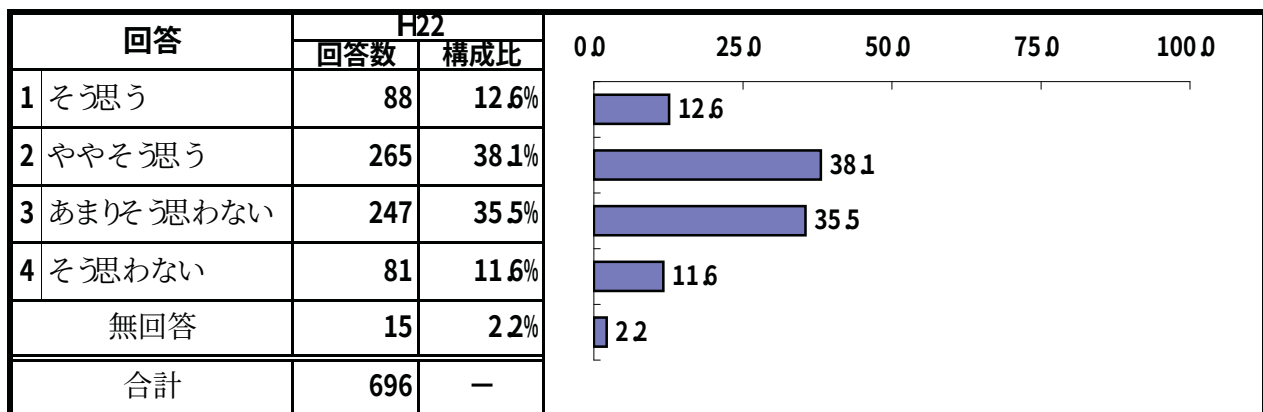
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 地域住民の互いに支え合う意識が低いから	133	55.6%
b 不安や心配事を地域で相談できるところがないから	56	23.4%
c 福祉ボランティアの活動が活発でないから	26	10.9%
d その他	24	10.0%
有効回答数		239
		—



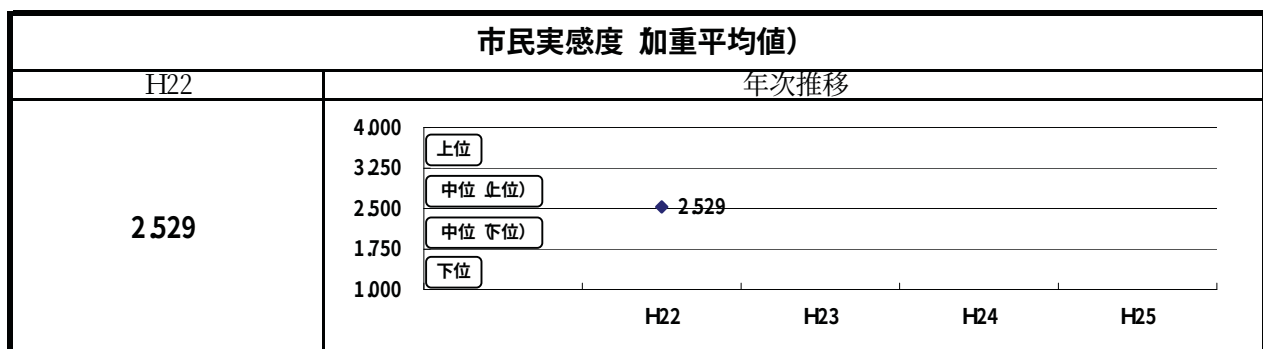


問14-A 高齢者が地域で生き生きと暮らせる

- ☞ 「ややそう思う」が38.1%（265人）、つづいて「あまりそう思わない」が35.5%（247人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.529となっており、ほぼ平均値（2.500）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人328人のうち、325人がその理由を回答しており、理由として「高齢者を地域で支える環境が整っていないから」が最も多く39.4%（128人）、「老人ホームなどの施設が不足しているから」が39.1%（127人）となっています。



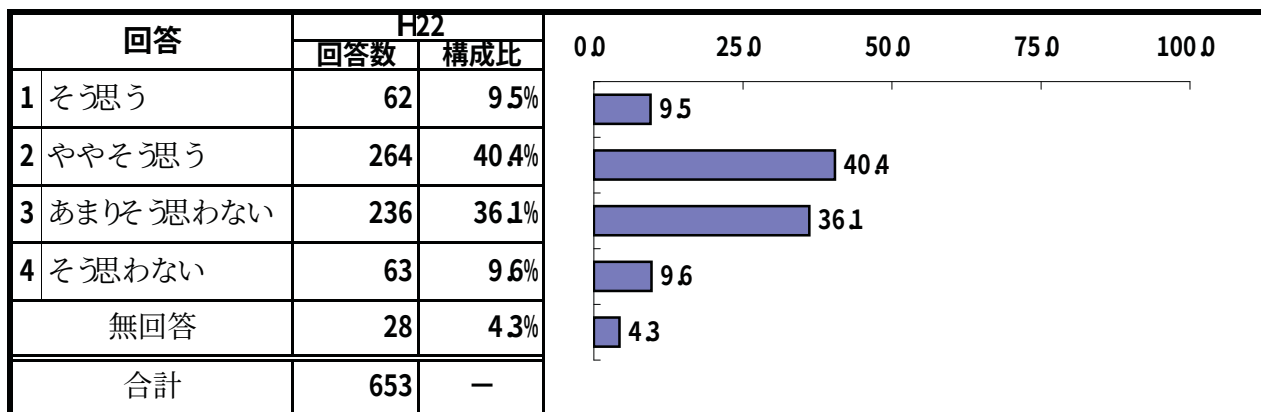
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 社会参加の機会が少ないから	19	5.8%
b 在宅の福祉サービスが利用しにくいから	30	9.2%
c 老人ホームなどの施設が不足しているから	127	39.1%
d 高齢者を地域で支える環境が整っていないから	128	39.4%
e その他	21	6.5%
有効回答数	325	—



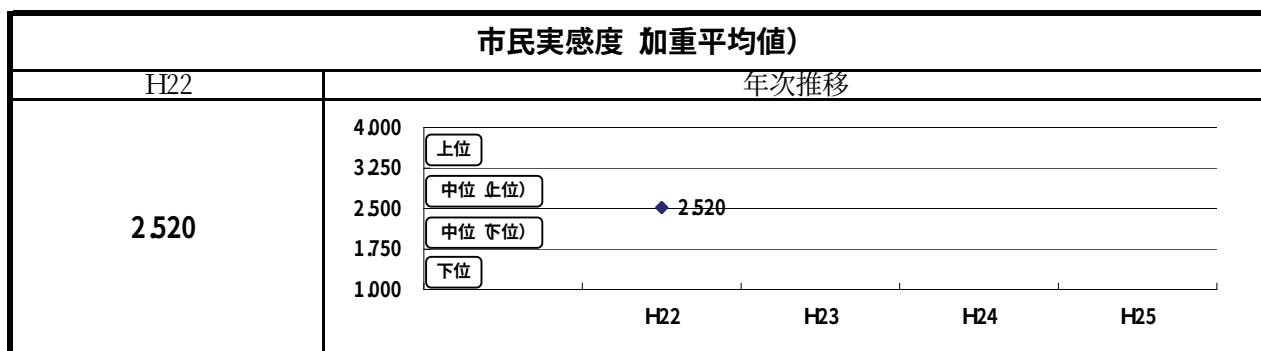


問14-B 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

- ☞ 「ややそう思う」が40.4%（264人）、つづいて「あまりそう思わない」が36.1%（236人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.520となっており、ほぼ平均値（2.500）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人299人のうち、298人がその理由を回答しており、理由として「障害のある人を地域で支え合う意識が低いから」が最も多く、28.2%（84人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから	73	24.5%
b 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから	84	28.2%
c 障害者福祉サービスが十分でないから	50	16.8%
d 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから	73	24.5%
e その他	18	6.0%
有効回答数	298	—



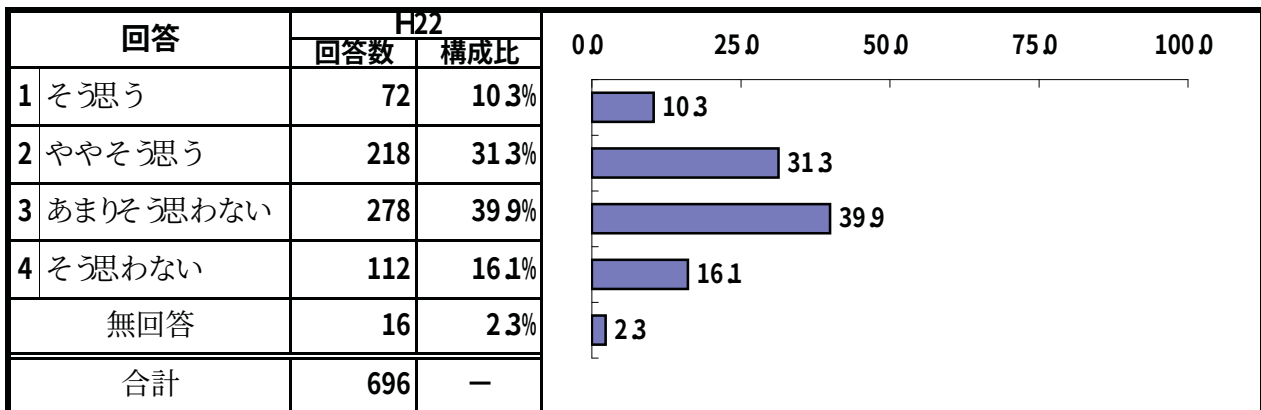


問15 - A 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

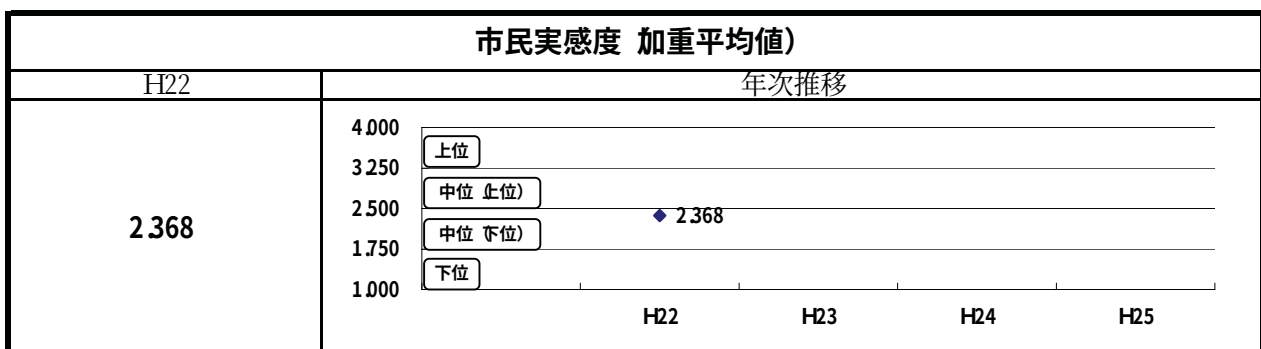
☞ 「あまりそう思わない」が39.9%（278人）、つづいて「ややそう思う」が31.3%（218人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.368となっており、中位（下位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人390人のうち、387人がその理由を回答しており、理由として「給付と負担のバランスがとれていないから」が最も多く、27.6%（107人）となっています。



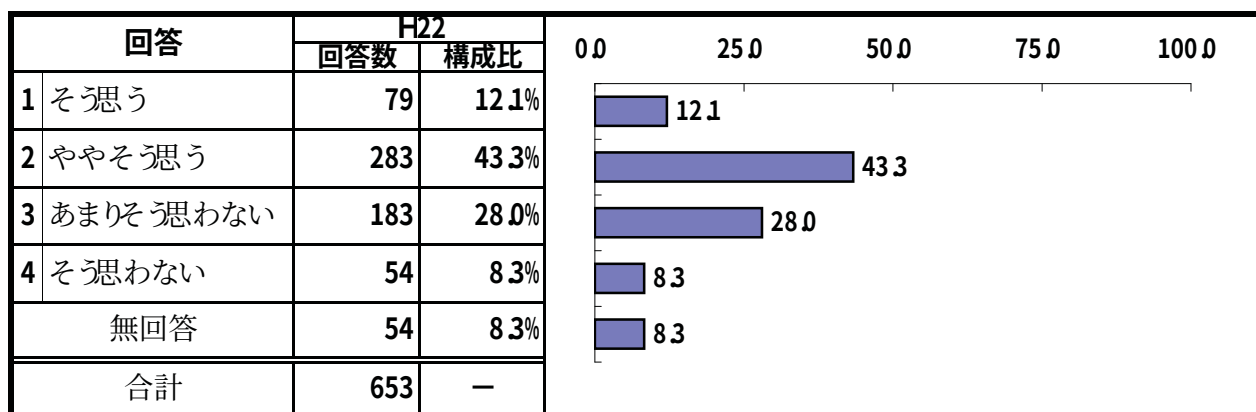
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 給付が増大し、制度が維持できるか不安だから	96	24.8%
b 給付と負担のバランスがとれていないから	107	27.6%
c 世代間の負担に不公平があるから	66	17.1%
d 制度がよく分からないから	82	21.2%
e その他	36	9.3%
有効回答数	387	—



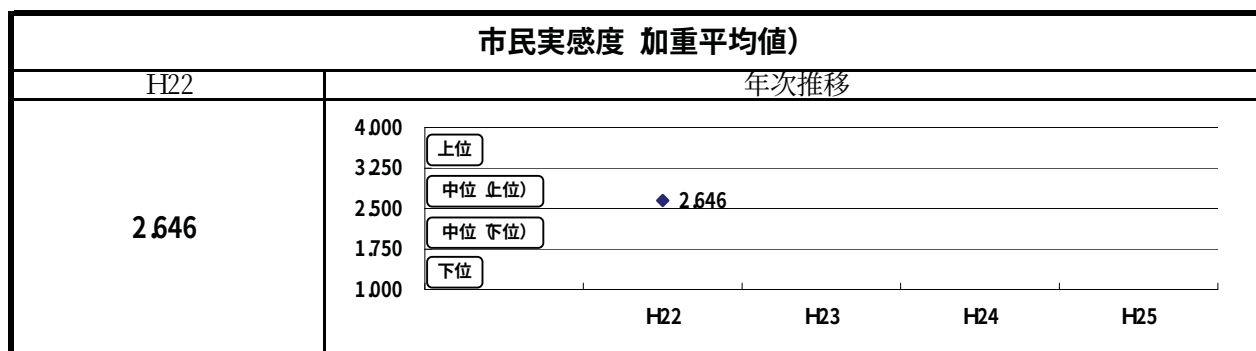


問15-B 安心して子どもを生み育てることができる

- ☞ 「ややそう思う」が43.3%（283人）、つづいて「あまりそう思わない」が28.0%（183人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.646となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人237人のうち、235人がその理由を回答しており、理由として「出産や育児と仕事が両立できる職場環境が整っていないから」が最も多く、40.4%（95人）となっています。



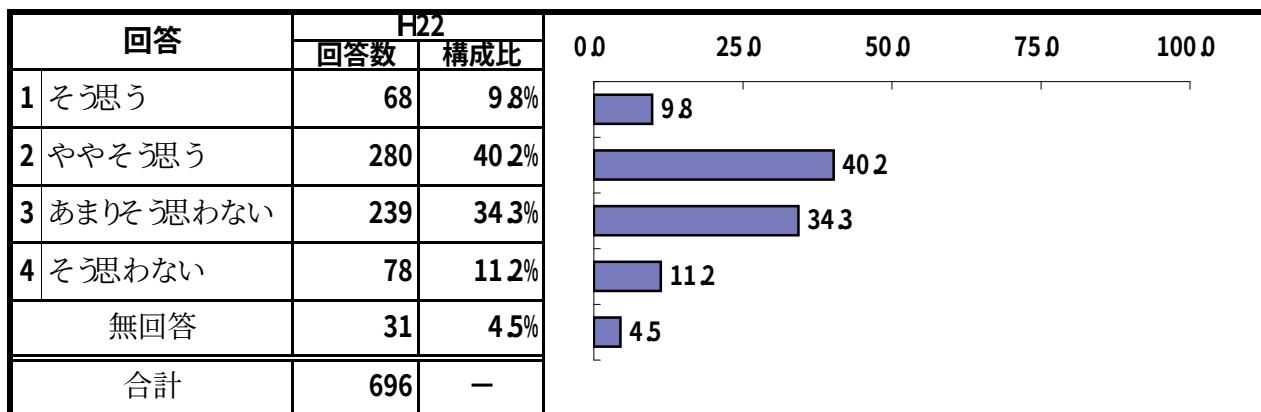
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 保育所の保育サービスが十分でないから	23	9.8%
b 児童保育センターの保育サービスが十分でないから	10	4.3%
c 出産や育児と仕事が両立できる職場環境が整っていないから	95	40.4%
d 子育てに関する不安をどこに相談したらよいか分からないから	11	4.7%
e 将来に対する様々な不安感があるから	78	33.2%
f その他	18	7.7%
有効回答数	235	—



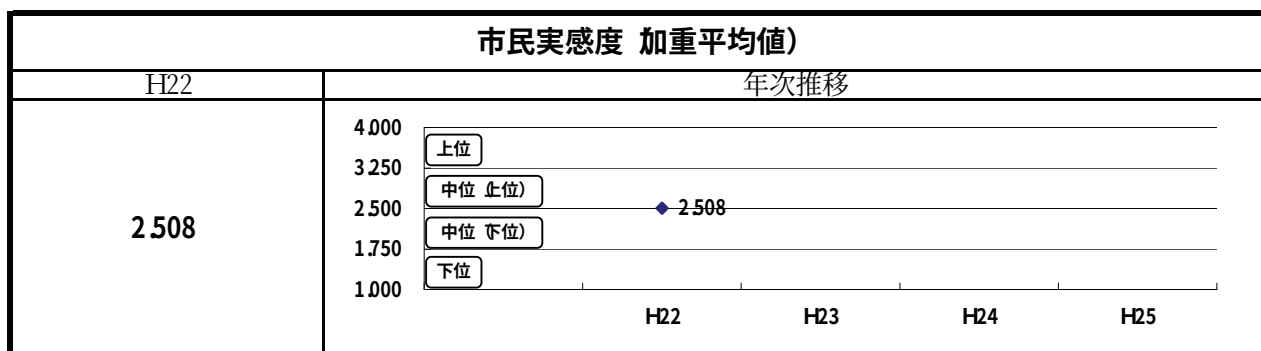


問16 - A 青少年が健全に育つ環境が整っている

- 「ややそう思う」が40.2%（280人）、つづいて「あまりそう思わない」が34.3%（239人）となっています。
- 市民実感度は、2.508となっており、ほぼ平均値（2.500）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人317人のうち、313人がその理由を回答しており、理由として「家庭や地域における子どものしつけが不足しているから」が最も多く、39.6%（124人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから	124	39.6%
b 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから	48	15.3%
c 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから	38	12.1%
d 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから	90	28.8%
e その他	13	4.2%
有効回答数	313	—



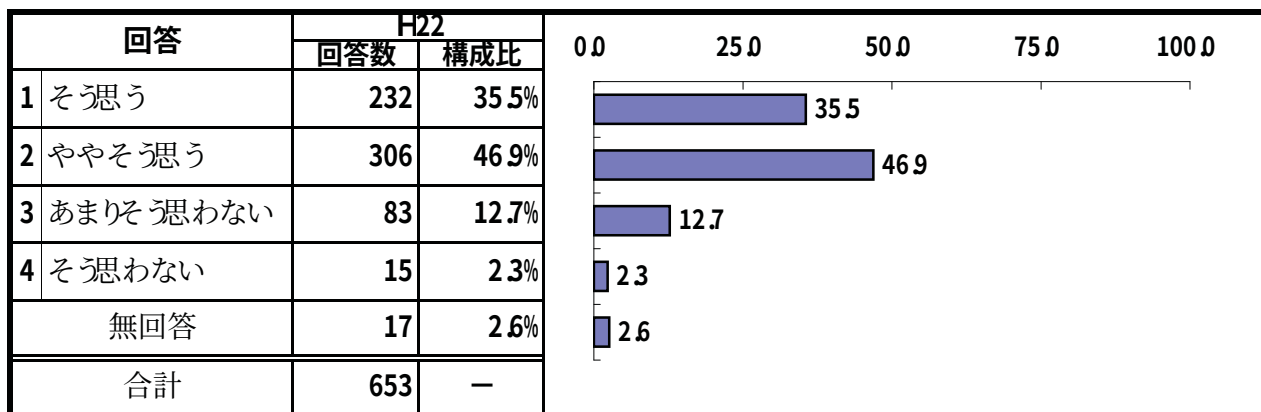


問16 - B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

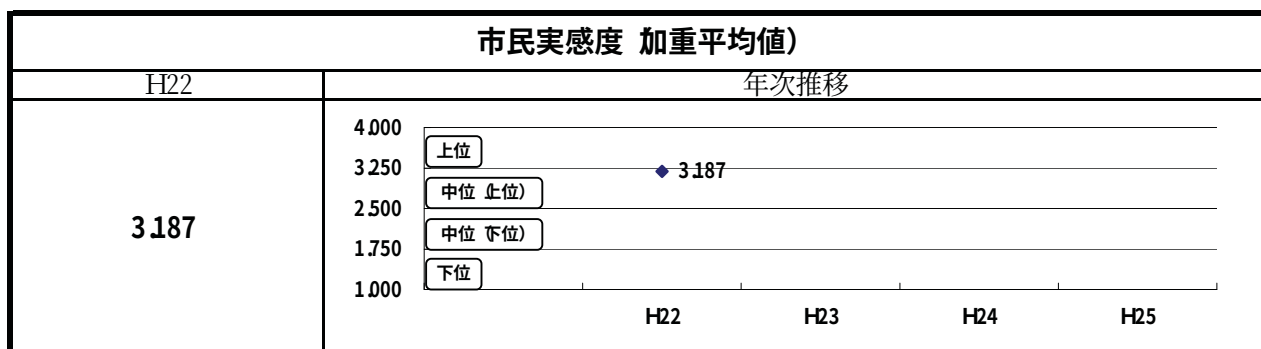
☞ 「ややそう思う」が46.9%（306人）、つづいて「そう思う」が35.5%（232人）となっています。

☞ 市民実感度は、3.187となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人98人のうち、96人がその理由を回答しており、理由として「安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから」が最も多く、33.3%（32人）となっています。

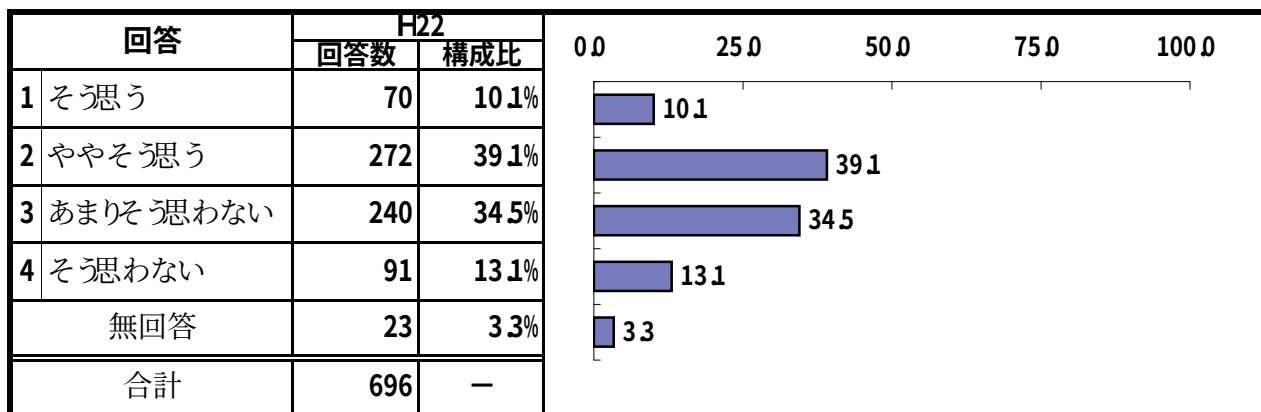


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから	32	33.3%
b 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから	25	26.0%
c 農業や農村に対する理解が促進されていないから	25	26.0%
d その他	14	14.6%
有効回答数		96
		—

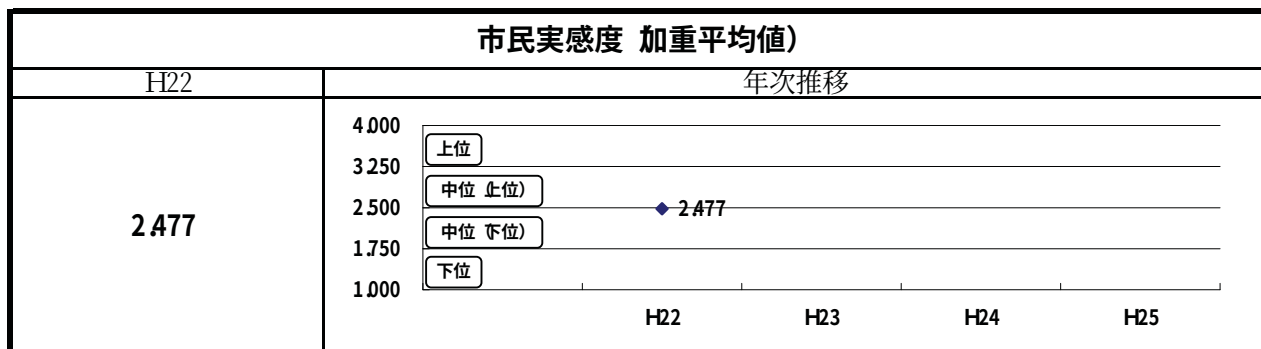


問17-A ものづくり産業に活気がある

- 「ややそう思う」が39.1%（272人）、つづいて「あまりそう思わない」が34.5%（240人）となっています。
- 市民実感度は、2.477となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人331人のうち、321人がその理由を回答しており、理由として「製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから」が最も多く、36.8%（118人）となっています。



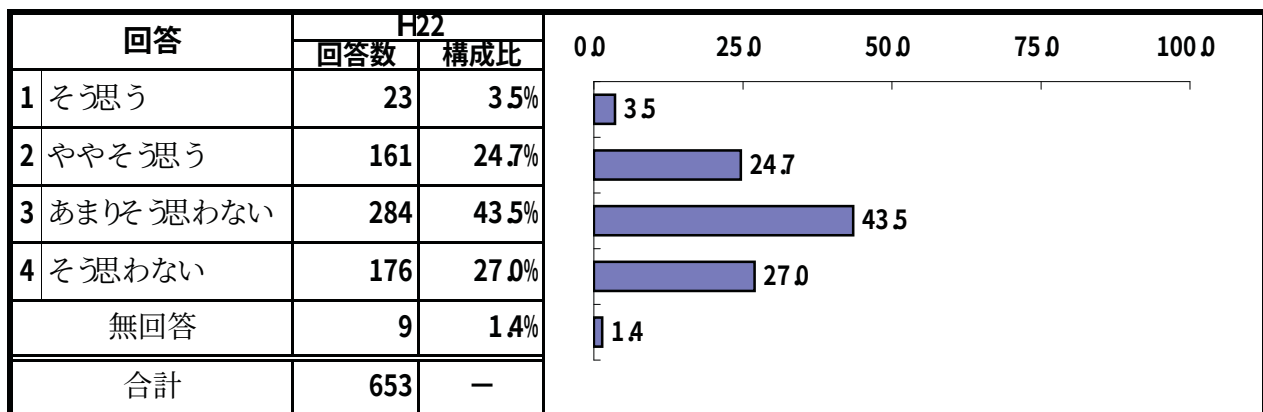
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから	80	24.9%
b 地元製品の市場拡大がすすんでいないから	96	29.9%
c 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから	118	36.8%
d その他	27	8.4%
有効回答数	321	—



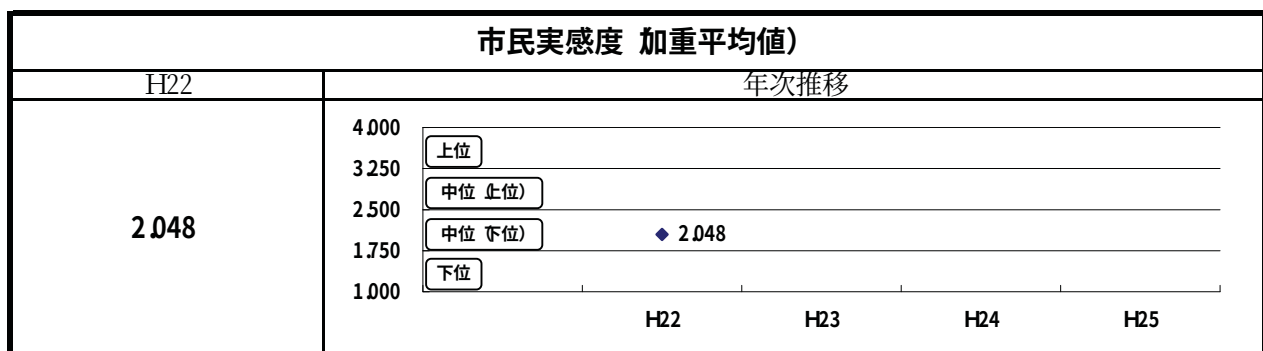


問17-B 商店や商店街に活気がある

- ☞ 「あまりそう思わない」が43.5%（284人）、つづいて「そう思わない」27.0%（176人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.048となっており、中位（下位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人460人のうち、451人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある商店街整備が行われていないから」が最も多く、50.8%（229人）となっています。

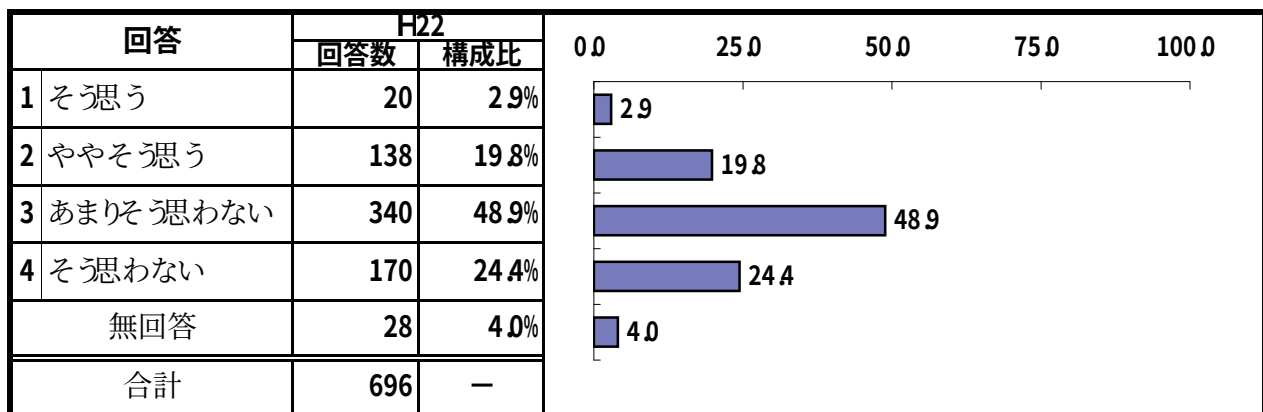


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 商店の商品やサービスに魅力がないから	83	18.4%
b 魅力ある商店街整備が行われていないから	229	50.8%
c 商店街のイベントに魅力がないから	74	16.4%
d その他	65	14.4%
有効回答数		451
		—

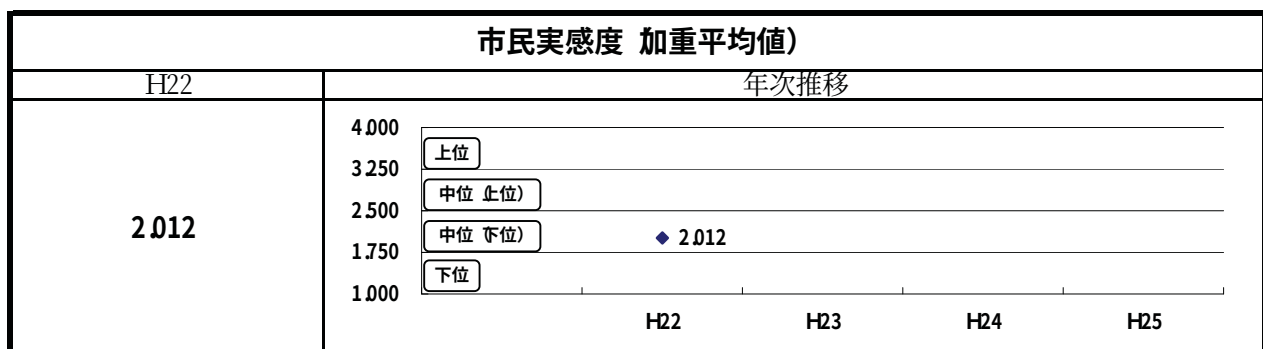


問18 - A 地元の企業に活気がある

- 「あまりそう思わない」が48.9%（340人）、つづいて「そう思わない」が24.4%（170人）となっています。
- 市民実感度は、2.012となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人510人のうち、498人がその理由を回答しており、理由として「地元企業の経営が悪化しているから」が最も多く、59.0%（294人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 地元企業の経営が悪化しているから	294	59.0%
b 中小企業を支える人材が育成されていないから	63	12.7%
c 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから	121	24.3%
d その他	20	4.0%
有効回答数		498
		—



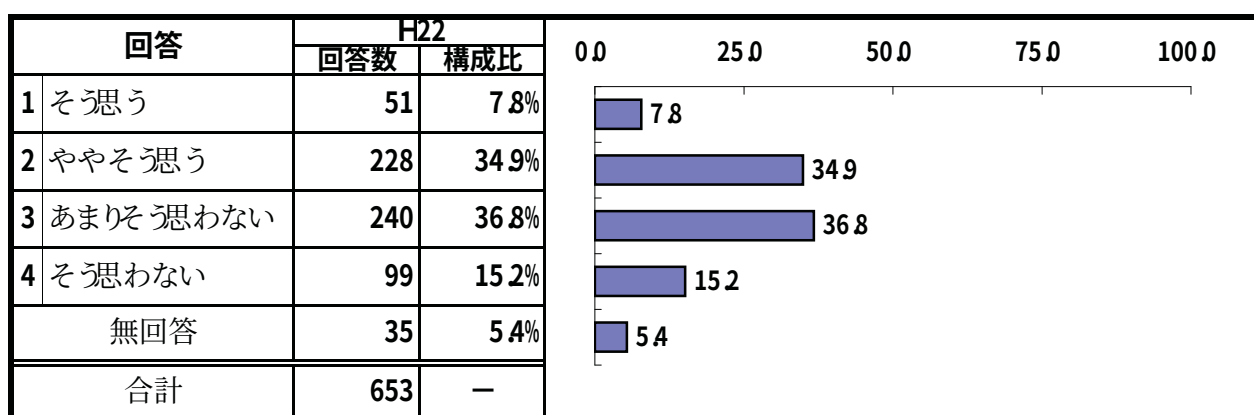


問18 - B 企業が大学などと連携し、 新たな製品開発が 行われている

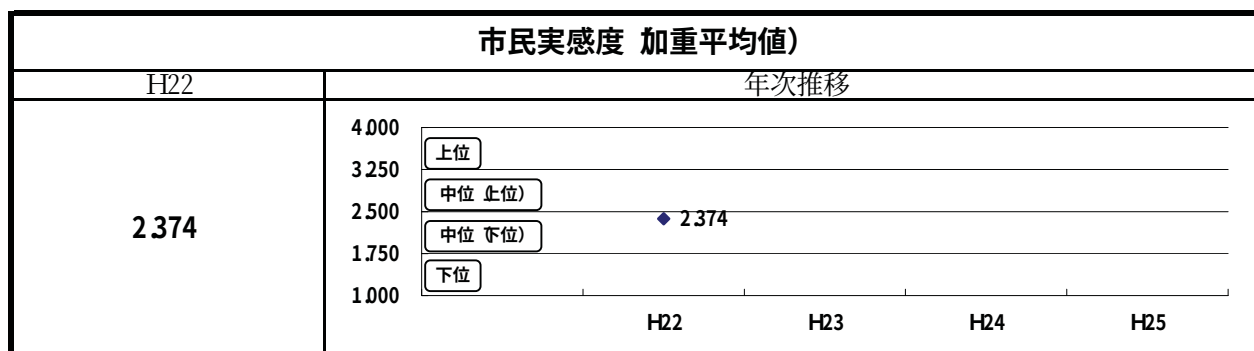
☞ 「あまりそう思わない」が36.8%（240人）、つづいて「ややそう思う」が34.9%（228人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.374となっており、中位（下位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人339人のうち、337人がその理由を回答しており、理由として「具体的な取り組み内容が分からないから」が最も多く、54.0%（182人）となっています。



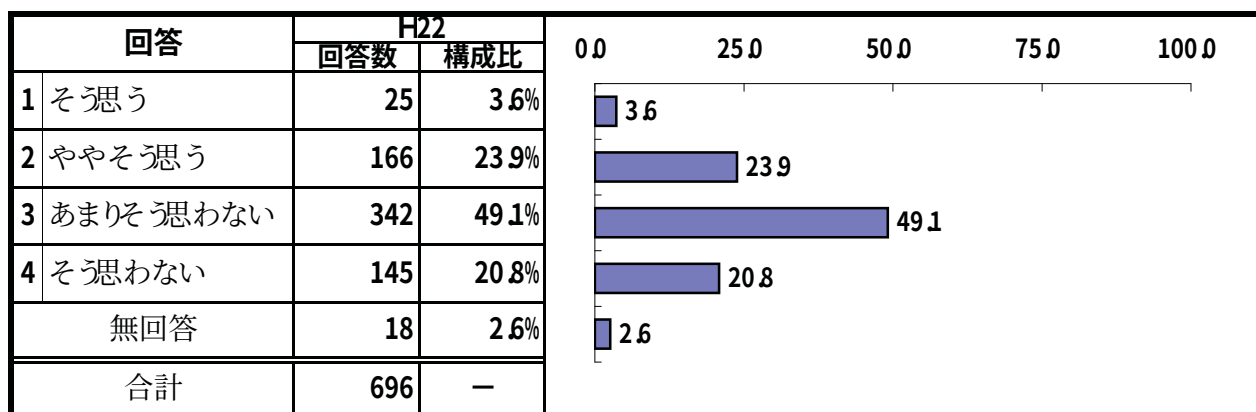
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから	25	7.4%
b 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから	32	9.5%
c 地元製品のPRが不足しているから	87	25.8%
d 具体的な取り組み内容が分からないから	182	54.0%
e その他	11	3.3%
有効回答数	337	—



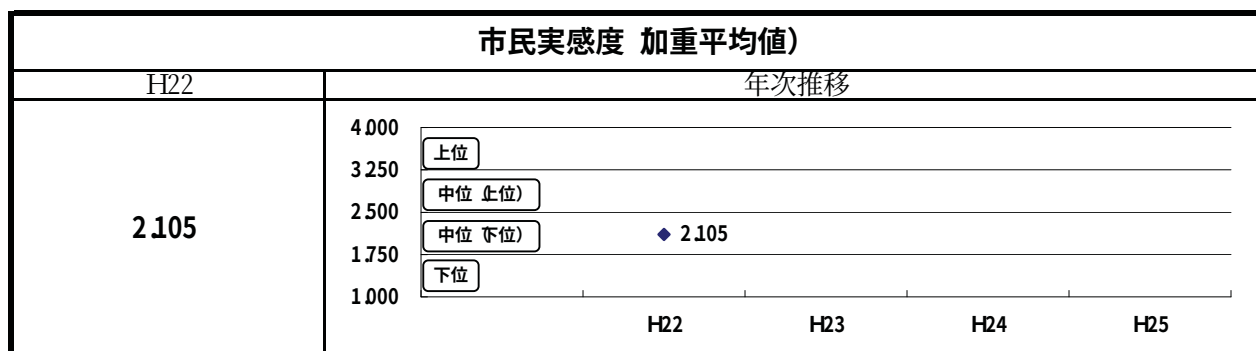


問19-A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

- ☞ 「あまりそう思わない」が49.1%（342人）、つづいて「ややそう思う」が23.9%（166人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.105となっており、中位（下位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人487人のうち、479人がその理由を回答しており、理由として「若い人の働く場が少ないから」が最も多く、36.5%（175人）となっています。



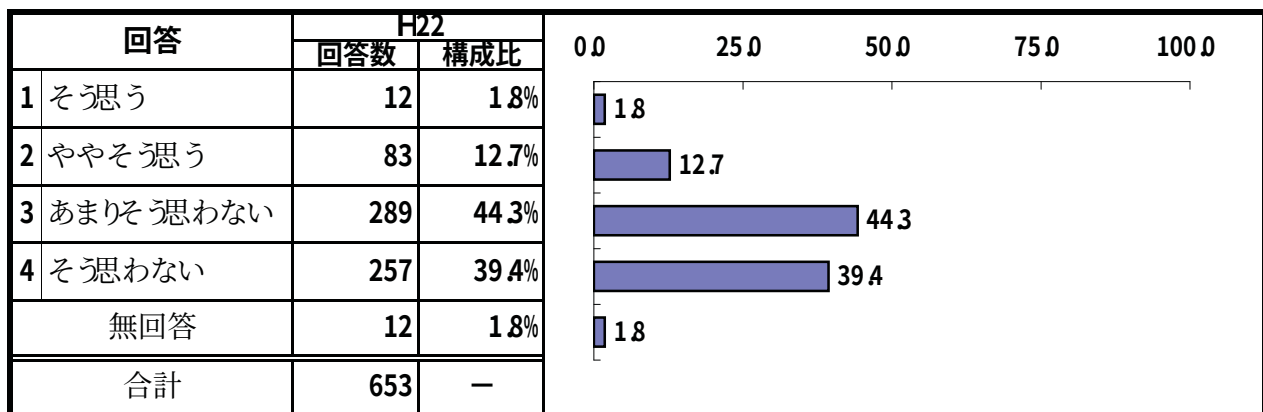
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 若い人の働く場が少ないから	175	36.5%
b 女性や高齢者の働く場が少ないから	132	27.6%
c 能力や経験を活かせる職場が少ないから	99	20.7%
d 会社の福利厚生が整っていないから	44	9.2%
e その他	29	6.1%
有効回答数	479	—



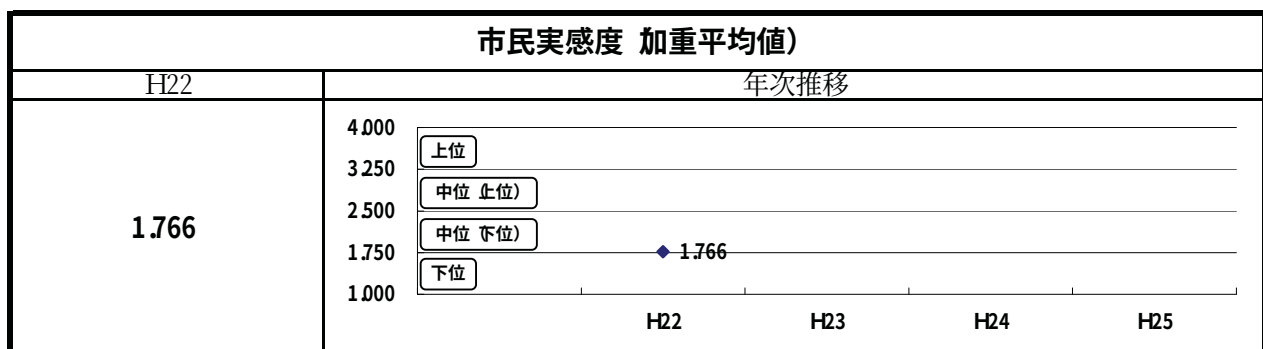


問19-B 中心市街地に魅力とにぎわいがある

- 「あまりそう思わない」が44.3%（289人）、つづいて「そう思わない」が39.4%（257人）となっています。
- 市民実感度は、1.766となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人546人のうち、538人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある店舗が少ないから」が最も多く、58.4%（314人）となっています。



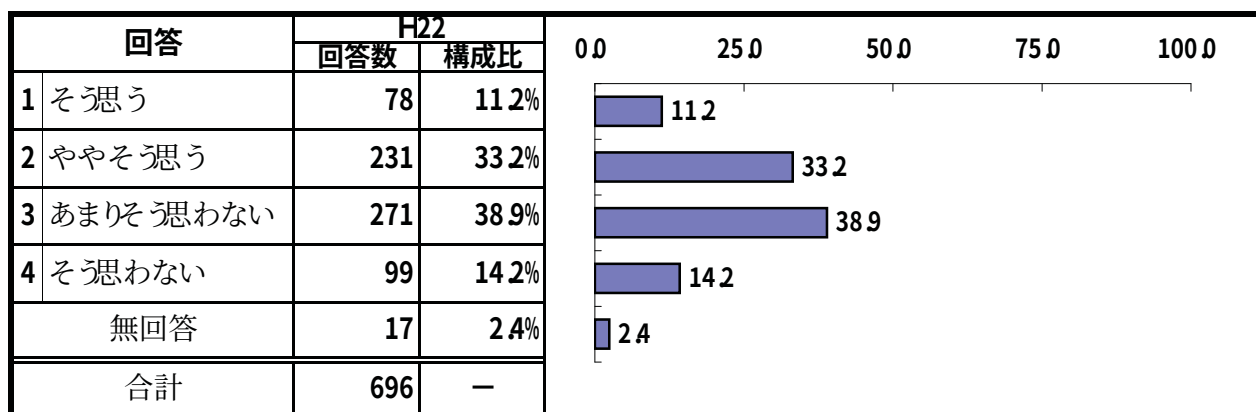
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 魅力ある店舗が少ないから	314	58.4%
b 中心市街地への交通の利便性が悪いから	102	19.0%
c 各種イベントに魅力がないから	59	11.0%
d その他	63	11.7%
有効回答数	538	—



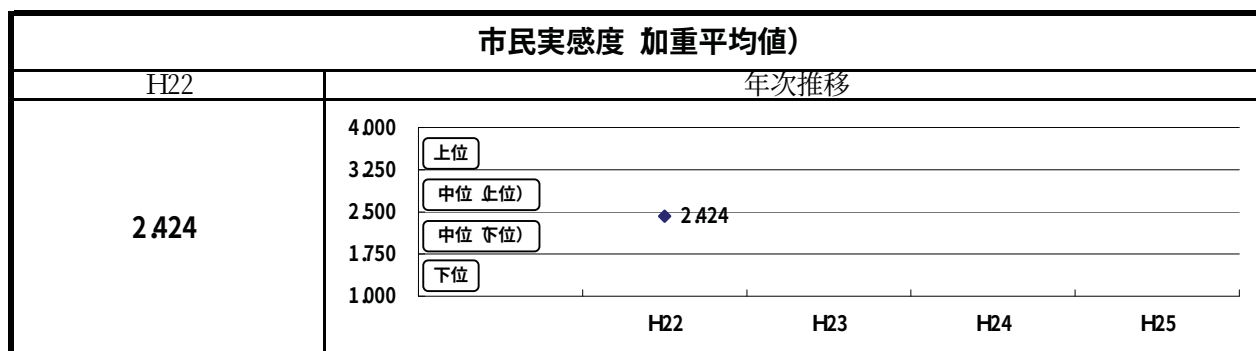


問20-A 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

- 「あまりそう思わない」が38.9%（271人）、つづいて「ややそう思う」が33.2%（231人）となっています。
- 市民実感度は、2.424となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人370人のうち、365人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある観光地が少ないから」が最も多く、46.8%（171人）となっています。



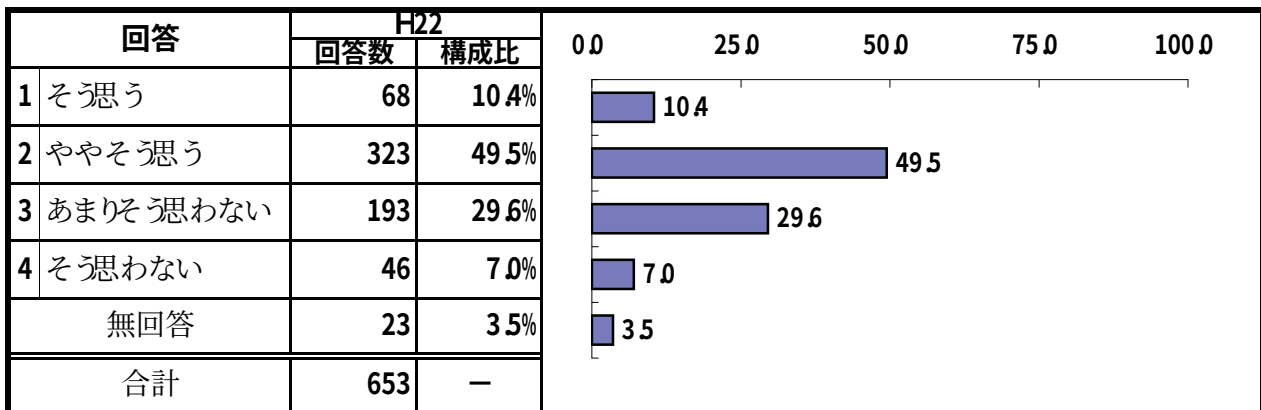
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 魅力ある観光地が少ないから	171	46.8%
b 観光イベントに魅力がないから	68	18.6%
c 観光情報の発信やPRが不足しているから	103	28.2%
d その他	23	6.3%
有効回答数	365	—



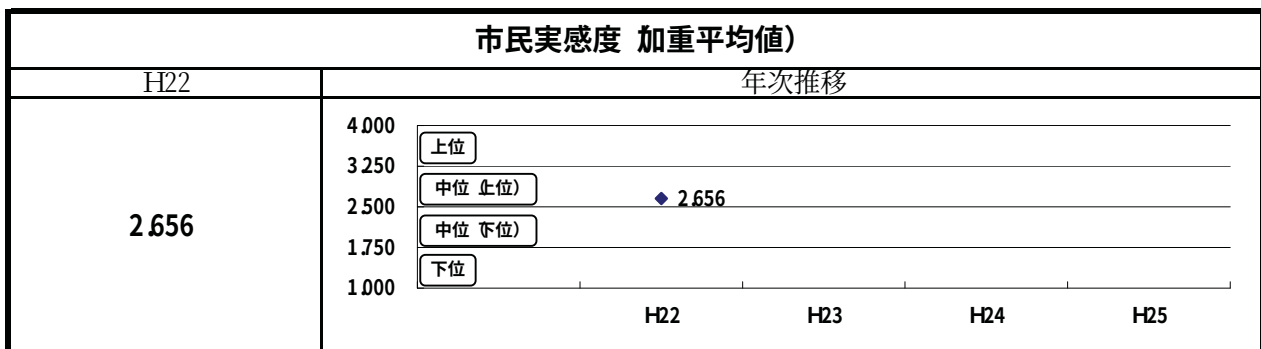


問20-B 自然環境が保全され、 環境への負荷を低減する取り組みが行われている

- ☞ 「ややそう思う」が49.5%（323人）、つづいて「あまりそう思わない」が29.6%（193人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.656となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人239人のうち、235人がその理由を回答しており、理由として「環境保全に関する意識が低いから」が最も多く、45.1%（106人）となっています。



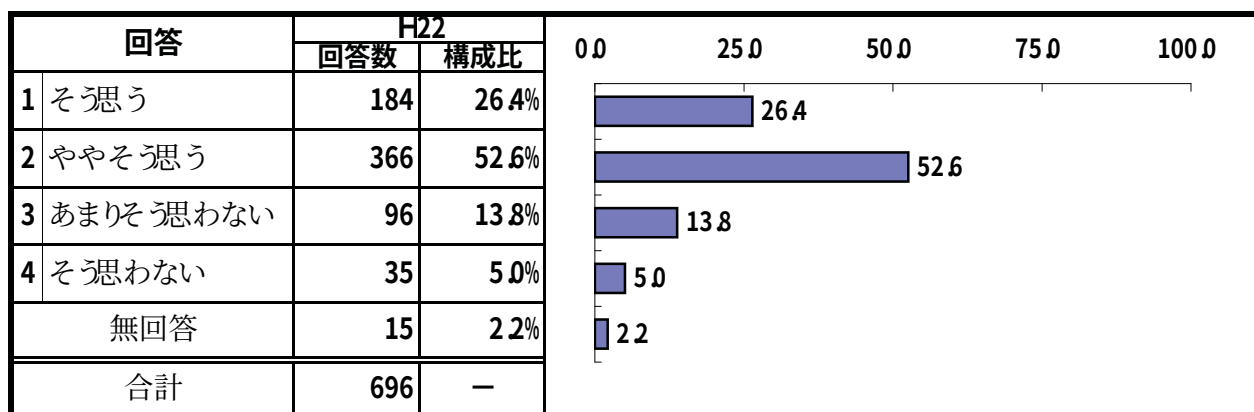
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 環境保全に関する意識が低いから	106	45.1%
b 太陽光発電システムなどの導入がすすんでいないから	55	23.4%
c 騒音や悪臭が気になるから	16	6.8%
d 市内の良好な自然環境が守られていないから	40	17.0%
e その他	18	7.7%
有効回答数	235	—



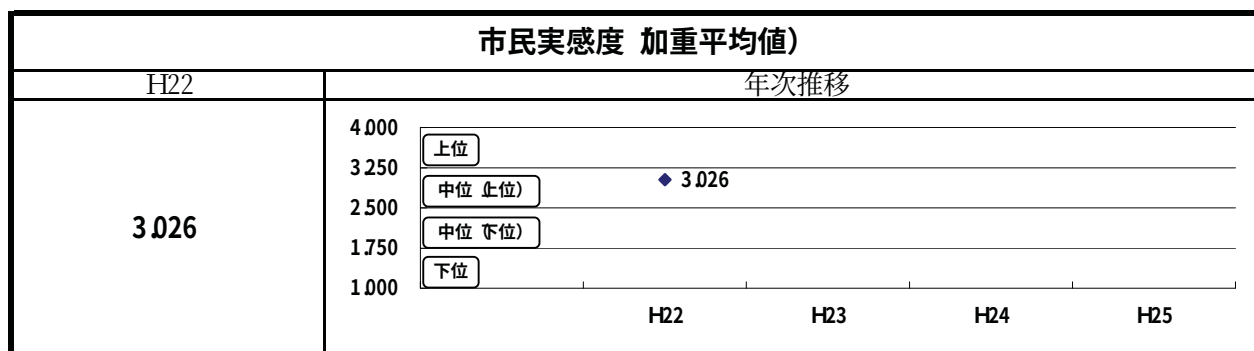


問21-A ごみの減量やリサイクルなど、 廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

- ☞ 「ややそう思う」が52.6%（366人）、つづいて「そう思う」が26.4%（184人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.026となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人131人のうち、129人がその理由を回答しており、理由として「ごみの分別や排出日を守られていないから」が最も多く、38.8%（50人）となっています。



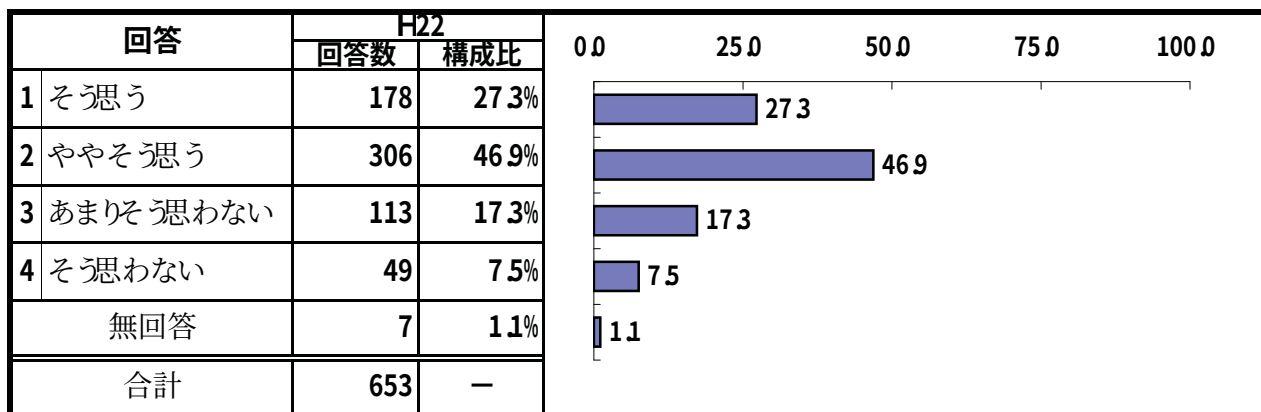
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a ごみの分別や排出日を守られていないから	50	38.8%
b 再使用や資源化に関する意識が低いから	32	24.8%
c 事業者のごみ減量や資源再利用の意識が低いから	22	17.1%
d その他	25	19.4%
有効回答数	129	—



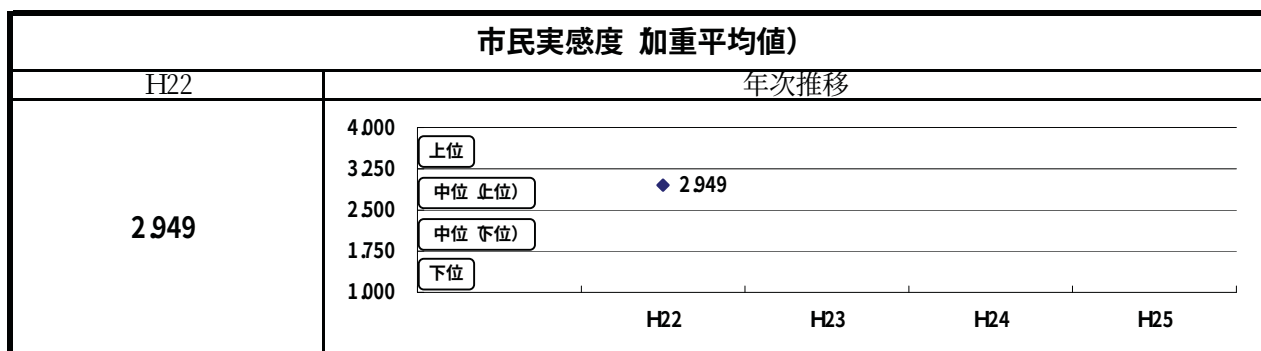


問21-B 公園、街路樹などが良好に管理され、 身近に緑や花に親しむことができる

- ☞ 「ややそう思う」が46.9%（306人）、つづいて「そう思う」が27.3%（178人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.949となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人162人のうち、158人がその理由を回答しており、理由として「公園の管理が十分に行われていないから」が最も多く、43.0%（68人）となっています。



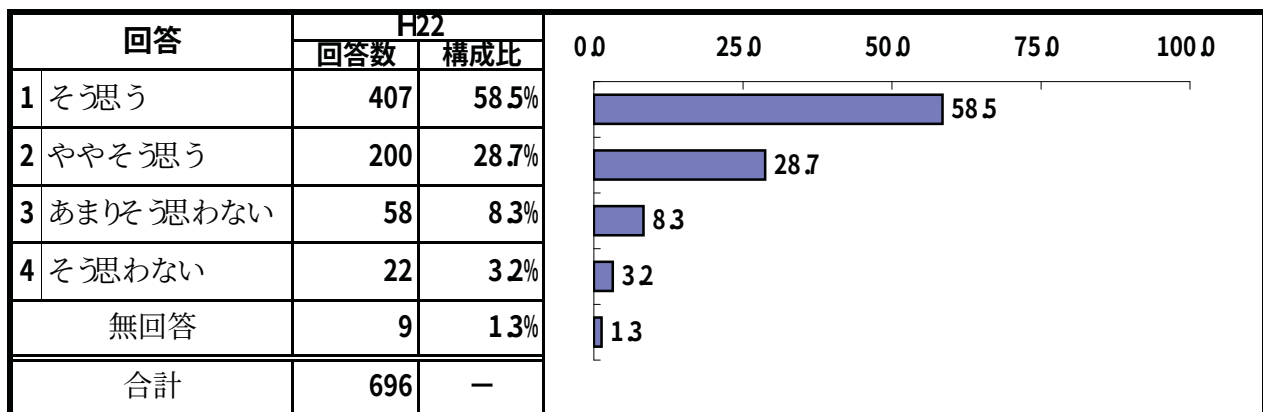
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 身近なところに公園が少ないから	26	16.5%
b 公園の管理が十分に行われていないから	68	43.0%
c 身近なところに緑が少ないから	15	9.5%
d 緑化に関する意識が低いから	29	18.4%
e その他	20	12.7%
有効回答数	158	—



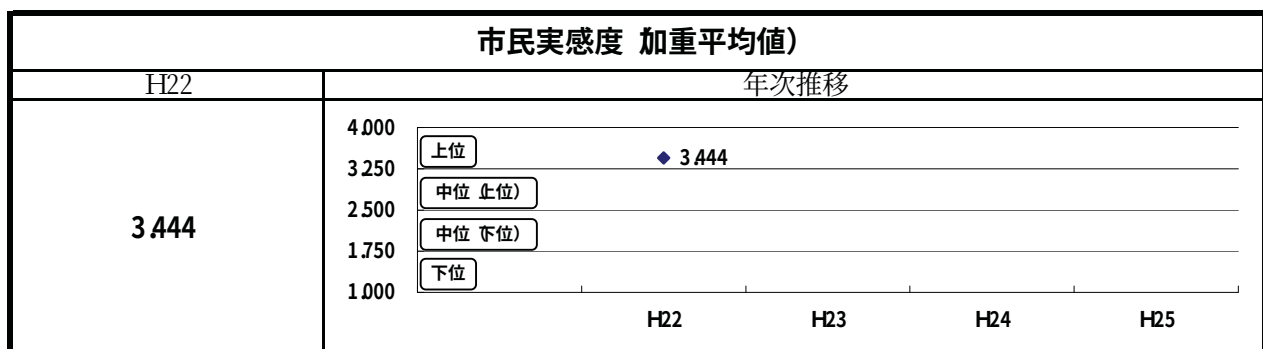


問22-A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

- 「そう思う」が58.5%（407人）、つづいて「ややそう思う」が28.7%（200人）となっています。
- 市民実感度は、3.444となっており、上位に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人80人のうち、79人がその理由を回答しており、理由として「水道水がおいしいと感じないから」が最も多く、59.5%（47人）となっています。



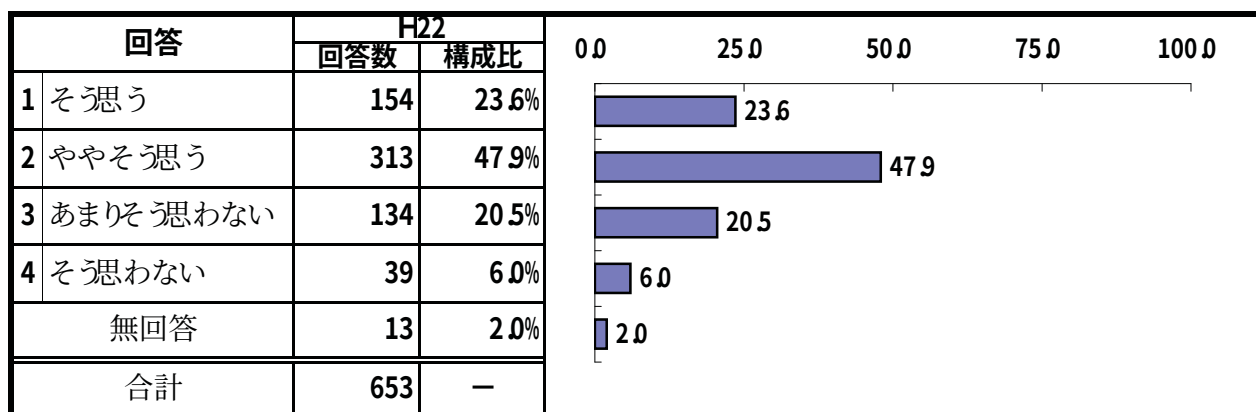
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 水道水がおいしいと感じないから	47	59.5%
b 断水や濁水などが発生したことがあるから	5	6.3%
c 災害時の不安があるから	15	19.0%
d その他	12	15.2%
有効回答数	79	—



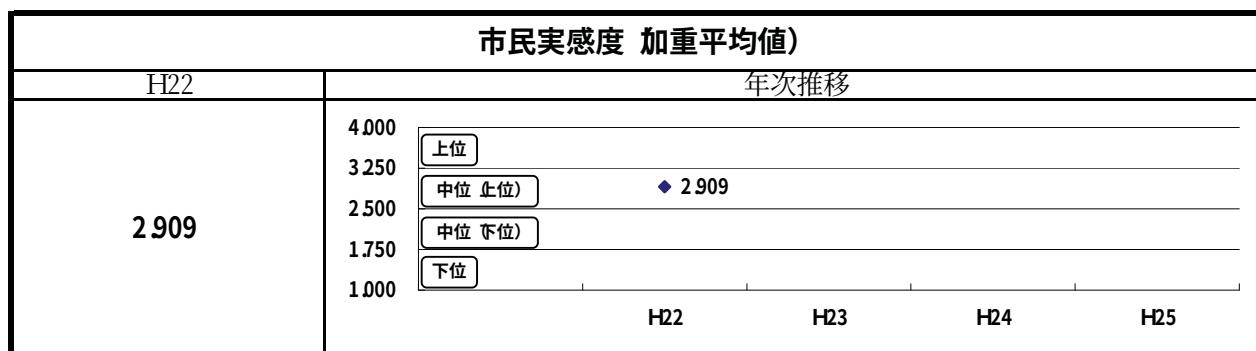


問22-B 生活廃水や雨水が適切に処理されている

- ☞ 「ややそう思う」が47.9%（313人）、つづいて「そう思う」が23.6%（154人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.909となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人173人のうち、172人がその理由を回答しており、理由として「水たまりや水はけの悪い箇所があるから」が最も多く、80.2%（138人）となっています。



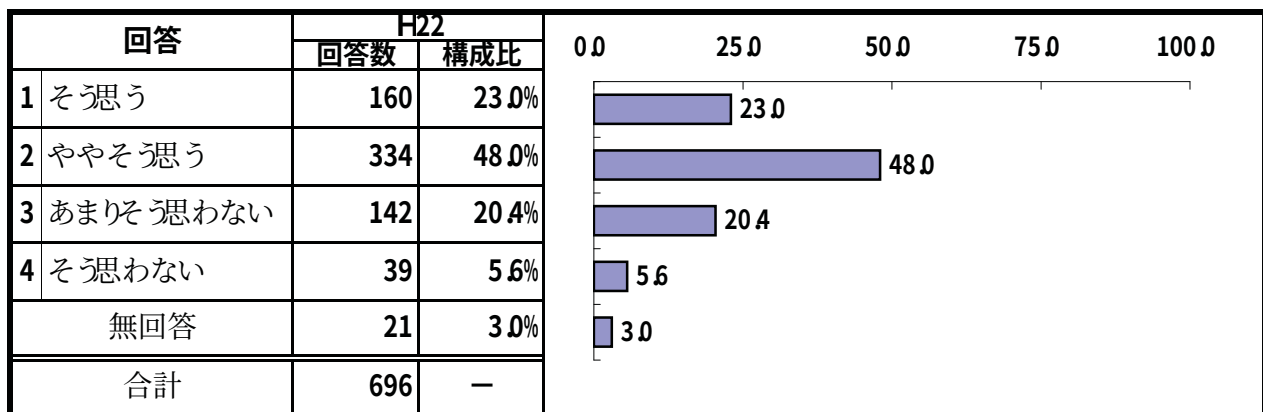
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 下水道が普及していないところがあるから	14	8.1%
b 水たまりや水はけの悪い箇所があるから	138	80.2%
c 災害時の不安があるから	15	8.7%
d その他	5	2.9%
有効回答数		172
		—



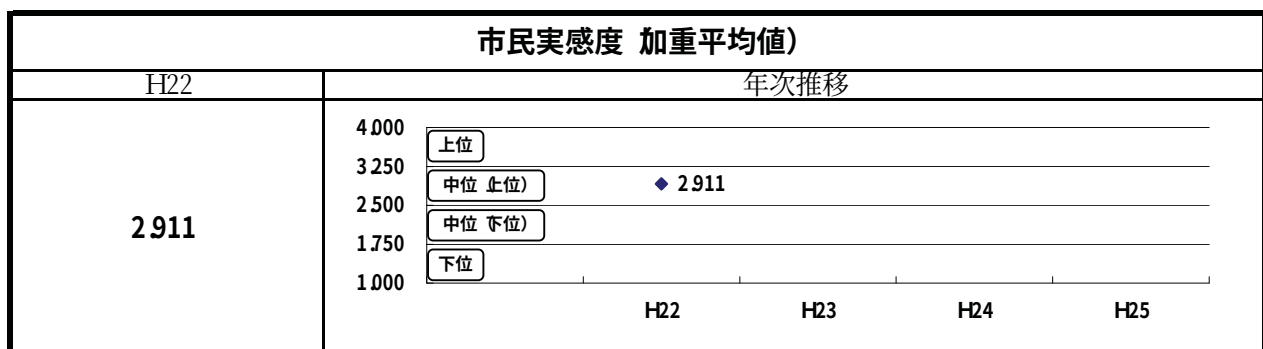


問23-A 快適で住みやすい居住空間が確保されている

- 「ややそう思う」が48.0%(334人)、つづいて「そう思う」が23.0%(160人)となっています。
- 市民実感度は、2.911となっており、中位(上位)に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人181人のうち、177人がその理由を回答しており、理由として「住宅地の価格が高いから」が31.6%(56人)、「公営住宅を希望しても入れないから」が31.1%(55人)となっています。

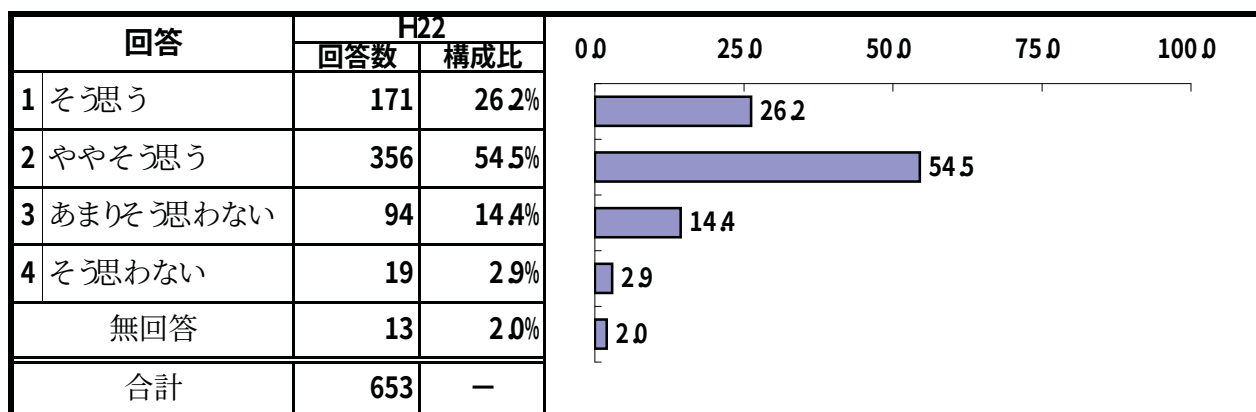


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 住宅地の価格が高いから	56	31.6%
b 住宅や住宅地に関する情報が少ないから	33	18.6%
c 公営住宅を希望しても入れないから	55	31.1%
d その他	33	18.6%
有効回答数	177	—

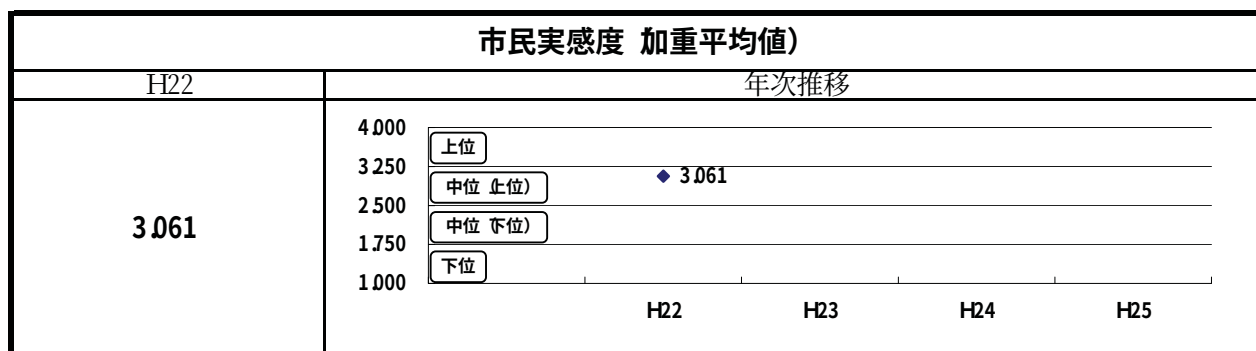


問23-B 都市部や農村部において、
帯広・十勝らしい景観が形成されている

- ☞ 「ややそう思う」が54.5%（356人）、つづいて「そう思う」が26.2%（171人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、3.061となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人113人のうち、109人がその理由を回答しており、理由として「景観形成に関する意識が低いから」が最も多く、48.6%（53人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 景観形成に関する意識が低いから	53	48.6%
b 都市部の景観を損ねているところがあるから	31	28.4%
c 農村部の景観を損ねているところがあるから	9	8.3%
d その他	16	14.7%
有効回答数	109	—



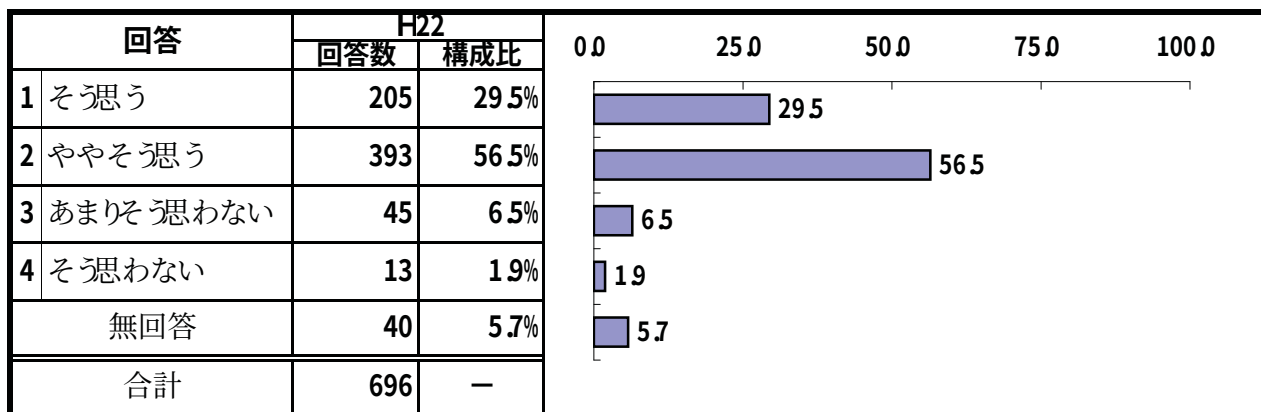


問24 - A 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

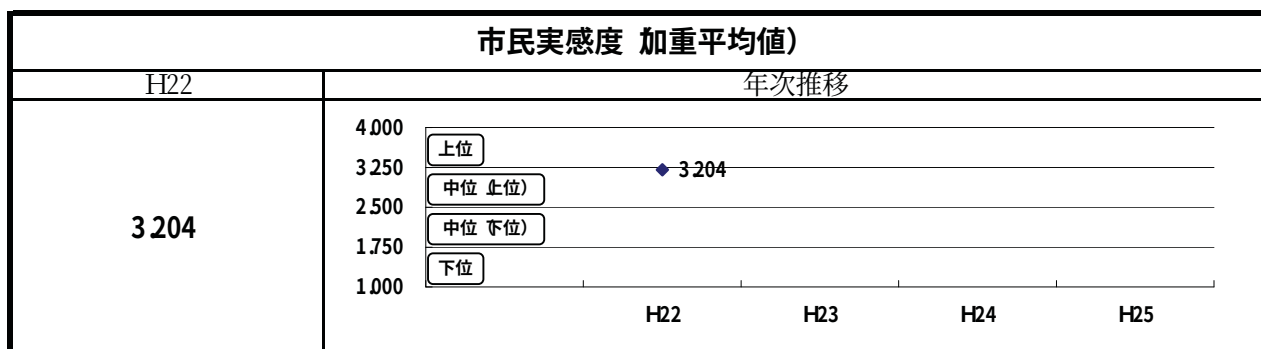
☞ 「ややそう思う」が56.5%（393人）、つづいて「そう思う」が29.5%（205人）となっています。

☞ 市民実感度は、3.204となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人58人のうち、55人がその理由を回答しており、理由として「市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから」が最も多く、69.1%（38人）となっています。



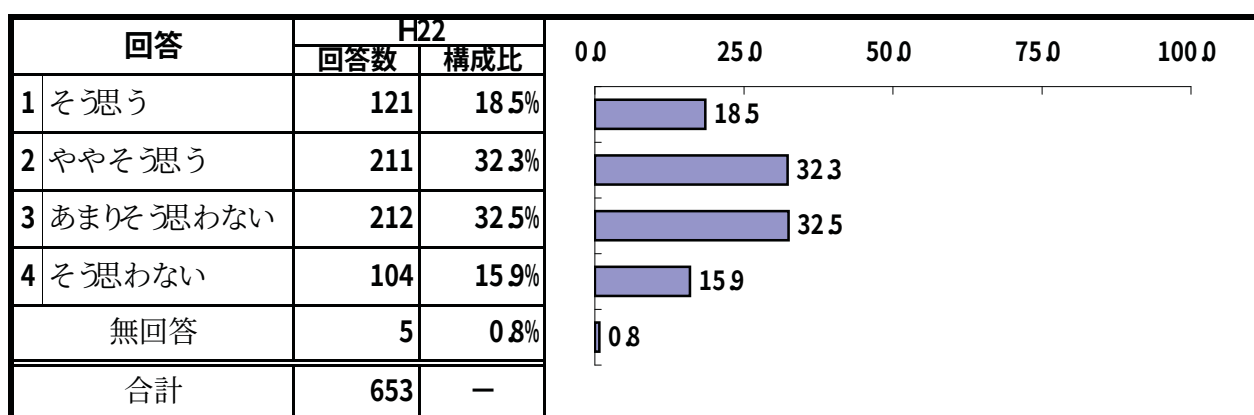
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから	38	69.1%
b 墓地の管理が十分でないから	8	14.5%
c 火葬場の管理が十分でないから	4	7.3%
d その他	5	9.1%
有効回答数	55	—



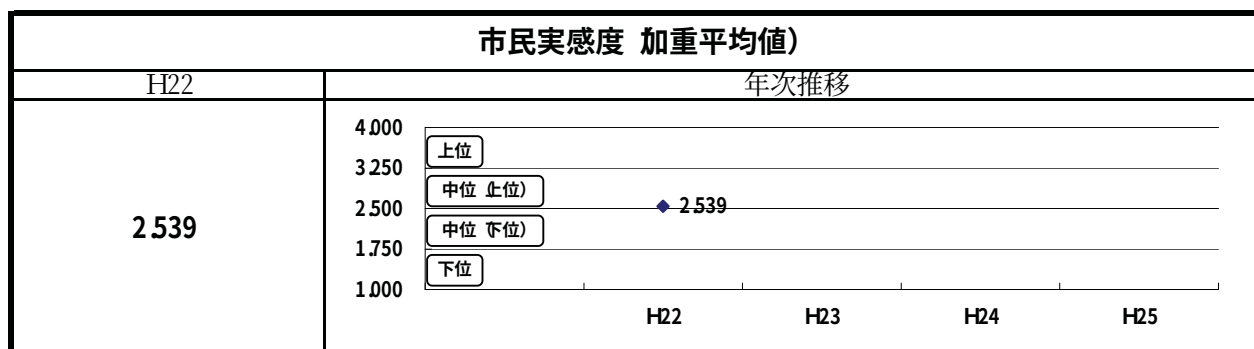


問24-B 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

- ☞ 「あまりそう思わない」が32.5%（212人）、つづいて「ややそう思う」が32.3%（211人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.539となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人316人のうち、312人がその理由を回答しており、理由として「道路や歩道の除雪が十分でないから」が最も多く、53.5%（167人）となっています。



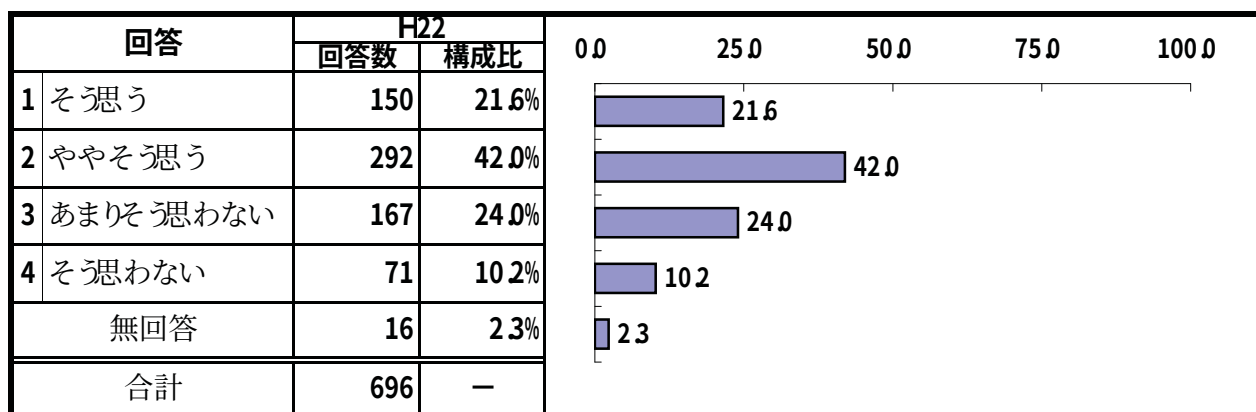
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 整備されていない道路があるから	65	20.8%
b 道路が適切に維持管理されていないから	51	16.3%
c 道路や歩道の除雪が十分でないから	167	53.5%
d その他	29	9.3%
有効回答数	312	—



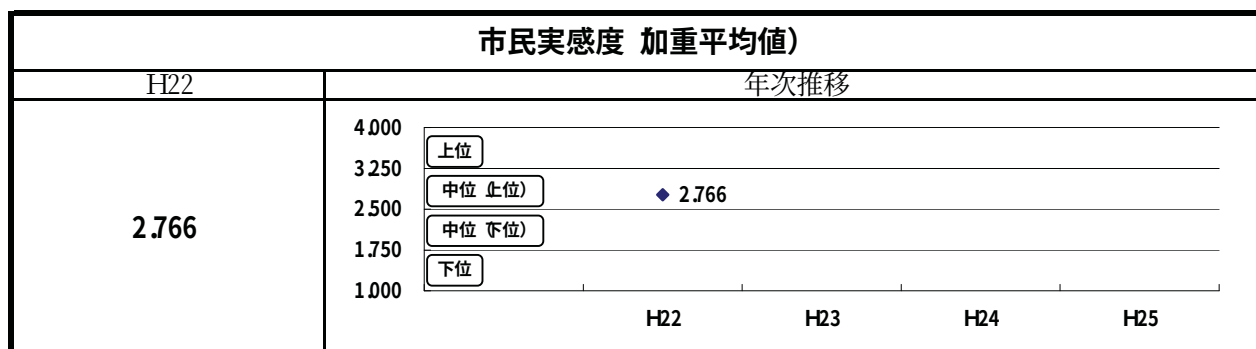


問25-A 空港、バス、高速道路など、 交通の利便性が確保されている

- ☞ 「ややそう思う」が42.0%（292人）、つづいて「あまりそう思わない」が24.0%（167人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.766となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人238人のうち、236人がその理由を回答しており、理由として「バスの利便性が良くないから」が最も多く、53.8%（127人）となっています。

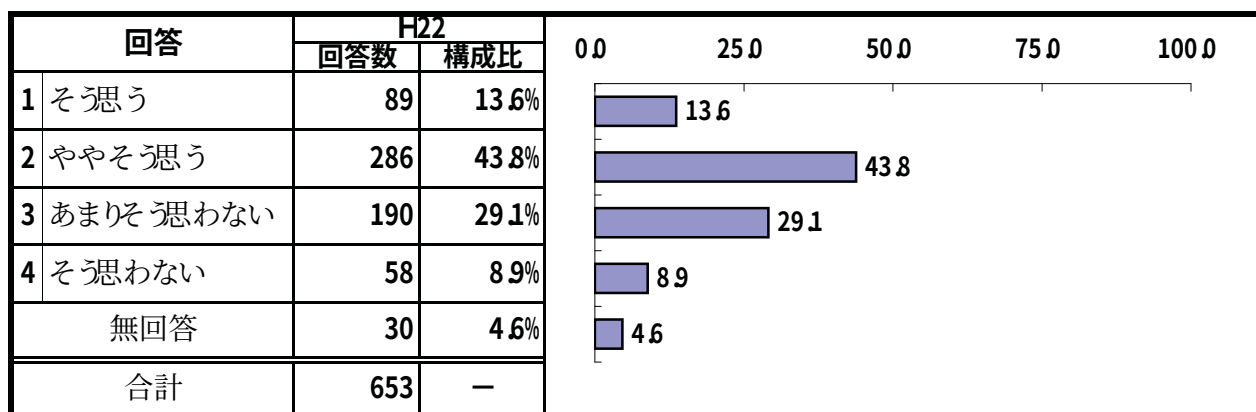


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 航空の利便性が良くないから	59	25.0%
b 鉄道の利便性が良くないから	8	3.4%
c バスの利便性が良くないから	127	53.8%
d 高速道路の利便性が良くないから	27	11.4%
e その他	15	6.4%
有効回答数	236	—

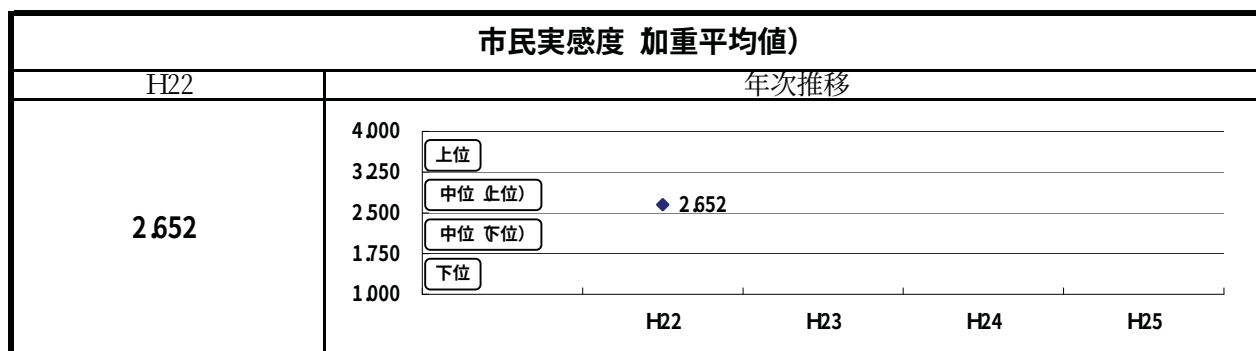


問25 - B 高速インターネットなど、情報通信サービスを
日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

- 「ややそう思う」が43.8%（286人）、つづいて「あまりそう思わない」が29.1%（190人）となっています。
- 市民実感度は、2.652となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人248人のうち、246人がその理由を回答しており、理由として「パソコンやインターネットの使い方が分からないから」が最も多く、50.8%（125人）となっています。



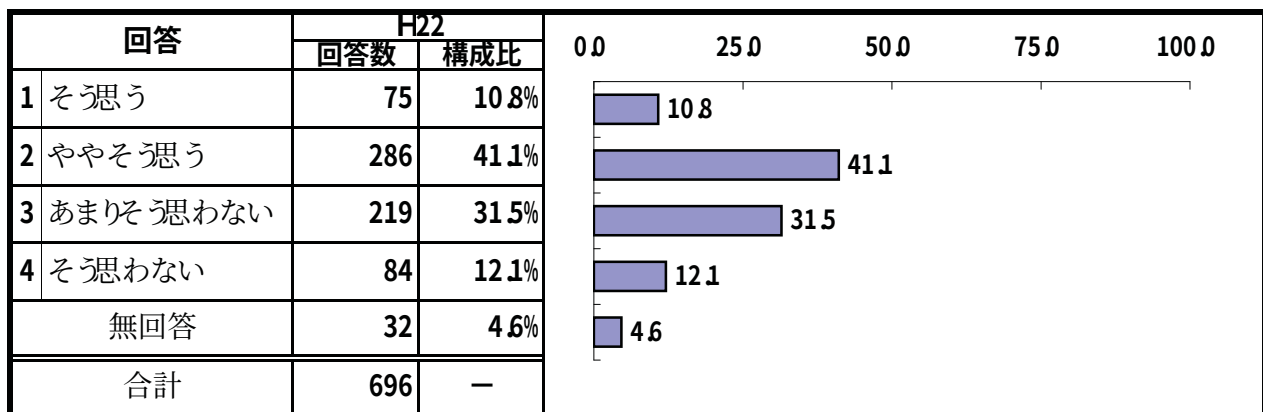
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから	46	18.7%
b パソコンやインターネットの使い方が分からないから	125	50.8%
c 利用したい情報サービスが少ないから	54	22.0%
d その他	21	8.5%
有効回答数	246	—



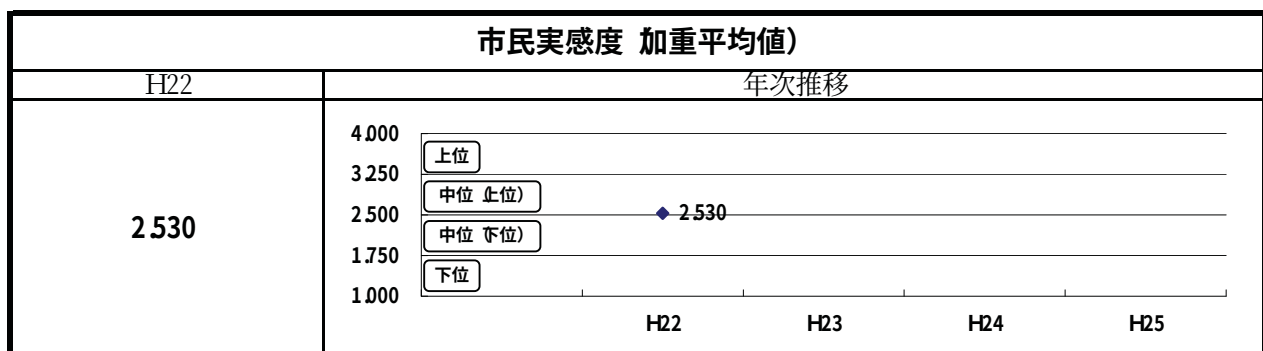


問26 - A 小学校・中学校において充実した教育が行われている

- ☞ 「ややそう思う」が41.1%（286人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.5%（219人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.530となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人303人のうち、299人がその理由を回答しており、理由として「子どもの道徳心が育っていないから」が32.8%（98人）、「教師の指導力が不足しているから」が29.8%（89人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 子どもの学力が低下しているから	61	20.4%
b 子どもの体力が低下しているから	17	5.7%
c 子どもの道徳心が育っていないから	98	32.8%
d 教師の指導力が不足しているから	89	29.8%
e その他	34	11.4%
有効回答数	299	—

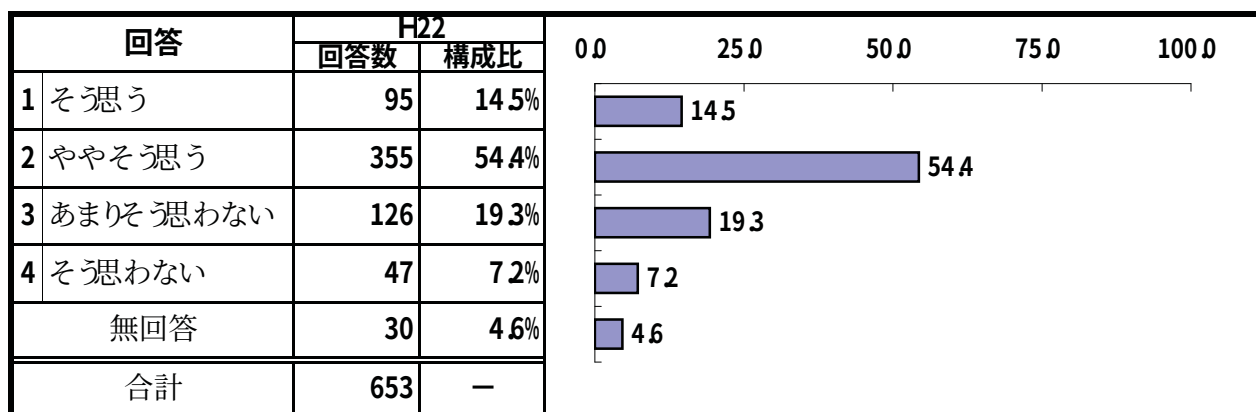


問26-B 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

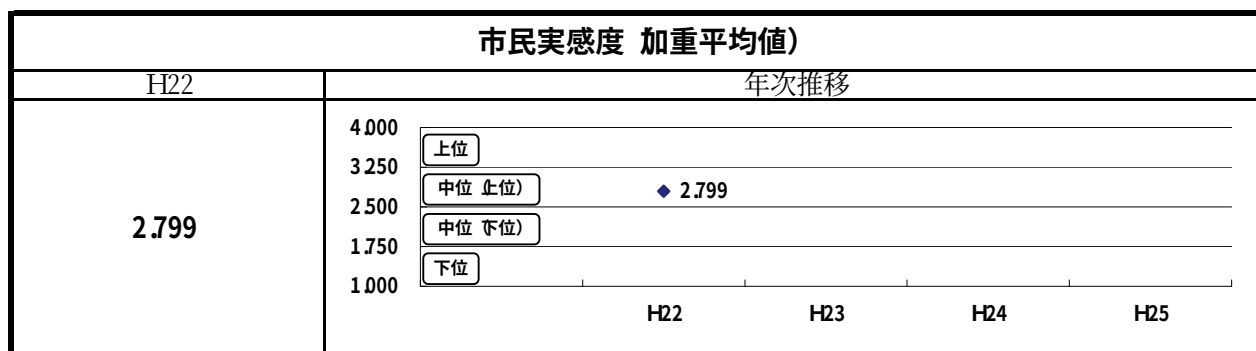
☞ 「ややそう思う」が54.4%（355人）、つづいて「あまりそう思わない」が19.3%（126人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.799となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人173人のうち、171人がその理由を回答しており、理由として「特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから」が29.2%（50人）、「学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから」が28.1%（48人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから	48	28.1%
b 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから	50	29.2%
c 教育に関する情報が、親や両親に十分に提供されていないから	42	24.6%
d その他	31	18.1%
有効回答数	171	—



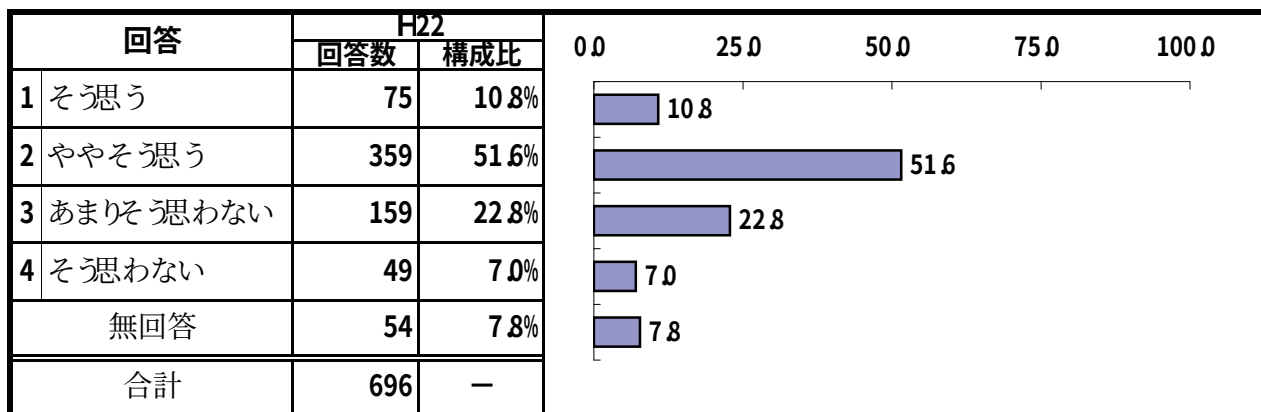


問27-A 高等学校において充実した教育が行われている

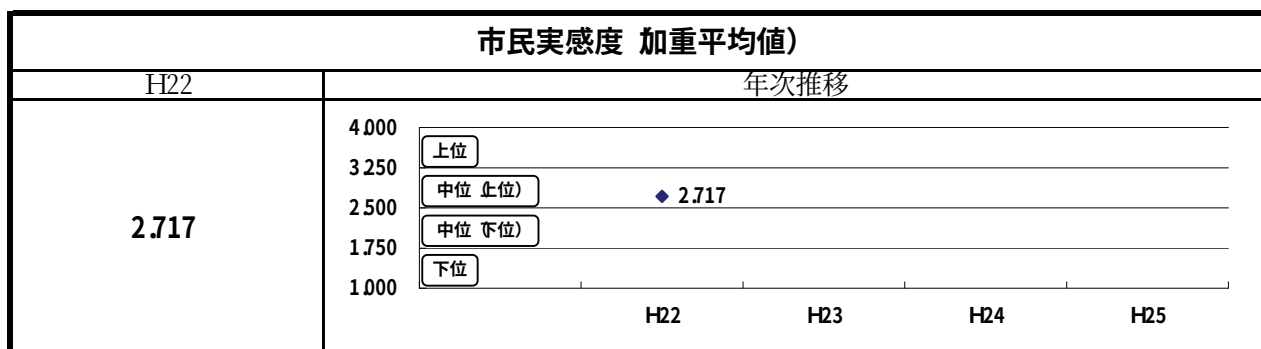
☞ 「ややそう思う」が51.6%（359人）、つづいて「あまりそう思わない」が22.8%（159人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.717となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人208人のうち、206人がその理由を回答しており、理由として「社会性を育む教育が行われていないから」が最も多く、57.3%（118人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 特色ある教育が行われていないから	33	16.0%
b 学習内容が身につけていないから	33	16.0%
c 社会性を育む教育が行われていないから	118	57.3%
d その他	22	10.7%
有効回答数		206
		—

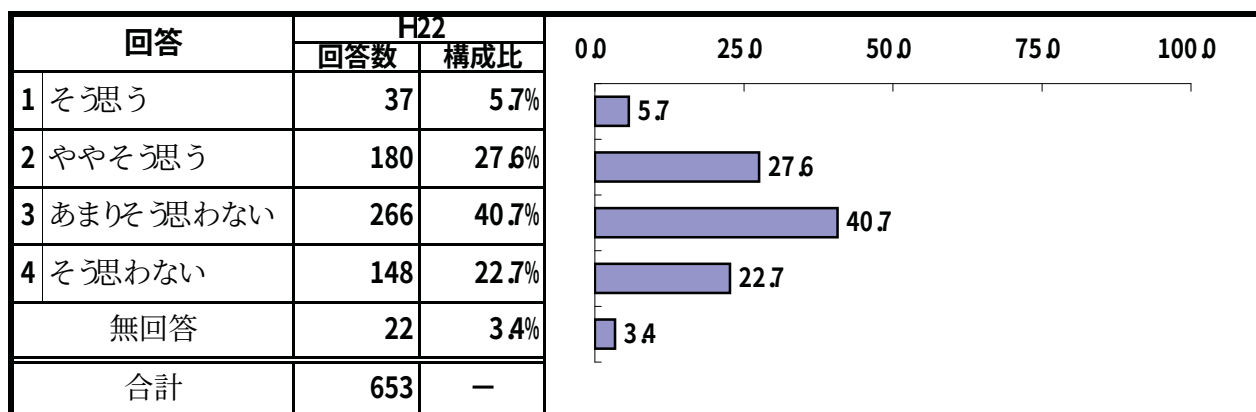


問27-B 大学や専修学校など、 高度な教育を受けることができる環境が整っている

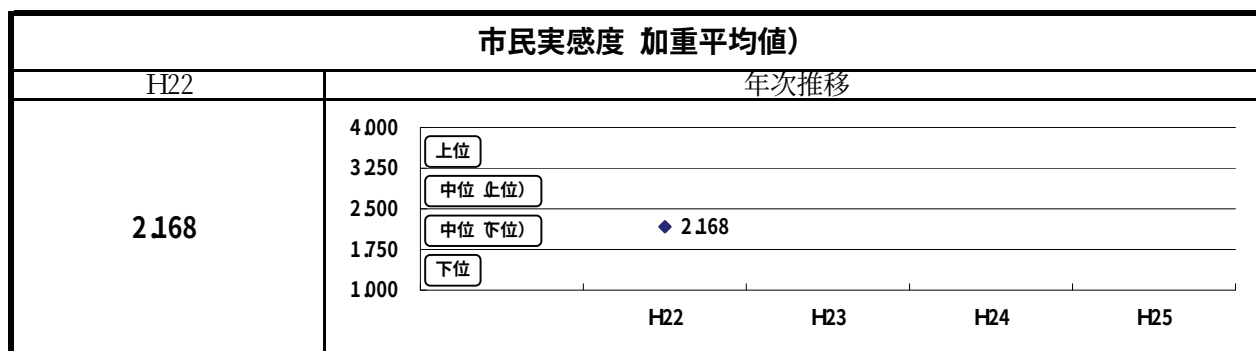
☞ 「あまりそう思わない」が40.7%（266人）、つづいて「ややそう思う」が27.6%（180人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.168となっており、中位（下位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人414人のうち、409人がその理由を回答しており、理由として「大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから」が最も多く、61.1%（250人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから	250	61.1%
b 大学などを活用した市民の学習機会が充実していないから	40	9.8%
c 地元大学に学びたい学部がないから	101	24.7%
d その他	18	4.4%
e		
有効回答数		409
		—



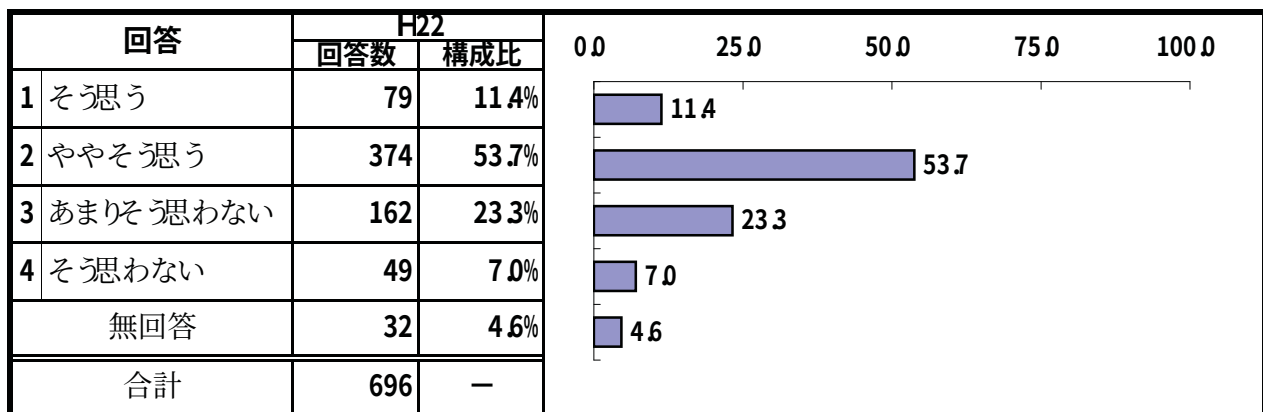


問28 - A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

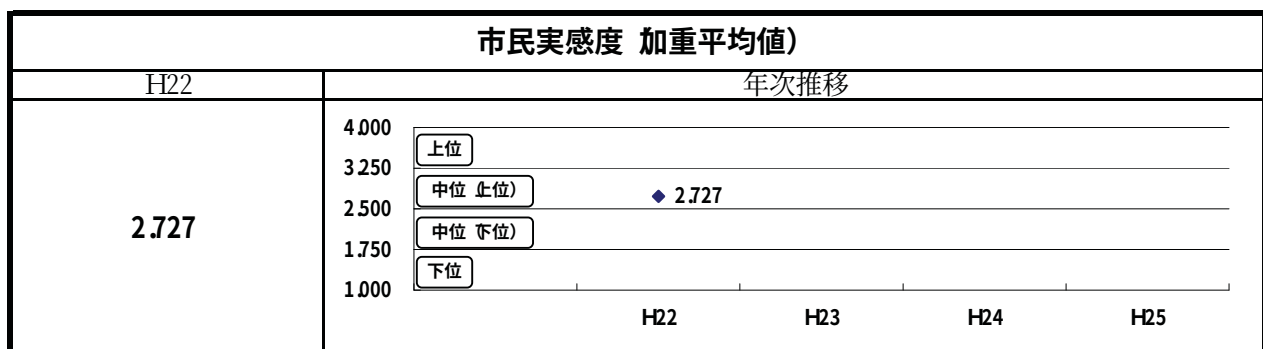
☞ 「ややそう思う」が53.7%（374人）、つづいて「あまりそう思わない」が23.3%（162人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.727となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人211人のうち、205人がその理由を回答しており、理由として「生涯学習講座に魅力がないから」が34.6%（71人）、「学習成果を活かす機会が少ないから」が32.2%（66人）となっています。



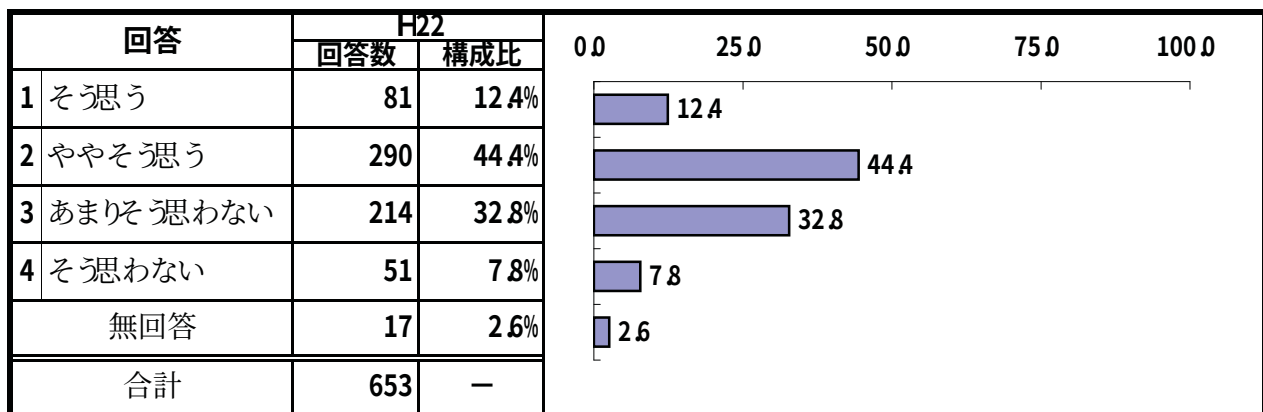
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 生涯学習講座に魅力がないから	71	34.6%
b 社会教育施設に魅力がないから	39	19.0%
c 学習成果を活かす機会が少ないから	66	32.2%
d その他	29	14.1%
有効回答数	205	—



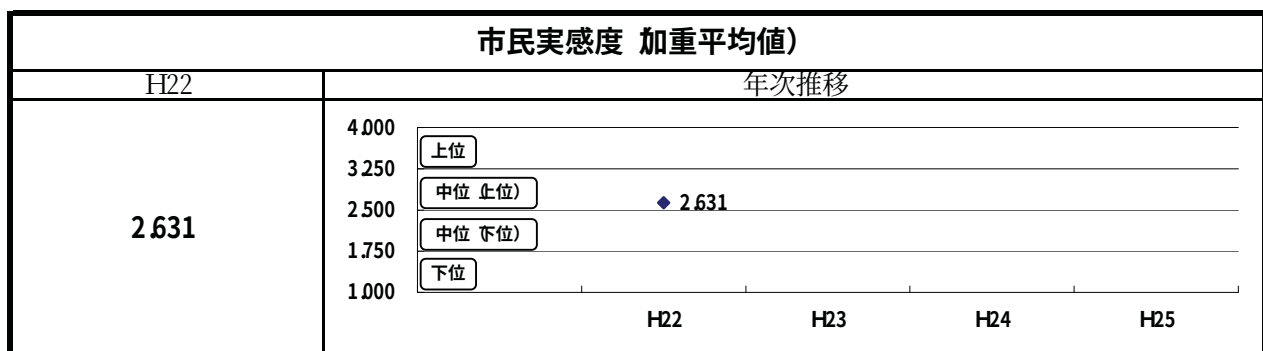


問28 - B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

- ☞ 「ややそう思う」が44.4%（290人）、つづいて「あまりそう思わない」が32.8%（214人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.631となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人265人のうち、259人がその理由を回答しており、理由として「気軽に芸術・文化に接する機会が少ないから」が最も多く、42.9%（111人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから	35	13.5%
b 気軽に芸術・文化に接する機会が少ないから	111	42.9%
c 一流の芸術・文化に接する機会が少ないから	81	31.3%
d 芸術・文化に関する指導者が少ないから	22	8.5%
e その他	10	3.9%
有効回答数	259	—



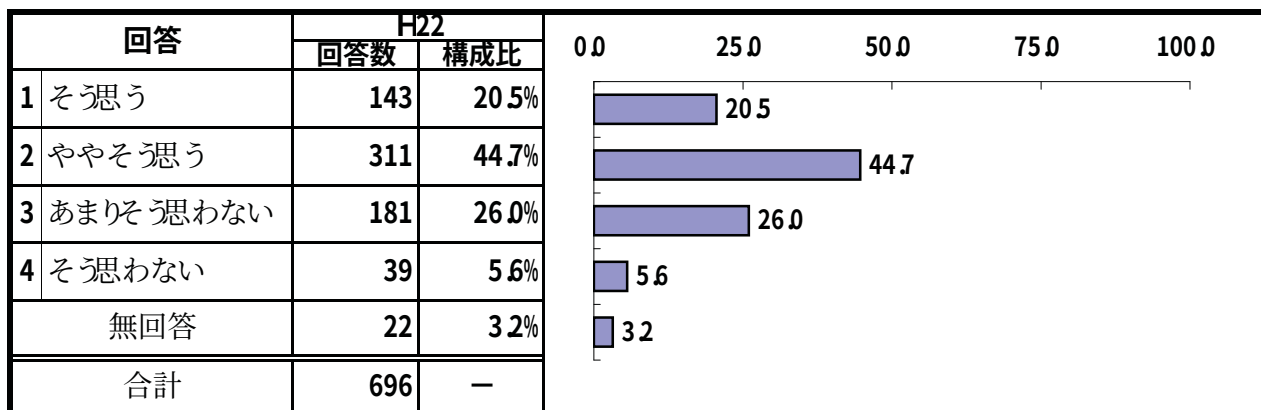


問29-A スポーツを楽しむことができる環境が整っている

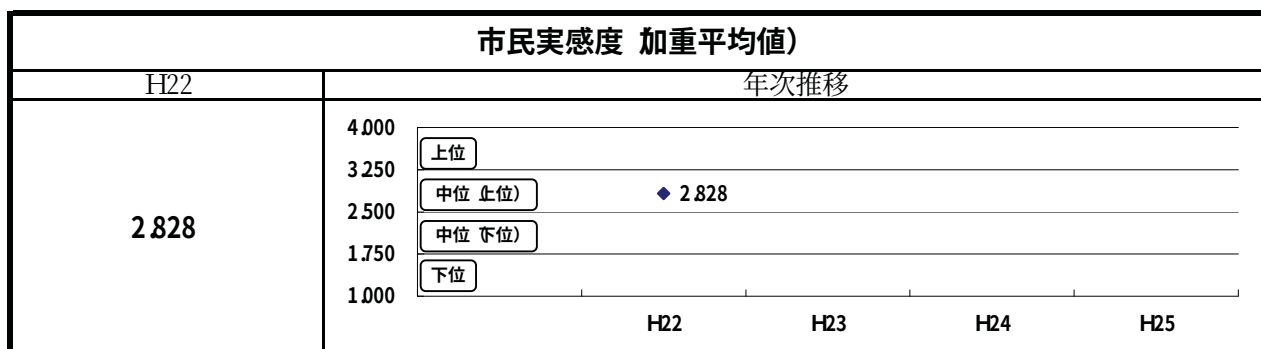
☞ 「ややそう思う」が44.7%（311人）、つづいて「あまりそう思わない」が26.0%（181人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.828となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人220人のうち、214人がその理由を回答しており、理由として「スポーツ施設が利用しにくいから」が最も多く、47.2%（101人）となっています。

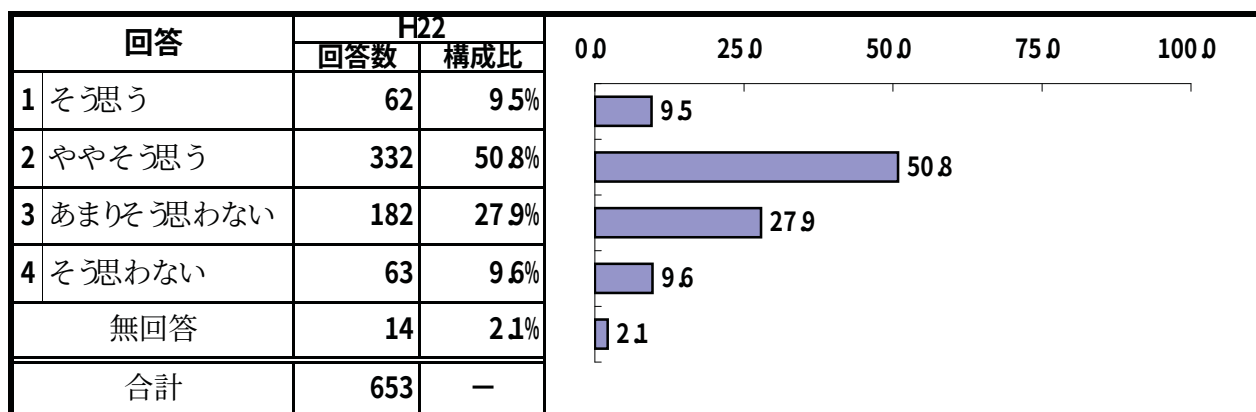


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a スポーツに親しむことができる機会が少ないから	67	31.3%
b スポーツ教室 講習会などに魅力がないから	15	7.0%
c スポーツ施設が利用しにくいから	101	47.2%
d 一流選手が出場する大会などが少ないから	10	4.7%
e その他	21	9.8%
有効回答数	214	—

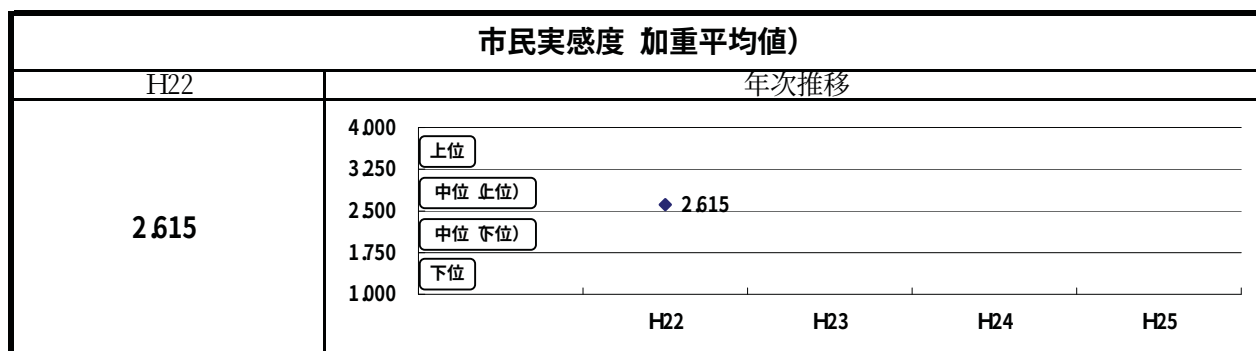


問29 - B 平和で差別や虐待がなく、
市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

- ☞ 「ややそう思う」が50.8%（332人）、つづいて「あまりそう思わない」が27.9%（182人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.615となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人245人のうち、242人がその理由を回答しており、理由として「差別や偏見があるから」が最も多く、34.3%（83人）となっています。

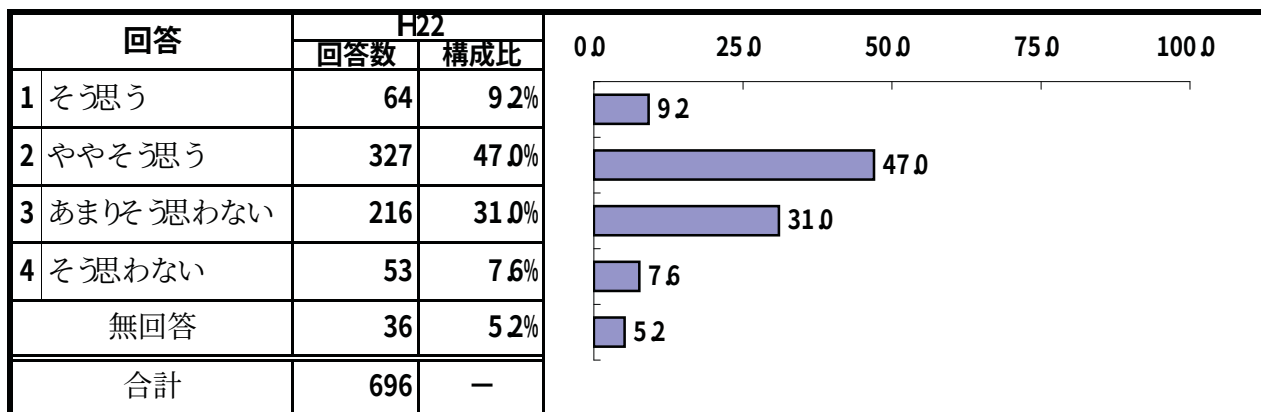


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 平和の大切さを知る機会が少ないから	74	30.6%
b 差別や偏見があるから	83	34.3%
c 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから	68	28.1%
d その他	17	7.0%
有効回答数	242	—

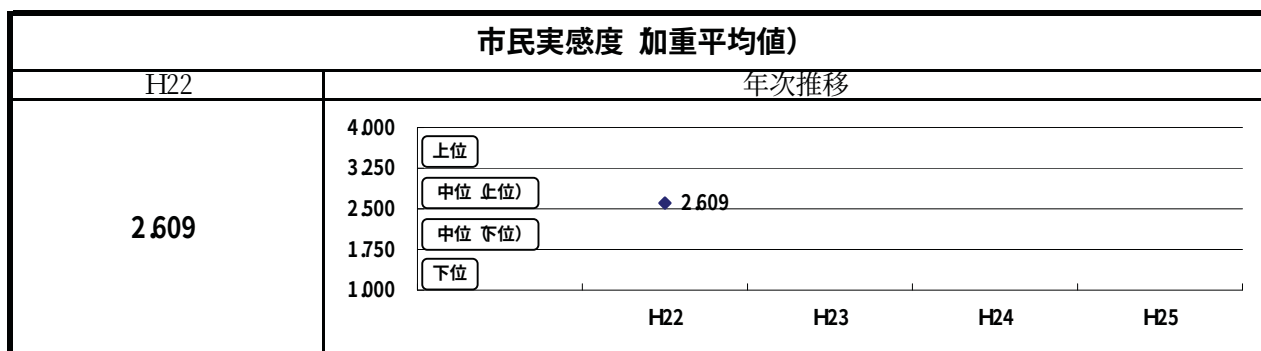


問30 - A 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

- 「ややそう思う」が47.0%（327人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.0%（216人）となっています。
- 市民実感度は、2.609となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人269人のうち、264人がその理由を回答しており、理由として「仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから」が最も多く、59.1%（156人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから	79	29.9%
b 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから	156	59.1%
c 女性の社会参画がすすんでいないから	22	8.3%
d その他	7	2.7%
有効回答数	264	—

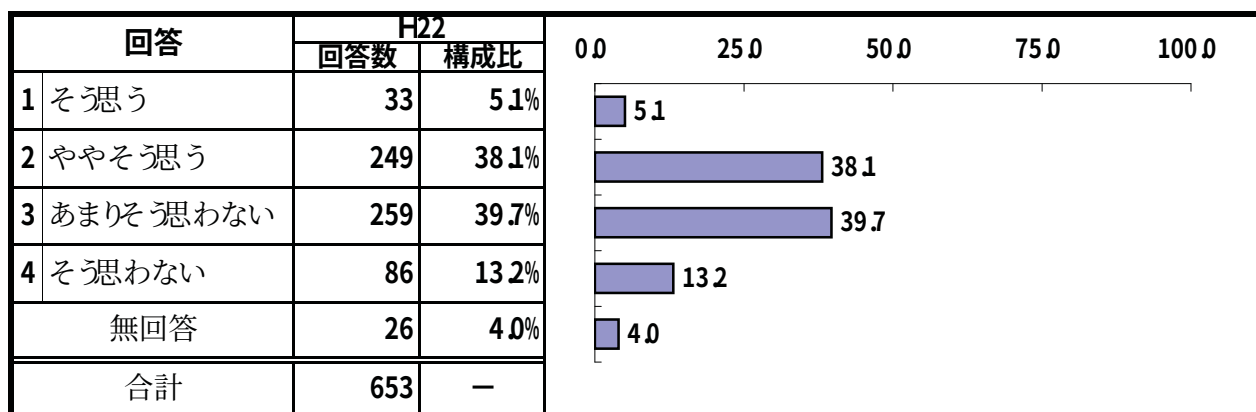


問30-B 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD） によるまちづくりが行われている

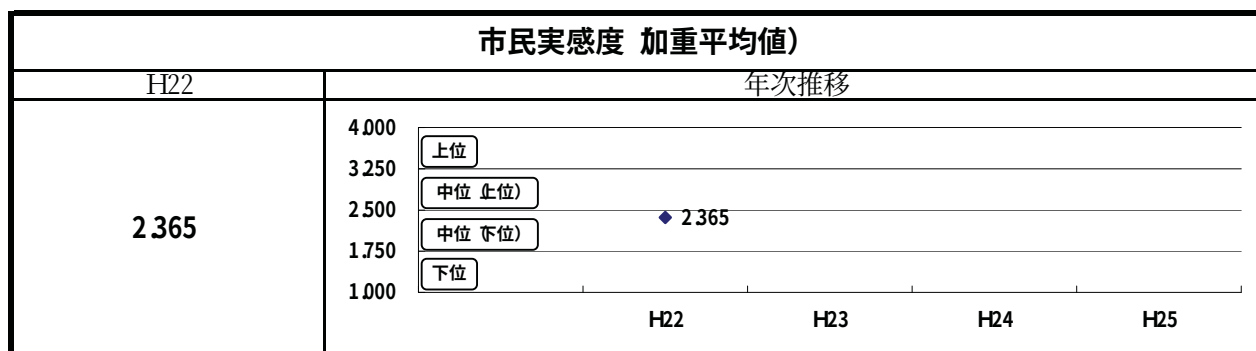
☞ 「あまりそう思わない」が39.7%（259人）、つづいて「ややそう思う」が38.1%（249人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.365となっており、中位（下位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人345人のうち、342人がその理由を回答しており、理由として「UDに関する意識が低いから」が最も多く、52.6%（180人）となっています。

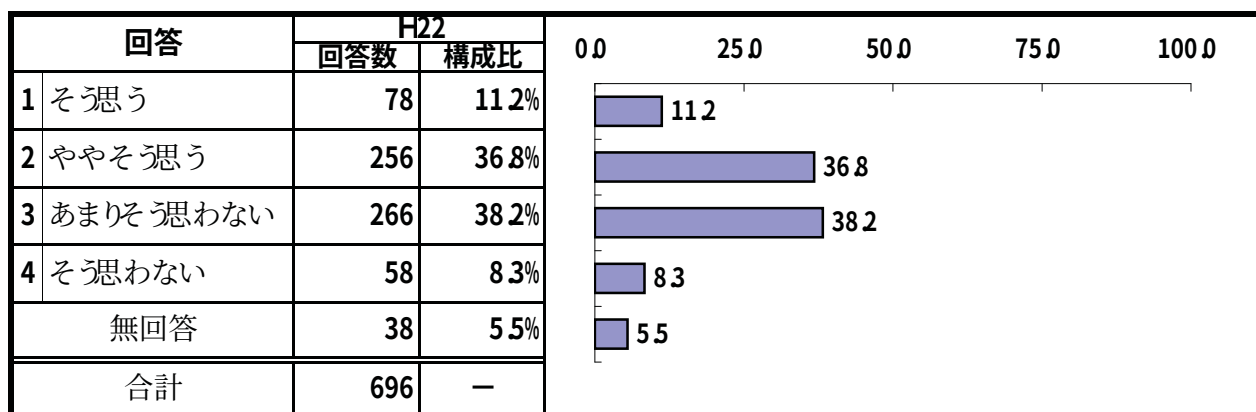


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 道路や公園のUD化がすすんでいないから	76	22.2%
b 民間施設のUD化がすすんでいないから	72	21.1%
c UDに関する意識が低いから	180	52.6%
d その他	14	4.1%
有効回答数		342
		—

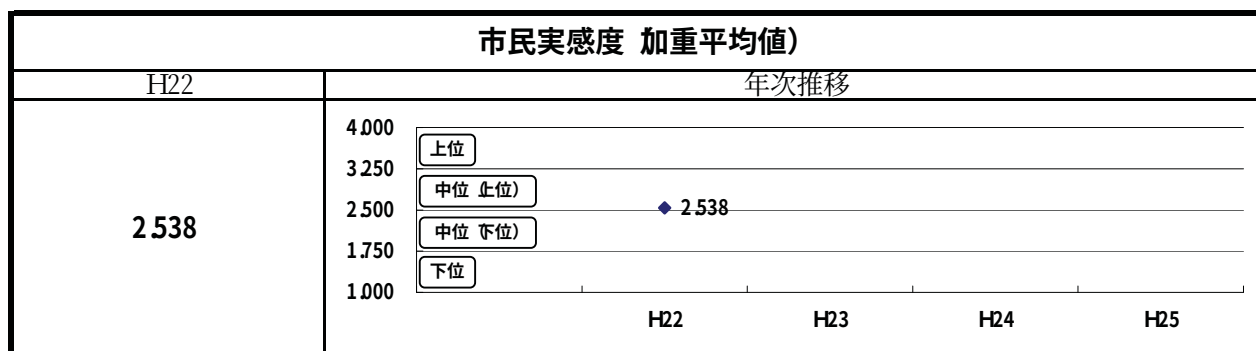


問31-A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、
アイヌの人たちの誇りが尊重されている

- 「あまりそう思わない」が38.2%（266人）、つづいて「ややそう思う」が36.8%（256人）となっています。
- 市民実感度は、2.538となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人324人のうち、320人がその理由を回答しており、理由として「アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから」が最も多く、55.3%（177人）となっています。

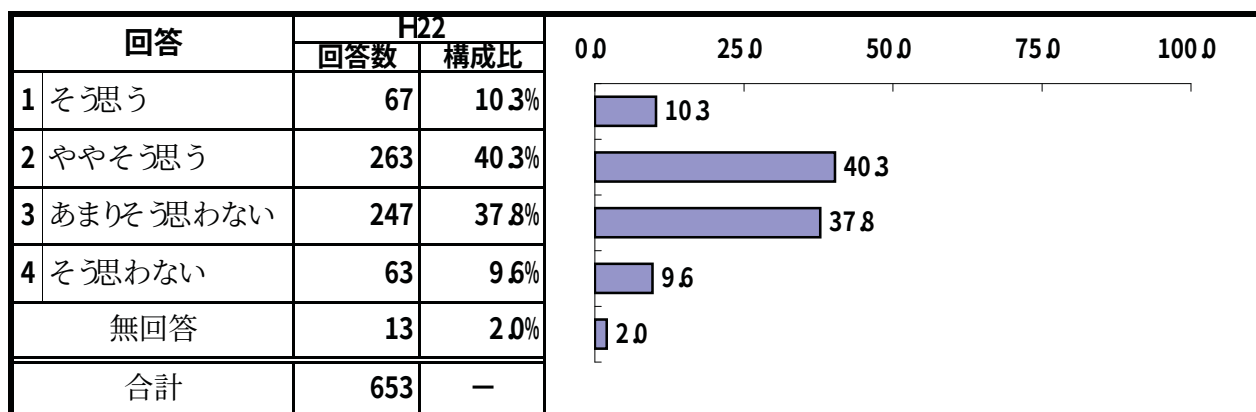


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a アイヌ民族の歴史や文化に関する市民理解がすすんでいないから	100	31.3%
b アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから	177	55.3%
c アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから	24	7.5%
d その他	19	5.9%
有効回答数		320
		—

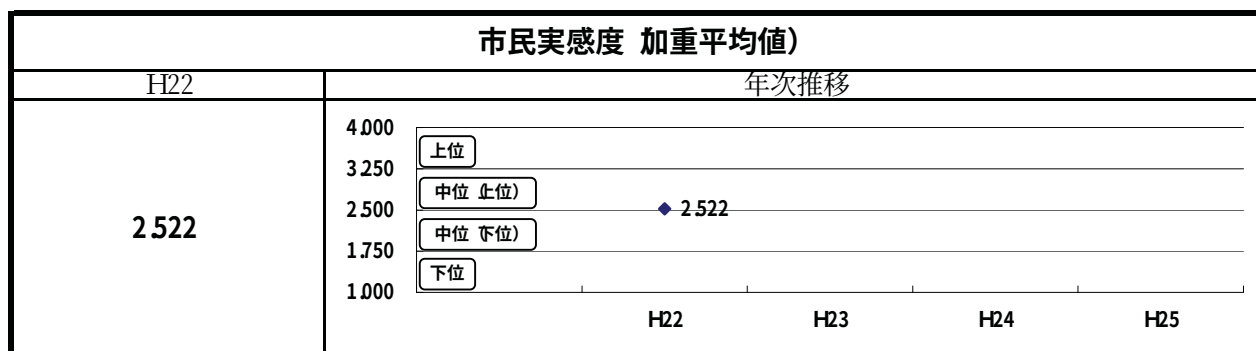


問31-B 町内会やNPO・ボランティアなどによる 地域活動が活発に行われている

- ☞ 「ややそう思う」が40.3%（263人）を占め、つづいて「あまりそう思わない」37.8%（247人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.522となっており、ほぼ平均値（2.500）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人310人のうち、307人がその理由を回答しており、理由として「町内会への加入者が減少しているから」が29.3%（90人）、「地域活動の担い手が少ないから」が28.7%（88人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 町内会への加入者が減少しているから	90	29.3%
b 地域活動の担い手が少ないから	88	28.7%
c コミュニティ施設が利用しにくいから	34	11.1%
d 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから	81	26.4%
e その他	14	4.6%
有効回答数	307	—



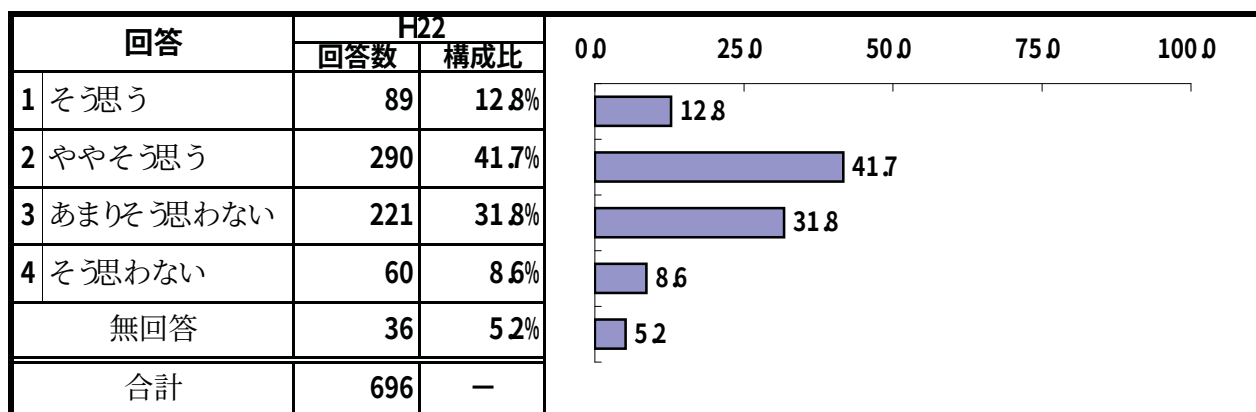


問32-A 国内や国外の都市と人や文化の交流が 活発に行われている

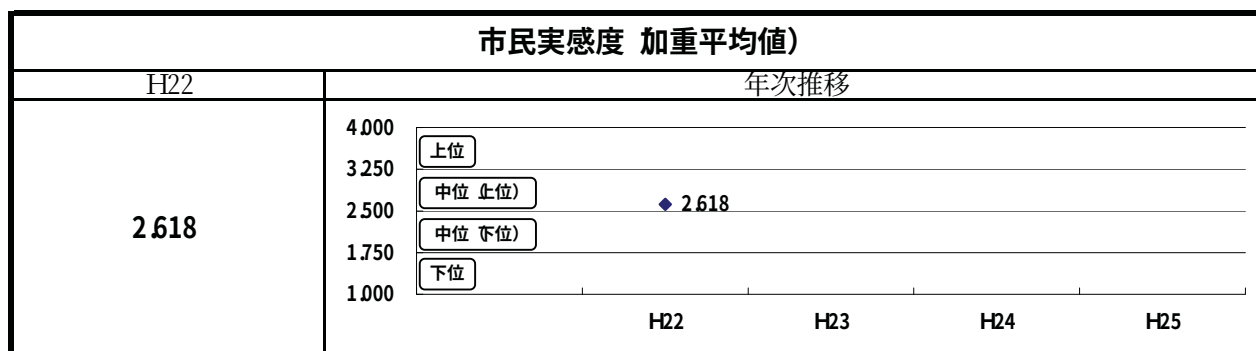
☞ 「ややそう思う」が41.7%（290人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.8%（221人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.618となっており、中位（上位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人281人のうち、277人がその理由を回答しており、理由として「交流機会に関する情報を知らないから」が最も多く、50.9%（141人）となっています。

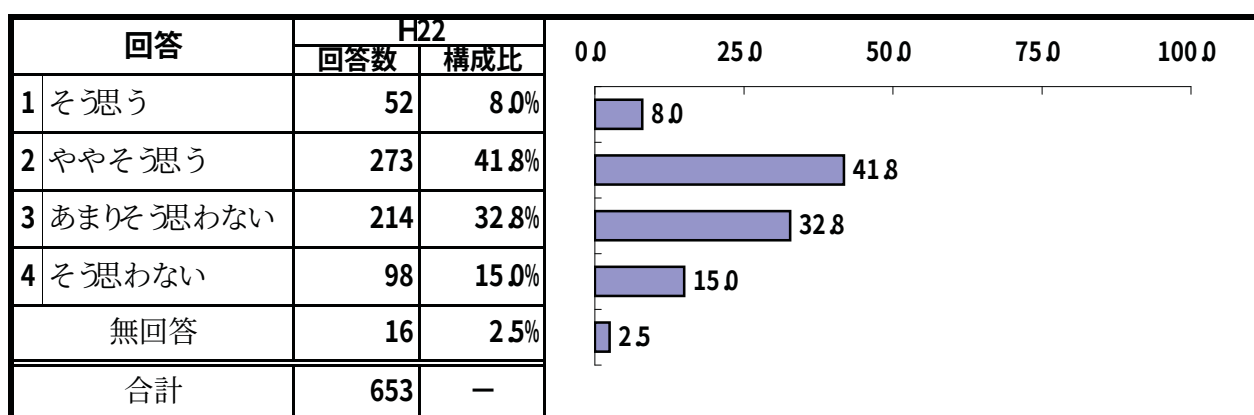


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 国内の各都市との交流が活発でないから	22	7.9%
b 国外の各都市との交流が活発でないから	7	2.5%
c 外国人と交流する機会が少ないから	90	32.5%
d 交流機会に関する情報を知らないから	141	50.9%
e その他	17	6.1%
有効回答数	277	—

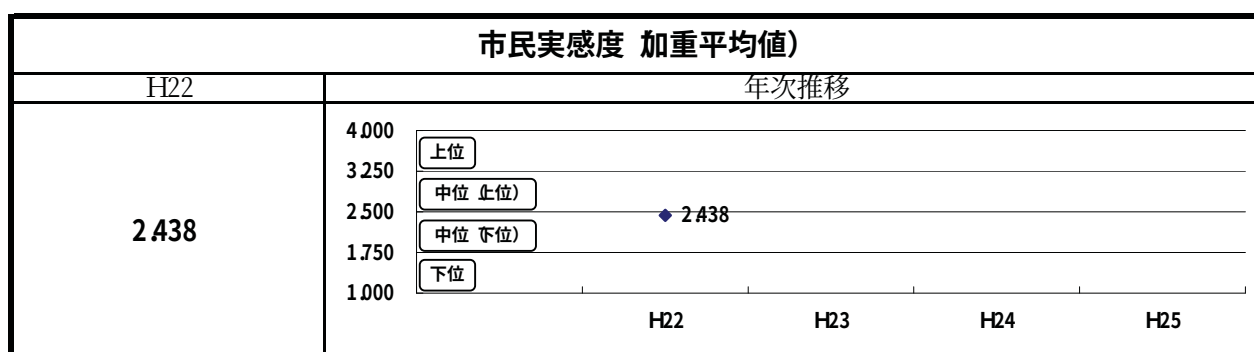


問32-B 市民と行政の協働による まちづくりがすすめられている

- ☞ 「ややそう思う」が41.8%（273人）、つづいて「あまりそう思わない」が32.8%（214人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.438となっており、中位（下位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人312人のうち、307人がその理由を回答しており、理由として「市民意見が市政に反映されていないから」が最も多く、32.2%（99人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 行政情報が分かりやすく提供されていないから	76	24.8%
b 市民意見が市政に反映されていないから	99	32.2%
c 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから	43	14.0%
d 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから	72	23.5%
e その他	17	5.5%
有効回答数	307	—



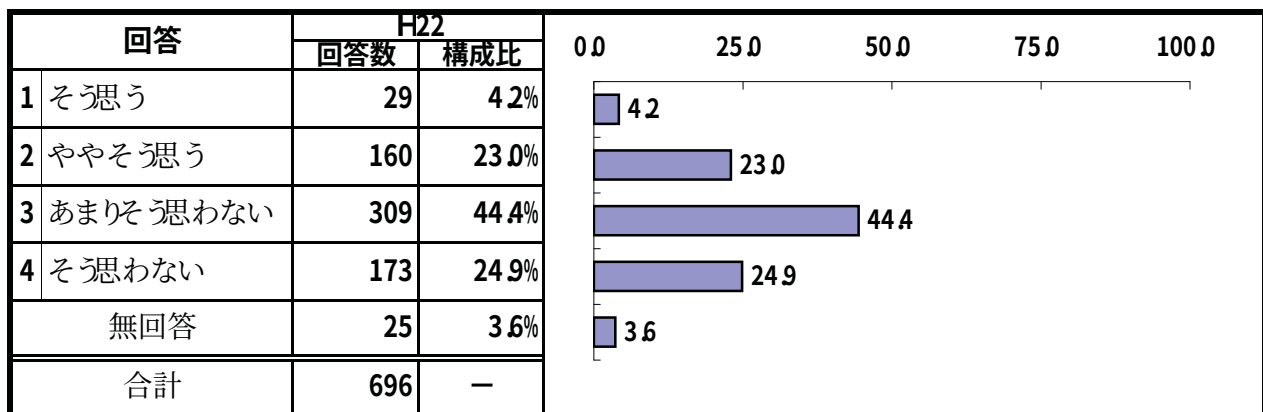


問33-A 健全な財政運営や効果的・効率的な 行政運営が行われている

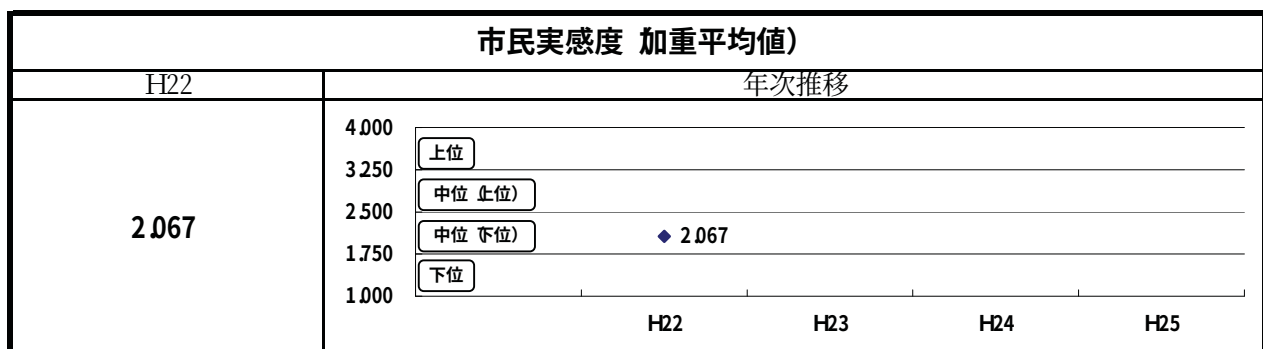
☞ 「あまりそう思わない」が44.4%（309人）、つづいて「そう思わない」が24.9%（173人）となっています。

☞ 市民実感度は、2.067となっており、中位（下位）に位置しています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人482人のうち、475人がその理由を回答しており、理由として「市の財政状況に不安があるから」が最も多く、50.5%（240人）となっています。

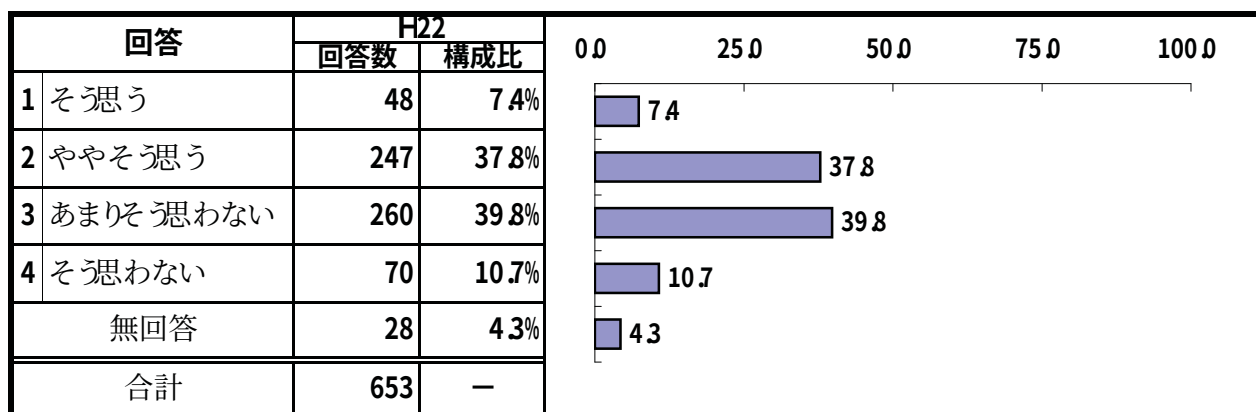


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 市の財政状況に不安があるから	240	50.5%
b 行政運営の効率化がすすんでいないから	59	12.4%
c 事業の効果やコストが分からないから	146	30.7%
d その他	30	6.3%
有効回答数		475
		—

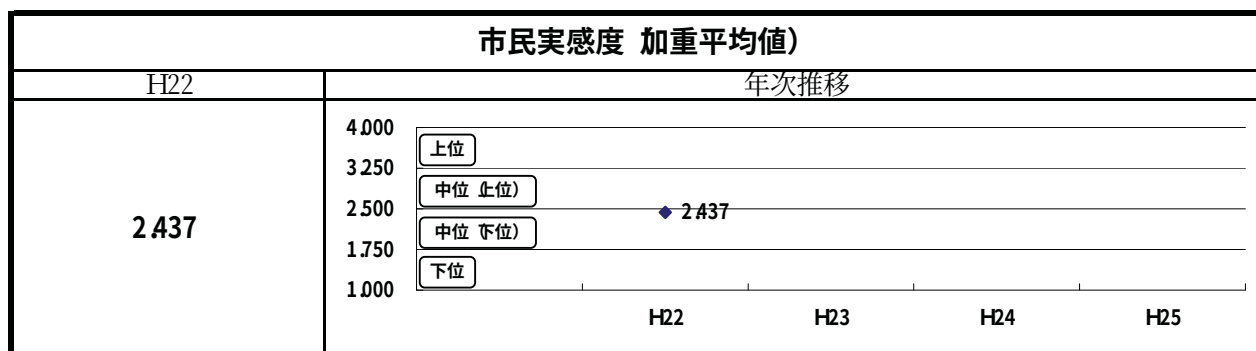


問33 - B 十勝管内町村との広域事業や、 道内各都市と連携・交流が行われている

- 「あまりそう思わない」が39.8%（260人）、つづいて「ややそう思う」が37.8%（247人）となっています。
- 市民実感度は、2.437となっており、中位（下位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人330人のうち、327人がその理由を回答しており、理由として「具体的な市町村の連携・協力の事例がよく分からないから」が最も多く、68.8%（225人）となっています。

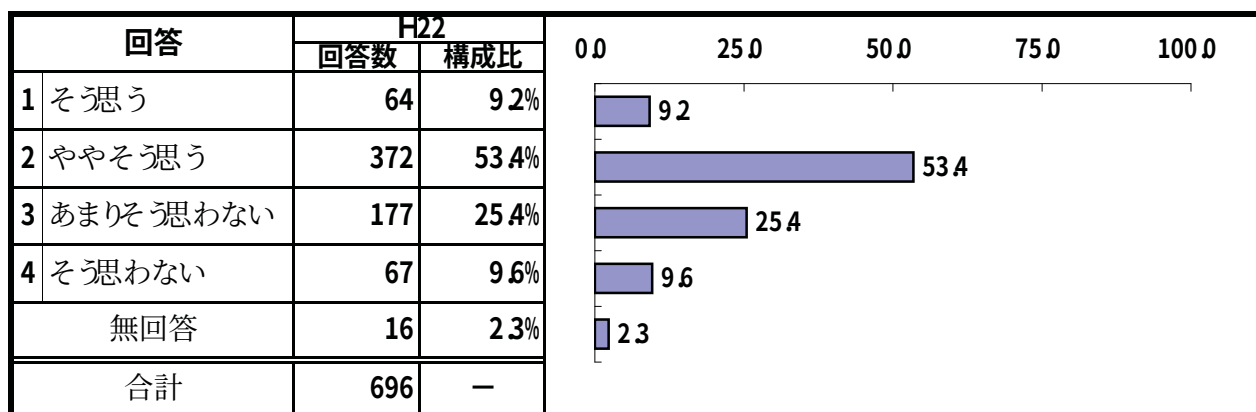


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 市域を越えて利用できる住民サービスが少ないから	42	12.8%
b 行政サービスにおいて、管内町村や各都市と共同で取り組む視点が欠けているから	52	15.9%
c 具体的な市町村の連携・協力の事例がよく分からないから	225	68.8%
d その他	8	2.4%
有効回答数		327
		—

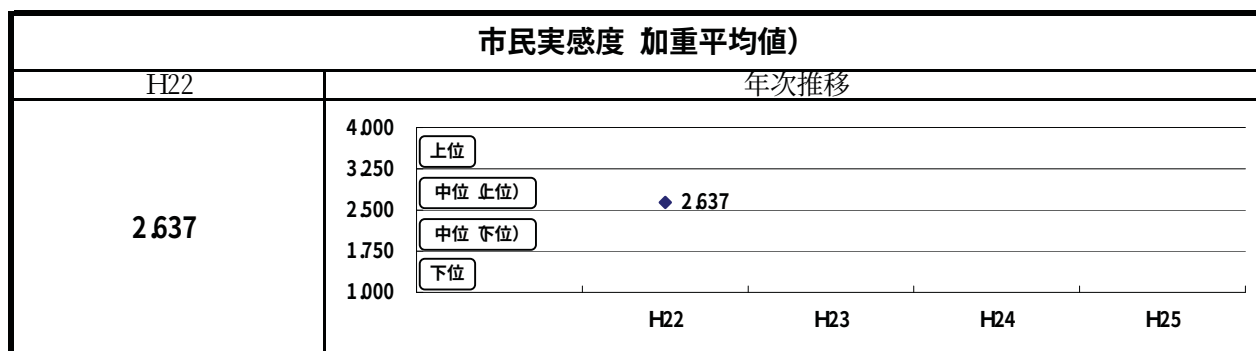


問34-A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

- 「ややそう思う」が53.4%（372人）、つづいて「あまりそう思わない」が25.4%（177人）となっています。
- 市民実感度は、2.637となっており、中位（上位）に位置しています。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人244人のうち、239人がその理由を回答しており、理由として「職員の対応が適切でないから」が最も多く、42.7%（102人）となっています。



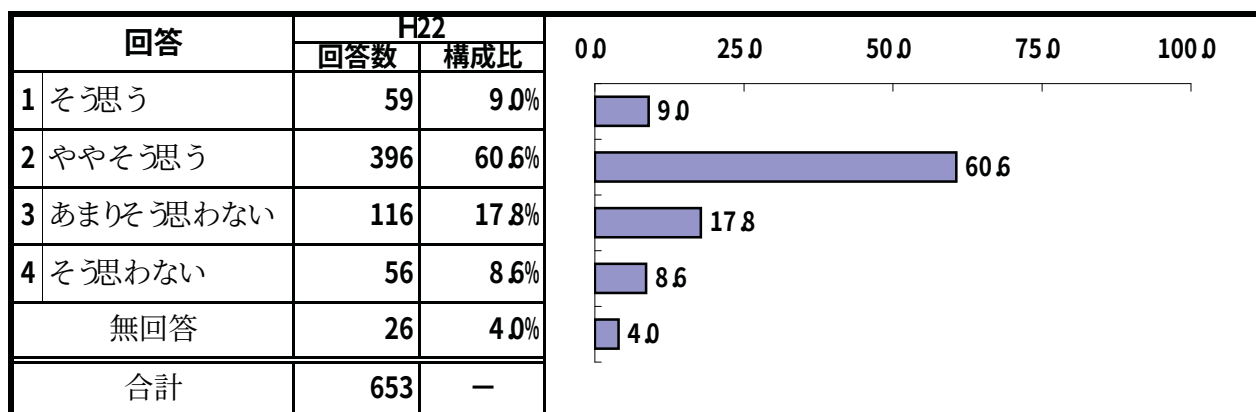
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 職員の対応が適切でないから	102	42.7%
b 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから	85	35.6%
c コミュニティセンターやインターネットでできる行政手続きが少ないから	35	14.6%
d その他	17	7.1%
有効回答数	239	—



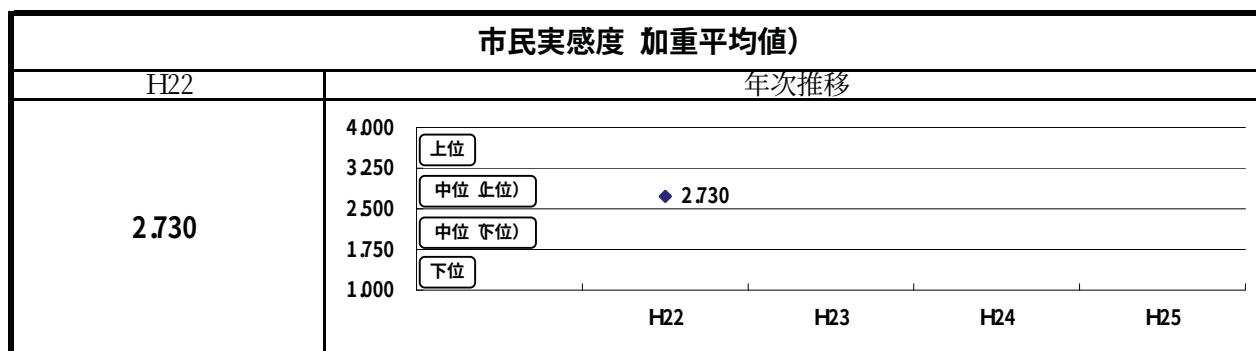


問34 - B 市民に信頼される行政事務が行われている

- ☞ 「ややそう思う」が60.6%（396人）、つづいて「あまりそう思わない」が17.8%（116人）となっています。
- ☞ 市民実感度は、2.730となっており、中位（上位）に位置しています。
- ☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人172人のうち、167人がその理由を回答しており、理由として「公共施設の管理が適切に行われていないから」が31.1%（52人）、「事務処理が適切に行われていないから」が28.1%（47人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ理由	H22	
	回答数	構成比
a 事務処理が適切に行われていないから	47	28.1%
b 公共施設の管理が適切に行われていないから	52	31.1%
c 個人情報の保護が十分でないから	34	20.4%
d その他	34	20.4%
有効回答数	167	—

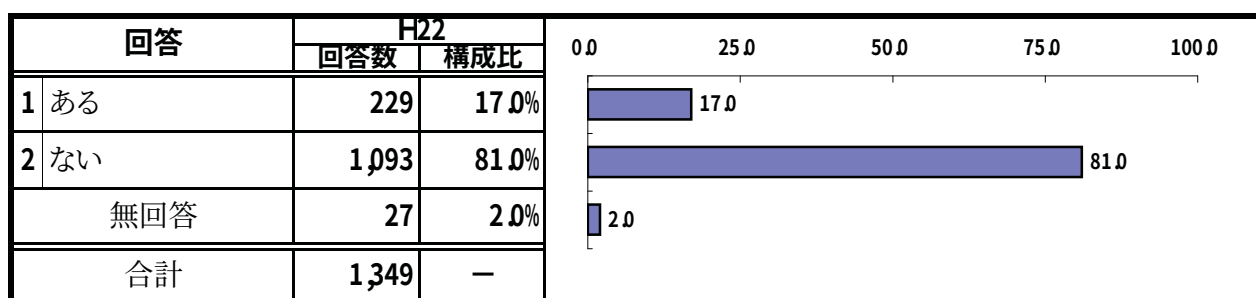


平成19年度に施行した『まちづくり基本条例』の中心課題である「参加・協働」・「情報共有」など、とくに市民と関わりの深いテーマに関して、市民の意向や実感を把握するための質問を設定しています。

問35 あなたは、まちづくりについての
意見を述べたり活動に参加したことがありますか。

☞ 「ない」が81.0%（1,093人）、「ある」が17.0%（229人）となっています。

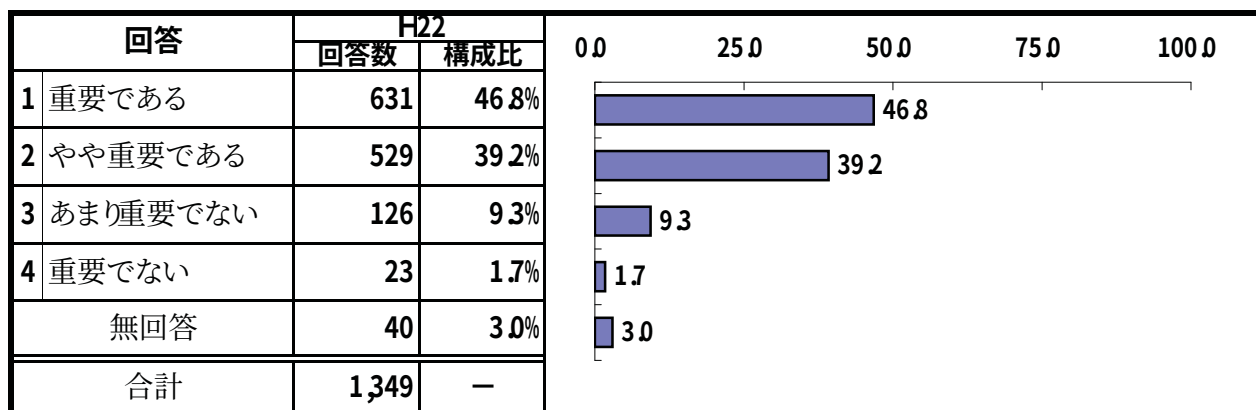
☞ 「ない」と回答した人1,093人のうち、1,045人がその理由を回答しており、理由として「どのようにして意見を述べたり参加すればよいかわからないから」が最も多く、48.4%（506人）となっています。



上記の回答で2 ない)を選んだ理由		H22	
		回答数	構成比
a 関心がないから		83	7.9%
b 意見を述べたり参加する手間や時間をかけられないから		191	18.3%
c どのようにして意見を述べたり参加すればよいかわからないから		506	48.4%
d 意見を述べたり参加しても何も変わらないと思うから		221	21.1%
e その他		44	4.2%
有効回答数		1,045	—

問36 あなたは、まちづくりに関する意見を述べたり、まちづくりの活動に参加することが重要だと思いますか。

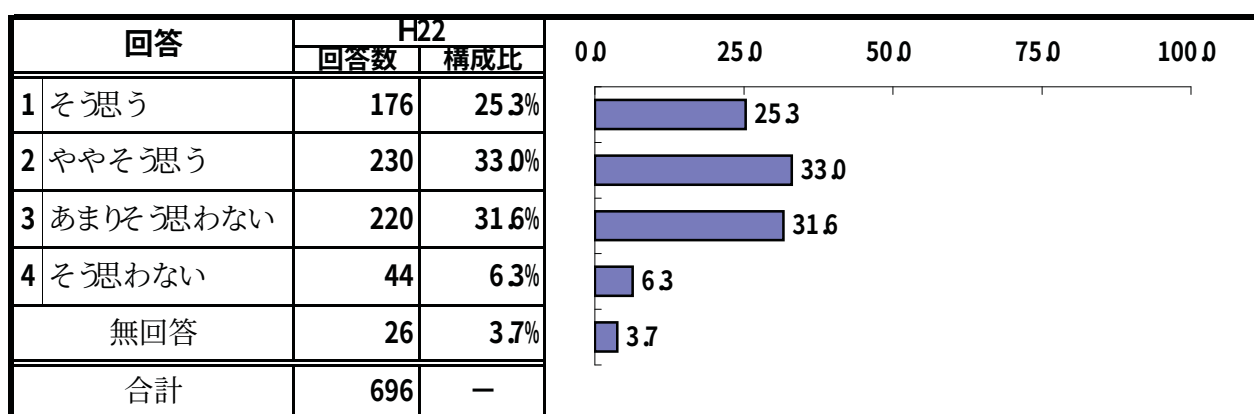
「重要である」が46.8%（631人）、つづいて「やや重要である」が39.2%（529人）となっています。



問37-A あなたは、市の仕事や計画などに対して、
意見を出してみたいと思いますか。

☞ 「ややそう思う」が33.0%（230人）、つづいて「あまりそう思わない」が31.6%（220人）、
「そう思う」が25.3%（176人）となっています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人264人のうち、259人が市役所へ意見
を出しやすくなるために必要な事項を回答しており、「出した意見がどのように反映されるのか
知らせる」が最も多く、29.3%（76人）となっています。

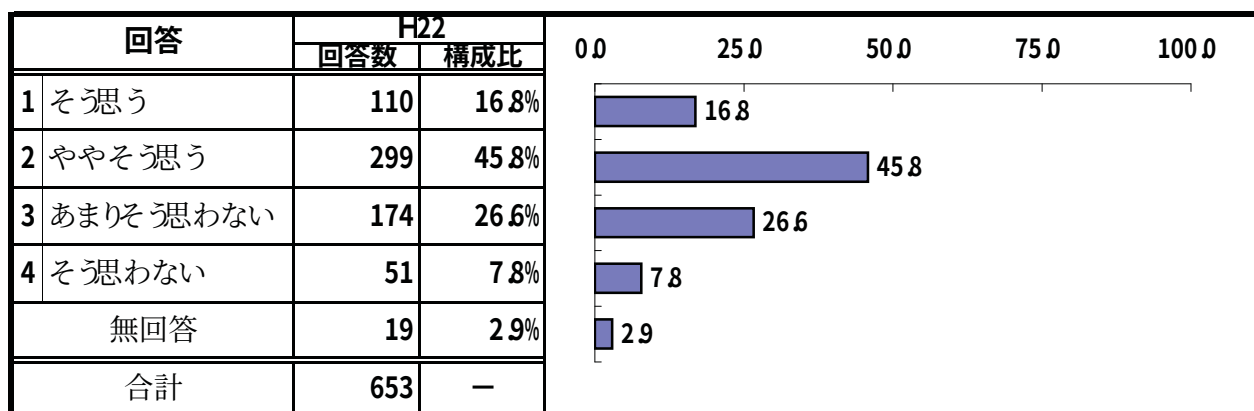


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ場合に、市役所へ意見を出しやすくなるために必要な事項	H22	
	回答数	構成比
a 簡単に意見を出せるようにする	33	12.7%
b 意見の出し方をわかりやすく知らせる	43	16.6%
c 意見を出せる機会を増やす	27	10.4%
d 意見の対象となる市の仕事や計画の内容をわかりやすく知らせる	70	27.0%
e 出した意見がどのように反映されるのか知らせる	76	29.3%
f その他	10	3.9%
有効回答数	259	—

問37-B あなたは、市役所からまちづくりや行政サービスに関する情報を得られていますか。

☞ 「ややそう思う」が45.8%（299人）つづいて「あまりそう思わない」が26.6%（174人）となっています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人225人のうち、219人が情報を得やすくなるために必要な事項を回答しており、「必要な情報をわかりやすく提供する」が最も多く、38.4%（84人）となっています。

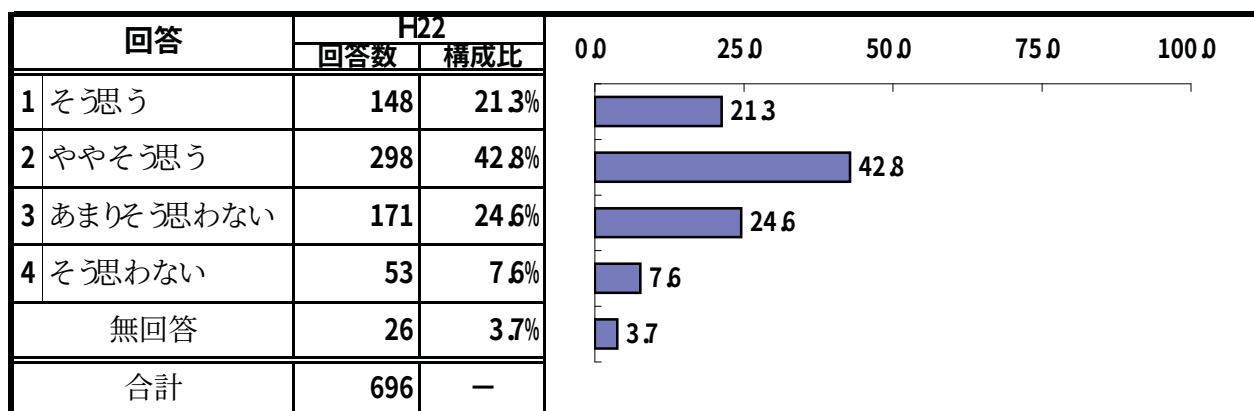


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ場合に、情報を得やすくなるために必要な事項	H22	
	回答数	構成比
a 必要な情報を探しやすいように提供する	40	18.3%
b 情報を得る機会や手段を増やす	53	24.2%
c 提供する情報の量を増やす	12	5.5%
d 適切な時期をとらえて情報を提供する	25	11.4%
e 必要な情報をわかりやすく提供する	84	38.4%
f その他	5	2.3%
有効回答数	219	—

問38-A あなたは、まちづくりの活動に参加してみたいと思いますか。

☞ 「ややそう思う」が42.8%（298人）、つづいて「あまりそう思わない」が24.6%（171人）となっています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人224人のうち、209人がまちづくりの活動に参加しやすくなるために必要な事項を回答しており、「活動に関する情報を知らせる」が最も多く、38.3%（80人）となっています。

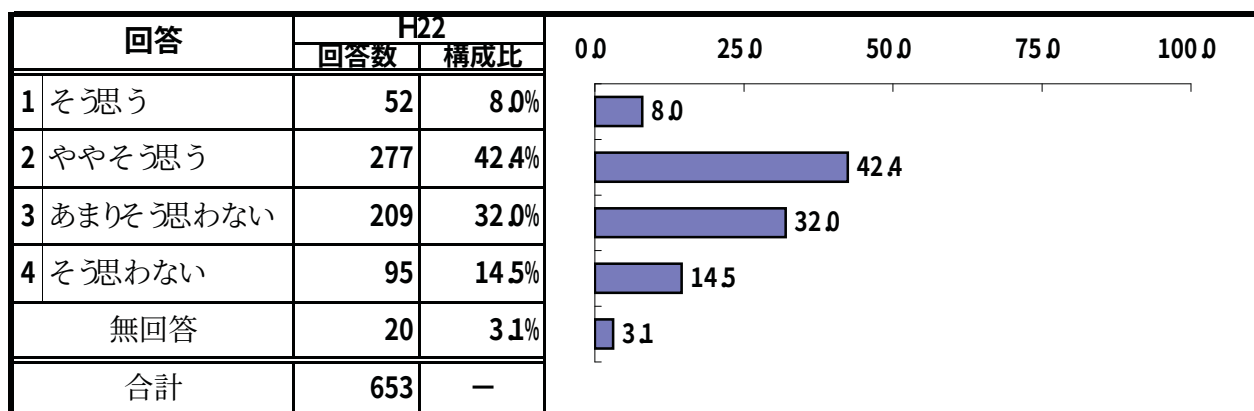


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ場合に、まちづくりの活動に参加しやすくなるために必要な事項	H22	
	回答数	構成比
a 活動に関する情報を知らせる	80	38.3%
b 活動に参加できる機会を増やす	37	17.7%
c 活動に関する相談や助言などの支援を受けられるようにする	51	24.4%
d その他	41	19.6%
有効回答数	209	—

問38-B あなたは、市の仕事などについて、
市役所から説明がされていると思いますか。

☞ 「ややそう思う」が42.4%（277人）、つづいて「あまりそう思わない」が32.0%（209人）となっています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人304人のうち、292人が分かりやすい説明のために必要な事項を回答しており、「説明の方法を工夫する」が最も多く、32.5%（95人）となっています。

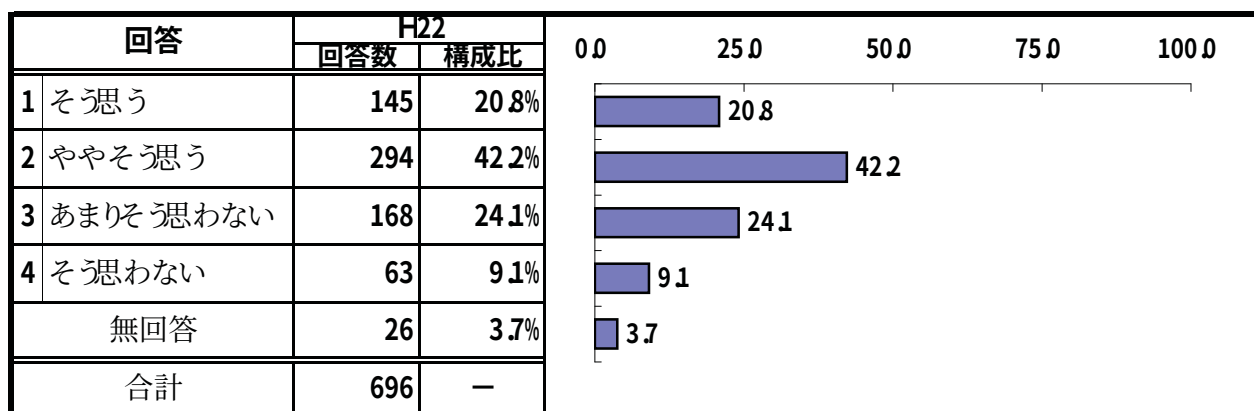


上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 (そう思わない)を選んだ場合に、分かりやすい説明のために必要な事項	H22	
	回答数	構成比
a 仕事のすすめ方などに関する十分な情報を提供する	77	26.4%
b 情報提供や説明の機会を増やす	79	27.1%
c 説明の方法を工夫する	95	32.5%
d 適切な時期をとらえて説明する	32	11.0%
e その他	9	3.1%
有効回答数	292	—

問39-A あなたは、町内会や市民団体などの
まちづくりに参加してみたいと思いますか。

☞ 「ややそう思う」が42.2%（294人）、「あまりそう思わない」が24.1%（168人）となっています。

☞ 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した人231人のうち、218人が町内会や市民団体等の活動に参加しやすくなるために必要な事項を回答しており、「気軽に参加できるようにする」が最も多く、34.4%（75人）となっています。



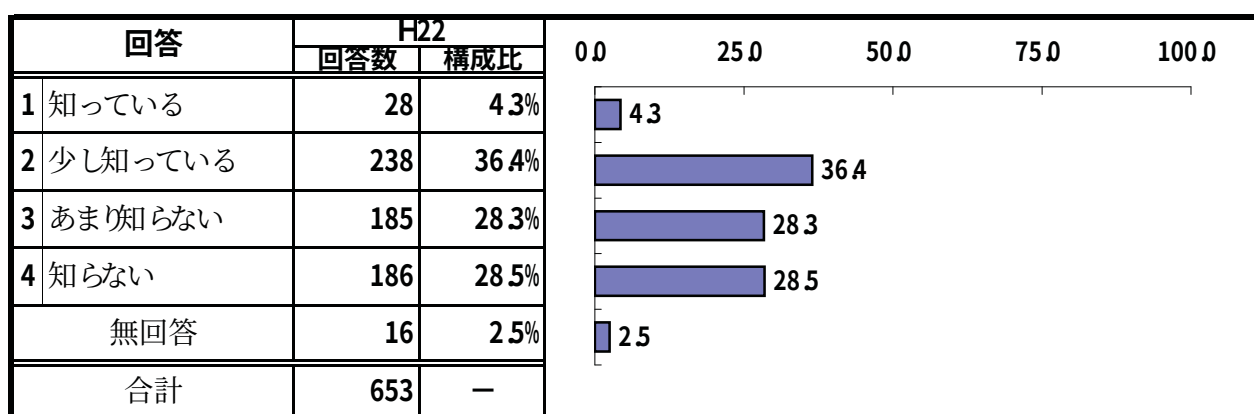
上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ場合に、町内会や市民団体などの活動に参加しやすくなるために必要な事項	H22	
	回答数	構成比
a 気軽に参加できるようにする	75	34.4%
b 町内会や市民団体の活動に対する市民の理解を深める	25	11.5%
c 活動の担い手を育てる	17	7.8%
d 活動経費などの市民負担を軽減する	34	15.6%
e 活動に必要な情報提供や助言などを行う	30	13.8%
f その他	37	17.0%
有効回答数	218	—



問39-B あなたは、市の予算や決算、
総合計画の状況を知っていますか。

☞ 「少し知っている」が36.4%（238人）、つづいて「知らない」が28.5%（186人）、「あまり知らない」が28.3%（185人）となっています。

☞ 「あまり知らない」と「知らない」と回答した人371人のうち、353人がよりよく知ることができるために必要な事項を回答しており、「工夫してわかりやすく表現する」が38.5%（136人）、「知ることができる機会や手段を増やす」が38.0%（134人）となっています。



上記の回答で3 あまりそう思わない)または4 そう思わない)を選んだ場合に、よりよく知ることができるために必要な事項	H22	
	回答数	構成比
a 知ることができる機会や手段を増やす	134	38.0%
b 工夫してわかりやすく表現する	136	38.5%
c 提供する情報の内容を充実させる	65	18.4%
d その他	18	5.1%
有効回答数	353	—



参考資料) 市民まちづくりアンケート票



アンケートは、大きく次の3区分について実施しました。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・(問1～9)
- (2) 市民実感について・・・・・・・・・・・・・・(問10～34)
- (3) 協働のまちづくりについて・・・・・・・・・・(問35～39)

※市民実感の設問(問10～34)と協働のまちづくりの設問の一部(問37～39)については、アンケートを2組(AとB)に分けて実施しました。

【A票 回収結果】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H22年度	1,500	1,500	696	46.4

【B票 回収結果】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H22年度	1,500	1,500	653	43.5

地 区

A 票

平成22年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満
E. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない



問7へすすむ



問8. 9へすすむ



問10へすすむ

問7 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 広々としているから B. 自然に恵まれているから C. 気候が好きだから
D. 家族の都合で E. 人情が厚く、親切だから F. 親戚や知人が多いから
G. 教育上の理由から H. まちに魅力があるから I. 仕事上の理由から
J. 都市的な便利さがあるから K. 生活費が安いから L. わからない
M. その他（

問8 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） B. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
C. 札幌市 D. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
E. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） F. 中部圏（愛知県）
G. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） H. 他県（
I. その他（

問9 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 仕事上の理由から B. 家族の都合から C. 気候がきれいだから
D. 住宅地が少ないから E. 宅地価格が高いから F. 教育上の理由から
G. 生活費が高いから H. まちに魅力が少ないから I. 自然が少ないから
J. 知人や親戚が少ないから K. 人情が薄く、不親切だから
L. 都市的な便利さが不足しているから M. わからない
N. その他（

3. 【市民実感】について、お聞きします。

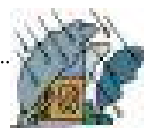
- ◆問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいませんので）に最も近い選択肢を必ず1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10. 地震や水害など、災害への備えが整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

災害用備蓄品の整備
防災訓練の実施
緊急貯水槽の設置
耐震改修に対する補助・貸付
自主防災組織の育成 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで○**をつけてください。

- a. 防災に関する意識が低いから
- b. 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから
- c. 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから
- d. 自宅や避難所の耐震性が不安だから
- e. その他()

問11. 日常生活において、犯罪にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公用車による防犯パトロールの実施
防犯関係団体活動への支援
防犯灯の設置支援 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで○**をつけてください。

- a. 防犯に関する意識が低いから
- b. 暗がりや人目につきにくい場所があるから
- c. 不審者や空き巣などが発生しているから
- d. その他()

問12. 悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消費者講座・講演会の開催
消費者相談の実施
消費生活アドバイスセンターの運営 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 消費生活に関する情報提供が十分でないから
- b. 消費トラブルなどを相談できるところがないから
- c. 悪質な訪問販売などがあるから
- d. その他()

問13. ケガや病気のときに安心して医療を受けられる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

夜間急病センターの運営
在宅当番医体制の維持、夜間・休日の救急医療体制の確保
看護師・准看護師養成機関への支援 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 近くに病院や診療所がないから
- b. 診療科目が不足しているから
- c. 高度な医療を受けることができないから
- d. 緊急時の医療機関の情報が十分でないから
- e. その他()

問14. 高齢者が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

高齢者バス券の交付、敬老祝金の支給
介護予防事業の実施
ひとり暮らし高齢者の訪問活動の実施
介護老人福祉施設の整備、生活支援ハウスの運営 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 社会参加の機会が少ないから
- b. 在宅の福祉サービスが利用しにくいから
- c. 老人ホームなどの施設が不足しているから
- d. 高齢者を地域で支える環境が整っていないから
- e. その他()

問15. 社会保障制度^{*}の周知や適切な運用が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

国民健康保険料の負担軽減、特定健診の実施
介護保険制度の周知
生活保護を受けている人の就労支援
国民年金の制度周知 など



※社会保障制度
国民健康保険、介護保険、生活保護、国民年金などの制度をさします。

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 給付が増大し、制度が維持できるか不安だから
b. 給付と負担のバランスがとれていないから
c. 世代間の負担に不公平があるから
d. 制度がよく分からないから
e. その他()

問16. 青少年が健全に育つ環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

青少年リーダーや青少年団体の育成
青少年育成活動の実施
放課後などに子どもが安心して過ごせる居場所づくり
非行防止のための街頭巡回指導
成人の集いなどの社会参加促進活動の実施
児童会館における体験活動の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから
b. 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから
c. 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから
d. 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから
e. その他()

問17. ものづくり産業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

十勝産業振興センターによる研究開発支援
製品開発や販路開拓等への支援
地場農産物の付加価値向上の取り組み
とかちブランドの育成
企業立地の促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

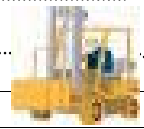
- a. 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから
b. 地元製品の市場拡大がすすんでいないから
c. 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから
d. その他()

問18. 地元の企業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

経営相談の実施
 中小企業の人材育成の支援
 起業・創業への支援
 雇用創出事業の実施
 中小企業振興融資の貸付、信用保証料の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 地元企業の経営が悪化しているから
 b. 中小企業を支える人材が育成されていないから
 c. 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから
 d. その他()

問19. 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

求職者の就業支援相談の実施、合同企業説明会の開催
 季節労働者の雇用・生活相談の実施、生活資金の貸付
 シルバー人材センターへの支援
 とち勤労者共済センターへの支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 若い人の働く場が少ないから
 b. 女性や高齢者の働く場が少ないから
 c. 能力や経験を活かせる職場が少ないから
 d. 会社の福利厚生が整っていないから
 e. その他()

問20. 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

帯広三大まつりへの支援
 コンベンション（会議や大会）の誘致・開催支援
 物産展の開催、とち物産センターへの支援
 とち観光情報センターの運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 魅力ある観光地が少ないから
 b. 観光イベントに魅力がないから
 c. 観光情報の発信やPRが不足しているから
 d. その他()

問21. ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

リサイクルまっりの開催
町内会等の資源集団回収の支援
生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の購入支援
巡回パトロールの実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. ごみの分別や排出日を守られていないから
b. 再使用や資源化に関する意識が低いから
c. 事業者のごみ減量や資源再利用の意識が低いから
d. その他()

問22. おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

札内川の水質調査
水道メータの更新、漏水調査
老朽化した配水管の更新
稲田浄水場等の改修や耐震化 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 水道水がおいしいと感じないから
b. 断水や濁水などが発生したことがあるから
c. 災害時の不安があるから
d. その他()

問23. 快適で住みやすい居住空間が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

稲田川西地区(清流の里)の宅地開発
民間事業者による小規模な開発行為に対する支援
公営住宅の整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 住宅地の価格が高いから
b. 住宅や住宅地に関する情報が少ないから
c. 公営住宅を希望しても入れないから
d. その他()

問24. 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

中島霊園の整備
火葬場の管理・運営
既存墓地の管理・運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから
- b. 墓地の管理が十分でないから
- c. 火葬場の管理が十分でないから
- d. その他()

問25. 空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

とちち帯広空港の施設整備、空港路線の充実
乗合方式のバス・タクシーの運行
道東自動車道、帯広・広尾自動車道の整備・利用促進
石勝線・根室線の高速度の促進
十勝港の整備・利用促進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 航空の利便性が良くないから
- b. 鉄道の利便性が良くないから
- c. バスの利便性が良くないから
- d. 高速道路の利便性が良くないから
- e. その他()

問26. 小学校・中学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各学校が取り組む特色ある教育活動の支援
郷土体験学習・自然体験学習などの実施
リーダーとなる教師の育成
地域特性を活かした教材の研究 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

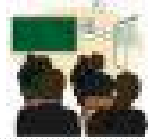
- a. 子どもの学力が低下しているから
- b. 子どもの体力が低下しているから
- c. 子どもの道徳心が育っていないから
- d. 教師の指導力が不足しているから
- e. その他()

問27. 高等学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

私立高等学校の教材整備等への支援
南商業高校での外部講師を活用した専門教育の実施 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 特色ある教育が行われていないから
b. 学習内容が身につけていないから
c. 社会性を育む教育が行われていないから
d. その他()

問28. 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

生涯学習フェスティバル・高齢者学級の開催
各種講座の開催
社会教育施設[※]での展示・貸出を通じた学習機会の提供
百年記念館や動物園など社会教育施設の改修 など

※社会教育施設
百年記念館、動物園、図書館、とちぎプラザなど



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 生涯学習講座に魅力がないから
b. 社会教育施設に魅力がないから
c. 学習成果を活かす機会が少ないから
d. その他()

問29. スポーツを楽しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種スポーツ教室・スポーツ大会の開催
スポーツ少年団への支援、指導者育成の支援
プロスポーツや全国・全道大会の誘致、開催支援 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. スポーツに親しむことができる機会が少ないから
b. スポーツ教室・講習会などに魅力がないから
c. スポーツ施設が利用しにくいから
d. 一流選手が出場する大会などが少ないから
e. その他()

問30. 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

男女共同参画セミナーの開催
各種審議会等への女性の登用推進
育児・介護休業制度の周知
交際相手からの暴力（デートDV）防止ワークショップの開催
配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから
b. 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから
c. 女性の社会参画がすすんでいないから
d. その他()

問31. アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

アイヌ民族に関する教材の作成・提供
アイヌ文化についての展示会の開催
アイヌ古式舞踊保持団体への支援
アイヌの人たちの生活相談・教育相談の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. アイヌ民族の歴史や文化に関する市民理解がすすんでいないから
b. アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから
c. アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから
d. その他()

問32. 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

大分市・徳島市・松崎町への子どもたちの派遣
スワート市・朝陽市への高校生の派遣
国際交流員による小・中学校訪問
諸外国の文化紹介、国際交流イベントの実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 国内の各都市との交流が活発でないから
b. 国外の各都市との交流が活発でないから
c. 外国人と交流する機会が少ないから
d. 交流機会に関する情報を知らないから
e. その他()

問33. 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

新たな自主財源確保の検討
市税等の収納率向上対策の実施
民間委託等の推進、指定管理者制度の活用
行財政改革の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 市の財政状況に不安があるから
- b. 行政運営の効率化がすすんでいないから
- c. 事業の効果やコストが分からないから
- d. その他()

問34. 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

接遇の向上や事務改善の推進
市民相談の実施
公共施設予約システム・電子申請システムの運用
コミュニティセンターでの証明書の一部発行 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 職員の対応が適切でないから
- b. 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから
- c. コミュニティセンターやインターネットでできる行政手続きが少ないから
- d. その他()

4. 【協働※のまちづくり】について、お聞きします。

◆問10～34と同様の方法で回答してください。

※協働

市役所だけでなく、市民が意見を述べ、できることは自ら行うなどして、互いに連携・協力しながら、住みよいまちづくりをすすめること

問35. あなたは、まちづくりについての意見を述べたり活動に参加したことがありますか。

1	ある
2	ない

2を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 関心がないから
- b. 意見を述べたり参加する手間や時間をかけられないから
- c. どのようにして意見を述べたり参加すればよいかわからないから
- d. 意見を述べたり参加しても何も変わらないと思うから
- e. その他()

問36. あなたは、まちづくりに関する意見を述べたり、まちづくりの活動に参加することが重要と思いますか。(あてはまるものを1つ○をつけてください)

1	重要である
2	やや重要である
3	あまり重要でない
4	重要でない

協働によるまちづくり活動の例

- ・市長への手紙の実施
- ・まちづくり懇談会の開催、パブリックコメントの実施
- ・公園や道路などの清掃・美化
- ・子育てに関するボランティア活動
- ・子どもや高齢者の見守り活動、自主防災組織の結成
- ・パートナーシップ除排雪 など

問37. あなたは、市の仕事や計画などに対して、意見を出してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

- ・アンケート調査の実施
- ・市長への手紙の実施
- ・まちづくり懇談会の開催、パブリックコメントの実施
- ・審議会への公募委員の登用 など

3または4を選んだ場合、市役所へ意見を出しやすくなるために必要なことを1つ選んで○をつけてください。

- a. 簡単に意見を出せるようにする
- b. 意見の出し方をわかりやすく知らせる
- c. 意見を出せる機会を増やす
- d. 意見の対象となる市の仕事や計画の内容をわかりやすく知らせる
- e. 出した意見がどのように反映されるのか知らせる
- f. その他()

問38. あなたは、まちづくりの活動に参加してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市民による主なまちづくりの活動

- ・公園や道路などの清掃・美化
- ・子育てに関するボランティア活動
- ・子どもや高齢者の安全確保、自主防災組織の結成
- ・パートナーシップ除排雪 など

3または4を選んだ場合、まちづくりの活動に参加しやすくなるために必要なことを1つ選んで○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| a. 活動に関する情報を知らせる |
| b. 活動に参加できる機会を増やす |
| c. 活動に関する相談や助言などの支援を受けられるようにする |
| d. その他() |

問39. あなたは、町内会や市民団体などのまちづくり活動に参加してみたいと思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

- ・町内会や市民団体の活動紹介
- ・町内会への自治活動費交付金の交付
- ・市民協働のまちづくりに対する支援
- ・ボランティア養成講座、リーダー研修の実施
- ・地域連携促進会議の開催支援 など

3または4を選んだ場合、町内会や市民団体などの活動に参加しやすくなるために必要なことを1つ選んで○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| a. 気軽に参加できるようにする |
| b. 町内会や市民団体の活動に対する市民の理解を深める |
| c. 活動の担い手を育てる |
| d. 活動経費などの市民負担を軽減する |
| e. 活動に必要な情報提供や助言などを行う |
| f. その他() |

5. 【まちづくりに関するご意見・ご提言】

これからのまちづくりについて、ご意見・ご提言をご記入ください。
(どのような内容でも結構です。)

[illegible]

アンケートはこれで終了です。
ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度ご確認していただき、同封の返信用封筒に入れ、**5月28日（金）までに**ポストに投函してください。（切手は不要です。）

B 票

平成22年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

- A. 男 B. 女

問2 あなたの年齢は？（5月1日現在の年齢で記入してください。）

- A. 20歳代 B. 30歳代 C. 40歳代 D. 50歳代 E. 60歳代 F. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

- A. 会社員・店員 B. 商・工・サービス業等の自営業 C. 農・林・漁業 D. 公務員
E. 自由業 F. 主婦 G. 学生 H. 無職・退職 I. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

- A. 1年未満 B. 1年～5年未満 C. 5年～10年未満 D. 10年～20年未満
E. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

- A. 住みやすい B. どちらかといえば住みやすい C. どちらともいえない
D. どちらかといえば住みにくい E. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

- A. 住み続けたい B. できれば他の市町村に移りたい C. どちらともいえない



問7へすすむ



問8. 9へすすむ



問10へすすむ

問7 問6で「A.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 広々としているから B. 自然に恵まれているから C. 気候が好きだから
D. 家族の都合で E. 人情が厚く、親切だから F. 親戚や知人が多いから
G. 教育上の理由から H. まちに魅力があるから I. 仕事上の理由から
J. 都市的な便利さがあるから K. 生活費が安いから L. わからない
M. その他（

問8 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- A. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） B. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外）
C. 札幌市 D. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外）
E. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） F. 中部圏（愛知県）
G. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） H. 他県（
I. その他（

問9 問6で「B.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- A. 仕事上の理由から B. 家族の都合から C. 気候がきれいだから
D. 住宅地が少ないから E. 宅地価格が高いから F. 教育上の理由から
G. 生活費が高いから H. まちに魅力が少ないから I. 自然が少ないから
J. 知人や親戚が少ないから K. 人情が薄く、不親切だから
L. 都市的な便利さが不足しているから M. わからない
N. その他（

3. 【市民実感】について、お聞きします。

- ◆問10～34について、あなたの実感（イメージでもかまいませんので）に最も近い選択肢を必ず1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10. 消火活動や救急活動が迅速に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

消火栓 防火水槽の整備
AED（自動体外式除細動器）の設置
応急手当普及講習の開催
災害弱者世帯への防火訪問 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで○**をつけてください。

- a. 消火や防火の取り組みが十分でないから
- b. 救急車や消防車の到着時間が遅いから
- c. 救急車による搬送や病院の受け入れがスムーズでないから
- d. 応急手当ができる市民が少ないから
- e. その他（ ）

問11. 日常生活において、交通事故にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

交通安全教室の開催
交通安全街頭啓発
歩道の整備 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで○**をつけてください。

- a. 交通ルールを守らない歩行者がいるから
- b. ドライバーの運転マナーが悪いから
- c. 危ない道路や交差点があるから
- d. その他（ ）

問12. 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

各種がん検診・肝炎ウイルス検診・骨粗しょう症検診の実施
健康相談などの保健指導の実施
麻しん・風しん・BCGなどの予防接種の実施
インフルエンザ予防接種費用の助成 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 健康づくりに関する意識が低いから
b. 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから
c. 予防接種が受けやすい環境が整っていないから
d. 気軽に健康相談できるところがないから
e. その他（ ）

問13. 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

民生委員・児童委員の活動支援
ボランティアの養成・活動支援
地域福祉事業を担う社会福祉協議会の支援 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 地域住民の互いに支え合う意識が低いから
b. 不安や心配事を地域で相談できるところがないから
c. 福祉ボランティアの活動が活発でないから
d. その他（ ）

問14. 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

手話・要約筆記通訳者などの派遣
自動車改造・自動車運転免許取得への支援
訪問入浴など各種デイサービスの提供
障害者生活支援センターの運営 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 障害や障害のある人に対する理解が十分でないから
b. 障害のある人を地域で支え合う意識が低いから
c. 障害者福祉サービスが十分でないから
d. 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから
e. その他（ ）

問15. 安心して子どもを生み育てることができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

特定不妊治療費の支援、妊婦・乳幼児健康診査の実施
育児教室・両親教室の開催、訪問指導の実施
延長・休日・一時保育など保育サービスの実施
児童保育センターでの保育サービスの実施
幼稚園の教育環境の充実、保育料・入園料に対する支援
乳幼児等医療費・ひとり親家庭等医療費の給付 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 保育所の保育サービスが十分でないから
b. 児童保育センターの保育サービスが十分でないから
c. 出産や育児と仕事が両立できる職場環境が整っていないから
d. 子育てに関する不安をどこに相談したらよいか分からないから
e. 将来に対する様々な不安感があるから
f. その他（ ）



問16. 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

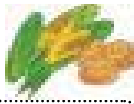
1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

クリーン農業技術等の普及
農業生産基盤の整備促進
農業後継者・新規就農者の支援
地場農畜産物の消費拡大 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから
b. 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから
c. 農業や農村に対する理解が促進されていないから
d. その他（ ）



問17. 商店や商店街に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

商店街が行うこぎわいづくりへの支援
商店街が行う環境整備への支援 など

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 商店の商品やサービスに魅力がないから
b. 魅力ある商店街整備が行われていないから
c. 商店街のイベントに魅力がないから
d. その他（ ）



問18. 企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出支援
 地場農産物の付加価値向上の促進
 大学の研究開発への支援
 企業の新製品開発への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから
 b. 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから
 c. 地元製品のPRが不足しているから
 d. 具体的な取り組み内容が分からないから
 e. その他（ ）

問19. 中心市街地に魅力とにぎわいがある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

歩行者天国・イルミネーションなどのにぎわい創出の支援
 市民活動交流センターなど都市機能の集積
 市営駐車場の管理運営 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 魅力ある店舗が少ないから
 b. 中心市街地への交通の利便性が悪いから
 c. 各種イベントに魅力がないから
 d. その他（ ）

問20. 自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

太陽光発電システム等の新エネルギー導入助成
 自然環境の保全
 公害の監視、立入検査や指導の実施
 環境教育学習の推進 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 環境保全に関する意識が低いから
 b. 太陽光発電システムなどの導入がすすんでいないから
 c. 騒音や悪臭が気になるから
 d. 市内の良好な自然環境が守られていないから
 e. その他（ ）

問21. 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公園・緑地の整備
 帯広の森の整備及び利活用
 公園の維持管理、街路樹の剪定、植樹柵の草刈
 緑化キャンペーン、花壇コンクール事業の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 身近なところに公園が少ないから
- b. 公園の管理が十分に行われていないから
- c. 身近なところに緑が少ないから
- d. 緑化に関する意識が低いから
- e. その他（ ）

問22. 生活廃水や雨水が適切に処理されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

汚水管・雨水管の整備
 帯広川下水終末処理場の改修や耐震化
 下水道接続の普及啓発 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 下水道が普及していないところがあるから
- b. 水たまりや水はけの悪い箇所があるから
- c. 災害時の不安があるから
- d. その他（ ）

問23. 都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

まちづくりデザイン賞などによる景観意識の啓発
 十勝大橋ライトアップなど帯広らしい景観の形成
 耕地防風林の整備支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 景観形成に関する意識が低いから
- b. 都市部の景観を損ねているところがあるから
- c. 農村部の景観を損ねているところがあるから
- d. その他（ ）

問24. 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

幹線道路・生活道路の整備
特殊舗装道路の改良、道路側溝の整備
自転車・歩行者道の整備
道路除雪・凍結路面对策の実施 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 整備されていない道路があるから
b. 道路が適切に維持管理されていないから
c. 道路や歩道の除雪が十分でないから
d. その他 ()

問25. 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

民間事業者等と連携した情報通信基盤の整備促進
地上デジタル放送移行に伴う周知 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから
b. パソコンやインターネットの使い方が分からないから
c. 利用したい情報サービスが少ないから
d. その他 ()

問26. 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

学校施設の耐震化、大規模改修
学校給食調理場の改築
特別支援教育に関する助手・補助員・生活介助員の配置
子どもの見守り活動の推進
小中学校の適正配置 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 学校施設の改修や耐震化がすすんでいないから
b. 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから
c. 教育に関する情報が、親や両親に十分に提供されていないから
d. その他 ()

問27. 大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

新たな大学設置の検討
帯広畜産大学の整備・拡充の促進
大学の研究・教育機能の活用 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから
- b. 大学などを活用した市民の学習機会が充実していないから
- c. 地元大学に学びたい学部がないから
- d. その他（ ）

問28. 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

市民芸術祭の開催、市民文芸の発行
芸術・文化活動を支える人や団体への支援
北海道立美術館と連携した企画展の共催
子ども向けの芸術・文化鑑賞機会の提供 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから
- b. 気軽に芸術・文化に接する機会が少ないから
- c. 一流の芸術・文化に接する機会が少ないから
- d. 芸術・文化に関する指導者が少ないから
- e. その他（ ）

問29. 平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

核兵器廃絶平和展の開催、平和カレンダーの作成
高齢者・児童虐待防止の推進
配偶者等からの暴力被害者への支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 平和の大切さを知る機会が少ないから
- b. 差別や偏見があるから
- c. 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから
- d. その他（ ）

問30. 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD）※によるまちづくりが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

UD教室 講座の開催
UDの考え方に基いた公共施設の整備
UD住宅の建設 改造に対する助成 など



※ユニバーサルデザイン（UD）

年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いによって支障を感じることなく、できる限り多くの人にとって安心、安全、快適に利用できるよう まち・もの・環境などをデザインすること

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 道路や公園のUD化がすすんでいないから
b. 民間施設のUD化がすすんでいないから
c. UDに関する意識が低いから
d. その他（ ）

問31. 町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

町内会自治活動への助成
町内会への加入促進
ボランティア・NPO活動の支援
福祉センターの整備 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 町内会への加入者が減少しているから
b. 地域活動の担い手が少ないから
c. コミュニティ施設が利用しにくいから
d. 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから
e. その他（ ）

問32. 市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

広報紙の発行
市長への手紙の実施
計画策定等におけるパブリックコメントの実施
審議会委員等への女性 若者の登用や一般公募の推進
市民からの提案事業の支援 など



3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 行政情報が分かりやすく提供されていないから
b. 市民意見が市政に反映されていないから
c. 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから
d. 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから
e. その他（ ）

問33. 十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

管内町村と連携した下水道やゴミ処理などの広域事業の推進
管内町村と連携した十勝圏の振興
管内町村や道内各都市連携した要望活動 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 市域を越えて利用できる住民サービスが少ないから
- b. 行政サービスにおいて、管内町村や各都市と共同で取り組む視点が欠けているから
- c. 具体的な市町村の連携・協力の事例がよく分からないから
- d. その他（ ）

問34. 市民に信頼される行政事務が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

公有財産の管理
公文書などの管理
個人情報保護制度の推進
監査等の実施 など



3または4を選んだ理由を**1つ選んで**○をつけてください。

- a. 事務処理が適切に行われていないから
- b. 公共施設の管理が適切に行われていないから
- c. 個人情報の保護が十分でないから
- d. その他（ ）

4. 【協働※のまちづくり】について、お聞きします。

◆問10～34と同様の方法で回答してください。

※協働

市役所だけでなく、市民が意見を述べ、できることは自ら行うなどして、互いに連携・協力しながら、住みよいまちづくりをすすめること

問35. あなたは、まちづくりについての意見を述べたり活動に参加したことがありますか。

1	ある
2	ない

2を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

- a. 関心がないから
- b. 意見を述べたり参加する手間や時間をかけられないから
- c. どのようにして意見を述べたり参加すればよいかわからないから
- d. 意見を述べたり参加しても何も変わらないと思うから
- e. その他（ ）

問36. あなたは、まちづくりに関する意見を述べたり、まちづくりの活動に参加することが重要と思いますか。（あてはまるものを1つ選んで○をつけてください）

1	重要である
2	やや重要である
3	あまり重要でない
4	重要でない

協働によるまちづくり活動の例

- ・市長への手紙の実施
- ・まちづくり懇談会の開催、パブリックコメントの実施
- ・公園や道路などの清掃・美化
- ・子育てに関するボランティア活動
- ・子どもや高齢者の見守り活動、自主防災組織の結成
- ・パートナーシップ除排雪 など

問37. あなたは、市役所からまちづくりや行政サービスに関する情報を得られていますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

- ・広報おびひろやホームページによる情報提供
- ・「Rらしのガイド」、『まちづくり情報誌』の発行
- ・「ふれあい市政講座」、出前講座」の実施
- ・報道機関を通じた情報提供 など

3または4を選んだ場合、情報を得やすくなるために必要なことを1つ選んで○をつけてください。

- a. 必要な情報を探しやすいように提供する
- b. 情報を得る機会や手段を増やす
- c. 提供する情報の量を増やす
- d. 適切な時期をとらえて情報を提供する
- e. 必要な情報をわかりやすく提供する
- f. その他（ ）

問38. あなたは、市の仕事などについて、市役所から説明がされていると思いますか。

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

市が取り組んでいる主な仕事

- ・広報おびひろやホームページによる情報提供
- ・パブリックコメントの実施
- ・まちづくり懇談会、地域説明会の実施
- ・市長とふれあいトークの実施 など

3または4を選んだ場合、**分かりやすい説明のために必要なことを1つ選んで○をつけてください。**

- a. 仕事のすすめ方などに関する十分な情報を提供する
- b. 情報提供や説明の機会を増やす
- c. 説明の方法を工夫する
- d. 適切な時期をとらえて説明する
- e. その他（ ）

問39. あなたは、市の予算や決算、総合計画※の状況を知っていますか。

1	知っている
2	少し知っている
3	あまり知らない
4	知らない

※総合計画

まちの目指す姿やまちづくりの目標、その実現のために取り組む施策等を示した計画。

市が取り組んでいる主な仕事

- ・「まちづくり通信」の発行
- ・「帯広市財政の状況」、帯広市の「台所事情」の発行
- ・広報おびひろやホームページへの掲載 など

3または4を選んだ場合、**よりよく知ることができるために必要なことを1つ選んで○をつけてください。**

- a. 知ることができる機会や手段を増やす
- b. 工夫してわかりやすく表現する
- c. 提供する情報の内容を充実させる
- d. その他（ ）

5. 【まちづくりに関するご意見・ご提言】

これからのまちづくりについて、ご意見・ご提言をご記入ください。
(どのような内容でも結構です。)

[illegible]

アンケートはこれで終了です。
ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度ご確認していただき、同封の返信用封筒に入れ、**5月28日（金）までに**ポストに投函してください。（切手は不要です。）

平成22年度市民まちづくりアンケート
(集計結果)



平成22年8月
帯 広 市
政策推進部 企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail plan@city.obhiro.hokkaido.jp